

○司法省告示第五十六號

名古屋地方裁判所管内名古屋區裁判所熱田出張所新城區裁判所大野出張所山形地方裁判所管内山形區裁判所上ノ山出張所鶴岡區裁判所温海出張所明治二十三年十一月一日ヨリ開始ス

明治二十三年十月三十一日

司法大臣伯爵山田顯義

○内務省告示第三十九號

明治二十三年十月勅令第二百二十六號地方官々等依給令第四條第八條ニ依リ左ノ郡ヲ指定ス

東京府

荏原郡

北豐島郡

東多摩郡南豐島郡

京都府

與謝郡

天田郡

紀伊郡

加佐郡

大阪府

西成郡

南郡日根郡

石川郡八上郡古市郡安宿郡都錦郡志紀郡丹南郡

神奈川縣

南多摩郡

三浦郡

足柄下郡

兵庫縣

明石郡

津名郡

城崎郡美含郡

長崎縣

西彼杵郡

南高來郡

北松浦郡

新潟縣

中頸城郡

北蒲原郡

古志郡

雜太郡加茂郡羽茂郡

埼玉縣

北足立郡新座郡

入間郡高麗郡

秩父郡

群馬縣

東群馬郡南勢多郡

西群馬郡片岡郡



千歲縣	千歲郡市原郡	印旛郡下埴生郡南相馬郡	安房郡平郡朝夷郡長狹郡	海上郡匝理郡
茨城縣	新治郡	眞壁郡		
栃木縣	河內郡	下都賀郡		
奈良縣	添上郡添下郡山邊郡廣瀬郡平群郡	宇智郡吉野郡		
三重縣	度會郡	三重郡朝明郡	桑名郡	阿拜郡山田郡
愛知縣	渥美郡	額田郡	知多郡	愛知郡
靜岡縣	長上郡敷知郡濱名郡	賀茂郡那賀郡	有渡郡安倍郡	駿東郡
山梨縣	中巨摩郡	南都留郡		
滋賀縣	滋賀郡	犬上郡		
岐阜縣	大野郡益田郡吉城郡	安八郡		

長野縣	東筑摩郡	上水内郡	小縣郡	下伊那郡
宮城縣	牡鹿郡	志田郡玉造郡	柴田郡刈田郡	宮城郡
福島縣	伊達郡	信夫郡	北會津郡	菊多郡磐前郡磐城郡
巖手縣	西磐井郡東磐井郡	東閉伊郡中閉伊郡北閉伊郡	南九戸郡北九戸郡	
青森縣	東津輕郡	三戸郡		
山形縣	飽海郡	西田川郡	南村山郡	
秋田縣	南秋田郡	仙北郡	北秋田郡	
福井縣	坂井郡	南條郡今立郡	遠敷郡	
石川縣	鹿島郡	能美郡	鳳至郡	
富山縣	射水郡	礪波郡	上新川郡	



鳥取縣 會見郡汗入郡 久米郡河村郡八橋郡  
 島根縣 那賀郡 島根郡秋鹿郡意宇郡  
 岡山縣 西北條郡東南條郡 淺口郡 兒島郡  
 廣島縣 安藝郡 御調郡世羅郡 深津郡沼隈郡安那郡 佐伯郡  
 山口縣 吉敷郡 阿武郡三島郡 玖珂郡  
 和歌山縣 名草郡海部郡 西牟婁郡  
 德島縣 那賀郡 板野郡  
 香川縣 那珂郡多度郡 大内郡寒川郡三木郡  
 愛媛縣 南宇和郡北宇和郡 風早郡和氣郡温泉郡久米郡 越智郡野間郡  
 高知縣 幡多郡 高岡郡 土佐郡

福岡縣 企救郡 三潞郡 遠賀郡  
 大分縣 大分郡 下毛郡 日田郡  
 佐賀縣 東松浦郡 佐賀郡  
 熊本縣 飽田郡託摩郡宇土郡 天草郡 玉名郡  
 宮崎縣 宮崎郡北那珂郡 東臼杵郡 北諸縣郡  
 鹿兒島縣 鹿兒島郡嶺山郡北大隅郡 高城郡薩摩郡鹿島郡南伊佐郡 始良郡桑原郡西嶮嶽郡  
 明治二十三年十一月一日 内務大臣 伯耆西郷從道

○大藏省告示第五十一號  
 北海道廳管下札幌本金庫岩内支金庫ヲ來十一月二日ヨリ岩内郡岩内御鉾内町へ移ス  
 明治二十三年十一月一日 大藏大臣 伯耆松方正義

○司法省告示第五十七號  
 宇都宮地方裁判所管内宇都宮區裁判所大澤出張所佐野區裁判所田沼出張所明治二十三年十一月一日ヨリ閉關ス  
 明治二十三年十一月一日 司法大臣 伯耆山田顯義



○司法省告示第五十八號

浦和地方裁判所管内浦和區裁判所上尾鴻ノ巢各出張所明治二十三年十一月一日ヨリ閉廳ス  
明治二十三年十一月一日  
司法大臣伯備山田顯義

○逓信省告示第二百三十二號

一貨幣封入郵便物受授見合印鑑 東第七六〇號  
元下野國大宮郵便貯金預所へ交付ノ分  
右紛失ノ旨届出候條自今該印鑑ハ無効トス  
明治二十三年十一月一日  
逓信大臣伯備後藤象二郎

○逓信省告示第二百三十三號

攝津國有馬郡有馬郵便電信局ニ於テハ自今歐文電報數字及亞刺比亞數字ヲ記入シタル和文電報ヲ  
取扱ハシム  
明治二十三年十一月四日  
逓信大臣伯備後藤象二郎

○逓信省告示第二百三十四號

一逓信省監察章 第八〇號  
大宮郵便貯金預所渡ノ分  
一逓信監察官吏ノ章 五九六號  
播磨國加古郡元別府郵便受取所渡ノ分  
右紛失ノ旨届出候ニ付自今該章ハ無効トス  
明治二十三年十一月四日  
逓信大臣伯備後藤象二郎

○逓信省告示第二百三十五號

巴里締結里斯本改正萬國郵便聯合條約第九條(乙)ニ據リ伊太利國ト別配達郵便ヲ交換ス  
明治二十三年十一月五日  
逓信大臣伯備後藤象二郎

○逓信省告示第二百三十六號

札幌郵便電信局監督區ノ内十勝國ヲ根室郵便電信局監督區へ鹿兒島郵便電信局監督區ノ内大隅國  
大島郡沖永良部島與輪島ヲ那霸郵便局監督區へ編入ス  
明治二十三年十一月五日  
逓信大臣伯備後藤象二郎

○逓信省告示第二百三十七號

一乙種二等運轉手技術免狀 第五百七十二號  
明治二十一年八月二十三日發給  
右ハ長崎縣平民片山新吉所有ノ處帆船第二三光丸へ乗組執職中明治二十三年九月二十三日本船遭  
難ノ際流失セシ旨届出ニ依リ其所在見聞ノ者ハ速ニ管轄廳へ申出ヘシ但該免狀ハ無効ニ屬ス  
明治二十三年十一月五日  
逓信大臣伯備後藤象二郎

○陸軍省告示第十一號

明治二十四年陸軍各兵科現役士官候補生志願者學科試驗格例  
陸軍幼年學校生徒志願者學科試驗格例  
陸軍一年志願兵志願者學科試驗及合格々例  
士官候補生  
幼年學校生徒  
一年志願兵  
同  
同  
左ノ通定ス  
明治二十三年十一月六日  
陸軍大臣伯備大山 殿







添へ之ヲ本籍地方長官寄留ノ者ハ其ニ差出シ地方長官ハ陸軍各兵科現役士官補充條例第七條並ニ幼年學校生徒召集條例第四條ノ手續ヲ爲スヘシ

第六條 陸軍部内ヨリ士官候補生ヲ志願スル者ハ第二號第四號第六號第七號書式ニ照準シ願書ニ履歷書其他ノ書類ヲ添へ順序ヲ經テ師團長ニ差出シ師團長ハ陸軍各兵科現役士官補充條例第六條ノ手續ヲ爲スヘシ但木ノ兵籍及口考科表ヲ添フヘシ

第七條 一年志願兵ノ出願手續ハ陸軍一年志願兵條例同施行細則ニ準據スヘシ

第八條 各師團長ハ士官候補生及幼年學校生徒志願者ノ願書連名簿並ニ一年志願兵志願者中學術試驗ヲ受クヘキ人名書人名上ニ志願者出願セシテ學科試驗場毎ニ區分シ明治二十四年二月盡日迄ニ監軍ニ進達スヘシ

第九條 士官候補生志願者ハ兵隊希望書第七號書式ヲ必ス願書ニ添テ差出スヘシ但學科試驗ノ成績其他採用人員等ノ都合ニ依リ希望外ノ軍隊ニ入隊ヲ命スルコトアルヘシ

第十條 華士族平民ヨリ士官候補生及幼年學校生徒ヲ志願スル者ノ願書ニハ父兄親族若クハ其他一家ヲ爲ス身元確實ナル者二人ヲ以テ身元保證人トナスヘシ

第十一條 幼年學校生徒志願者ニシテ入校ヲ命セラレタル者ハ父兄親族若クハ其他一家ヲ爲ス身元確實ナル者二名内一名ハ在東京ヲ以テ身元保證人ト爲シ入校證書ヲ調製シ島司郡市東京府三市ニ在テハ區長ノ與書證明ヲ受ケ入校期日前之ヲ幼年學校長ニ差出スヘシ但官費生ヲ命セラレタル者ハ第八號書式半官費生若クハ自費生ヲ命セラレタル者ハ第九號書式ニ照準シテ調製スヘシ

第十二條 士官候補生並ニ幼年學校生徒志願者願書差出後入隊若クハ入校マテノ間ニ於テ轉任轉隊派遣若クハ轉籍轉寄留改姓名犯罪死亡等身上ニ異動アルトキハ木ノ親族若クハ身元保證人

ヨリ出願ノ手續ニ從ヒ順次速ニ監軍部ニ届出ツヘシ又身元保證人事故アリテ其保證ヲ辭スルカ或ハ死亡セシトキハ志願者ノ入隊若クハ入校ノ前後ヲ問ハス必ス其代人ヲ撰定シ前同様届出ツヘシ但幼年學校生徒志願者入校ノ後ニ在テハ身上ノ異動身元保證人ノ變更等總テ同校長ヘ届出ツヘシ

一年志願兵志願者願書差出後入隊前ニ於テ犯罪死亡其他身上ニ異動アルトキハ陸軍一年志願兵條例施行細則第十九條ニ依リ木ノ人若クハ其親族ヨリ速ニ旅團長ニ届出ツヘシ

第十三條 學科試驗場ハ左ノ各地ニ設クヘシ但シ其試驗場ノ人員衆多ナルトキハ別ニ試驗場ヲ開設シ又人員寡少ナルトキハ其試驗場ヲ開設セシテ最寄試驗場ニ合併スルコトアルヘシ

- 第一師管 東京 佐倉
- 第二師管 仙臺 青森 新發田
- 第三師管 名古屋 金澤
- 第四師管 大阪 姫路
- 第五師管 廣島 松山
- 第六師管 熊本 福岡

第十四條 學科試驗ハ二十四年四月一日ヨリ開始ス師團司令部ハ學科試驗前ニ於テ身體検査ノ時日ヲ定メ之ヲ其部下各隊及管内ノ陸軍諸官團並ニ地方廳ニ通達シ志願者ヲ検査地ニ召集シ其地所在ノ軍醫ヲシテ身體検査ヲ爲サシメ合格者ノミヲ滞在セシメ試驗委員ノ到著ヲ待テ第十號書式ノ志願者連名簿ヲ交附スヘシ

第十五條 師團司令部旅團司令部若クハ大隊區司令部ニ在テハ試驗委員到著前ニ學科試驗場ヲ設ケ之ヲ準備ヲ爲シ置クヘシ且ツ試驗委員到著ノ上試驗場ノ監視及試驗事務並順等ノ爲メ試驗委











右之通牒生年月日戸籍簿ニ照シ相違無之候也

第六號書式

何國(佛、獨、英)附學御試驗相受可申候也

年號月日

第七號書式

兵種 第一番隊 何兵(歩兵、騎兵、野戰砲兵、要塞砲兵、工兵)  
第二番隊 何兵(歩兵、騎兵、野戰砲兵、要塞砲兵、工兵)  
第三番隊 近衛(第何師團)何兵(第何師團)何兵(第何師團)何兵(第何師團)  
前書之通入隊番隊致候也

年號月日

第八號書式

陸軍幼年學校生徒入校證書

此度陸軍出身志願ニテ幼年學校生徒被命候ニ付テハ御規則嚴重ニ相守得テ陸軍ニ從事可仕且本人身上ノ價ハ何事ニ依ラス身元保障人ニ於テ一切引受可申候依テ身元保障人連署證書如斯候也

府(縣)何國何郡(市)(區)何町(村)何番地住(寄留)

何族(平民)職業

戸主ニアラサレハ離子弟等

姓 名

本籍市(區)(町)(村)長 姓 名 印

某 價

姓 名 印

某 價

姓 名 印

某 價

本人

府(縣)何族(平民)職業

戸主ニアラサレハ離子弟等

姓 名 印

年號月日 生 明治二十四年八月何年何箇月

身元保障人

府(縣)何族(平民)

何國何郡(市)(區)何町(村)何番地住(寄留)

姓 名 印

同 同

姓 名 印

同 同

陸軍幼年學校長姓 名 殿

前書之通牒生候相違無之候也

府(縣)島司郡市長

姓 名 印

府(縣)島司郡市長

姓 名 印

陸軍幼年學校生徒入校證書

此度陸軍出身志願ニテ幼年學校生徒被命候ニ付テハ御規則嚴重ニ相守得テ陸軍ニ從事可仕且入校中ノ費用ハ御規則ノ通上納可致ハ勿論其他本人身上ノ價ハ何事ニ依ラス身元保障人ニ於テ一切引受可申候依テ身元保障人連署證書如斯候也

本人

府(縣)何族(平民)職業

戸主ニアラサレハ離子弟等

姓 名 印

年號月日 生 明治二十四年八月何年何箇月

何國何郡(市)(區)何町(村)何番地住(全戸寄留)

何國何郡(市)(區)何町(村)何番地住(全戸寄留)



年號月日

身元保證人  
府(縣)何族(平民)  
何國何郡(市)(縣)何町(村)何番地(住)(寄居)

前書之趣願性候補相違無之候也

陸軍幼年學校長姓 名殿

府(縣)島司郡市長 姓 名印

第十號書式

明治二十四年士官候補生(幼年學校生徒)(一年志願兵)志願者進名簿

身元合格

兵種隊號

官 姓 名

何等兵卒姓名

府(縣)何族(平民)

姓 名

同

同

兵種隊號

官 姓 名

許何名  
身元不合格

許何名  
事故  
病氣ニ付不登  
出願取消願ニ付不登

府(縣)何族(平民)  
姓 名  
同  
兵種隊號  
官 姓 名  
府(縣)何族(平民)  
姓 名

許何名  
總計何名

一年志願兵進名簿ニハ各人姓名上ニ所轄放開職ヲ記入スヘシ

明治二十四年陸軍各兵科現役士官候補生志願者學科試驗格例

書讀	日文圖說(日本政體、日本外史)
文作	假龍、哈、說、漢字交リ文
算術	算術
學 數	代數(數數四則)分數(四則)一次方程式、自乘開平、開立、指數、根數、二次方程式、比例、等差級數、等比級數、原列、組合、二項法、對數
地理	平面幾何學、立體幾何學、平面三角學 日本支那、朝鮮、亞細亞洲大體(新中地理學、山田行元、高國地理、前橋孝義著)







考	備	學	理	地	理
一	學科問題ハ一科目毎ニ若干ヲ與ヘ總テ之ヲ筆答セシム	日本支那朝鮮(新山地理書(山田行元、萬國地理(前橋孝義著)	五點		
二	科目ノ下括弧中ニ記スル科目ハ受驗者參考ノ爲メニ程度ヲ示スモノトス	日本史(正續皇朝史略(日本歷史(天野爲之合著)	三點		
三	試驗ノ答解ハ各科目毎ニ點數ヲ附與スルモノトス	支那史(十八史略(十八史略)			
四	試驗格例中其ノ科目ニ於テ合格セサル者ハ採用セス	萬國史(萬國歷史(天野爲之著)			
五	數學ハ算術代數平面幾何學ヲ各一科目トス	草木器具家屋等	三點		
六	各科滿點ハ二十點トス				

○遞信省告示第二百三十八號

勢城國勢前郡湯木始メ左ノ郵便局へ郵便爲替事務ヲ開施シ本年十二月一日ヨリ其事務ヲ取扱ハシム

但當分ノ内小爲替振出ノ事務ヲ取扱ハシメス

遞信大臣伯耆後藤象二郎

明治二十三年十一月六日

勢城國勢前郡湯木郵便局

十佐國幡多郡下山郵便局

大隅國大島郡大島東方郵便局

大隅國歐羅郡屋久島宮ノ浦郵便局

○內務省告示第四十號

英彦山神社 福岡縣豐前國田川郡鎮座

祭神 忍骨命

右社格ヲ官幣小社ニ列セラル、旨仰出サル

明治二十三年十一月七日

內務大臣伯耆西鄉從道

○司法省告示第五十九號

福島地方裁判所管内郡山區裁判所三春出張所裁判ノ備當分ノ内開廷セス

明治二十三年十一月七日

司法大臣伯耆山田顯義

○司法省告示第六十號

京都地方裁判所管内京都區裁判所上加茂出張所明治二十三年十一月一日ヨリ開庭セリ

明治二十三年十一月八日

司法大臣伯耆山田顯義

○遞信省告示第二百二十九號

一西洋形帆船高麗丸免狀第三十四號 明治十七年三月二十八日登報

右ハ山形縣下西田川郡鶴岡町大字荒町三谷正右衛門所有ノ處明治二十三年四月六日福島縣下勢城

國勢前郡小名濱沖ニ於テ木船難破ノ際流失セシ旨届出タルニ依リ其所在見聞ノ者ハ速ニ管轄廳へ

申出ヘシ但該免狀ハ無効ニ屬ス

明治二十三年十一月八日

遞信大臣伯耆後藤象二郎

○遞信省告示第二百四十號

一遞信監察官章 福第一〇號

岩代國桑折郵便局渡ノ分

右紛失候旨届出候ニ付自今該章ハ無効トス

明治二十三年十一月八日

遞信大臣伯耆後藤象二郎

○司法省告示第六十一號

安濃津地方裁判所管内安濃津區裁判所一身田、松ヶ崎各出張所四日市區裁判所狹野出張所上野區

明治二十三年十一月 告示 司法省告示第五十九號 第六十號 第六十一號 遞信省告示第二百二十九號 第二百四十號 四五七



考	備	學	理	學
六	各科滿點ハ二十點トス	一 學科開題ハ一科目毎ニ若干ヲ與ヘ總テ之ヲ答セシム 二 科目ノ下格強中ニ記スル科目ハ受験者ニ爲メニ程度ヲ示スモノトス 三 試験ノ答解ハ各科目毎ニ點數ヲ附與スルモノトス 四 試験格中其ノ一科目ニ於テ合格セザル者ハ採用セス 五 數學ハ算術代數平面幾何學ヲ各一科目トス 六 各科滿點ハ二十點トス	日本支那朝鮮(新中地理書 山田行元 萬國地理 前橋孝義著) 日本史(正續皇朝史略 日本歷史 天野爲之合著) 支那史(十八史略 十八史略 前橋孝義著) 萬國史(萬國歷史 天野爲之著)	五點 三點 三點

○遞信省告示第二百三十八號

磐城國磐前郡湯木始メ左ノ郵便局ハ郵便爲替事務ヲ開施シ本年十二月一日ヨリ其事務ヲ取扱ハシム  
但當分ノ内小爲替振出ノ事務ヲ取扱ハシメス

明治二十三年十一月六日

遞信大臣伯耆後藤象二郎

磐城國磐前郡湯木郵便局

十佐國幡多郡下山郵便局

大隅國大島郡大島東方郵便局

大隅國歐謨郡屋久島宮ノ浦郵便局

○內務省告示第四十號

英彦山神社 福岡縣豐前國田川郡鎮座

右社格ヲ官幣小社ニ列セラル、旨仰出サル

明治二十三年十一月七日

內務大臣伯耆西郷從道

○司法省告示第五十九號

福島地方裁判所管内郡山區裁判所三春出張所裁判ノ管轄分ノ内開廷セス

明治二十三年十一月七日

司法大臣伯耆山田顯義

○司法省告示第六十號

京都地方裁判所管内京都區裁判所上加茂出張所明治二十三年十一月一日ヨリ開廳セリ

明治二十三年十一月八日

司法大臣伯耆山田顯義

○遞信省告示第二百三十九號

一 西洋形帆船高麗丸免狀第三十四號 明治十七年三月二十八日發部

右ハ山形縣下西田川郡鶴岡町大字荒町三谷正右衛門所有ノ處明治二十三年四月六日福島縣下磐城

國磐前郡小名濱沖ニ於テ木船難破ノ際流失セシ旨届出タルニ依リ其所在見聞ノ者ハ速ニ管轄廳ヘ

申出ヘシ但該免狀ハ無効ニ屬ス

明治二十三年十一月八日

遞信大臣伯耆後藤象二郎

○遞信省告示第二百四十號

一 遞信監督官更ノ章 福第一〇號

岩代國桑折郵便局渡ノ分

右紛失候旨届出候ニ付自今該章ハ無効トス

明治二十三年十一月八日

遞信大臣伯耆後藤象二郎

○司法省告示第六十一號

安濃津地方裁判所管内安濃津區裁判所一身田、松ヶ崎各出張所四日市區裁判所菰野出張所上野區

明治二十三年十一月 告示 司法省第五十九號 第六十號 第六十一號 遞信省第二百三十九號 第二百四十號 四五七



裁判所阿保出張所山田區裁判所田丸出張所木本區裁判所長島出張所明治二十三年十一月一日ヨリ開聽セリ

明治二十三年十一月十日

司法大臣伯耆山田顯義

○遞信省告示第二百四十一號

本月十六日ヨリ左ノ郵便局ヲ郵便電信局トシ其事務ヲ取扱ハシム

但當分ノ内歐文電報數字及亞刺比亞數字ヲ記入シタル和文電報ハ取扱ハス

明治二十三年十一月十日

遞信大臣伯耆後藤象二郎

國名 郡名 舊稱 新稱

根室 標津 標津郵便局 標津郵便電信局

根室 野付 別海郵便局 別海郵便電信局

○遞信省告示第二百四十二號

本月十六日ヨリ羽後國仙北郡大曲郵便局ヲ郵便電信局トシ大曲郵便電信局ト稱シ其事務ヲ取扱ハシム

但當分ノ内歐文電報數字及亞刺比亞數字ヲ記入シタル和文電報ハ取扱ハス

明治二十三年十一月十日

遞信大臣伯耆後藤象二郎

○遞信省告示第二百四十三號

左ノ郵便局名ヲ改稱ス

明治二十三年十一月十日

遞信大臣伯耆後藤象二郎

國郡名 舊稱 改稱

陸前國氣仙郡 氷上郵便局 高田郵便局

陸中國東和賀郡 横川目村下村郵便局 下村郵便局  
陸中國東和賀郡 湯田村杉名畑郵便局 杉名畑郵便局

○大藏省告示第五十二號

明治二十三年一月告示第一號金庫位置及出納區域中二十三年十一月十一日大藏省令第三十二號ニ依リ變更ニ

係ル箇所左ノ通改正及删除ス

明治二十三年十一月十一日

大藏大臣伯耆松方正義

金庫名稱位置及出納區域改正ノ分

水金庫名	支金庫名	位	區	城
京都	伏見	從前ノ通	京野市	愛宕郡
京都	水津	同上	宇治郡	紀伊郡
京都	山	同上	相模郡	喜喜郡
大坂	堺	同上	中野郡	竹野郡
大坂	同	同上	泉野市	大島郡
横濱	同	同上	横濱市	久其岐郡
横濱	同	同上	同	同
横濱	同	同上	同	同
横濱	同	同上	同	同

本表水金庫名ヲ掲ケタルモノハ支金庫ノ名稱ヲ掲ケサル  
市郡ハ水金庫ノ取扱ニ係ルカ故ト水金庫ノ取扱フヘキ市  
郡ナキモ其支金庫ノ屬スヘキ水金庫ヲ知ラシムルカ爲メ  
ナリ  
水金庫位置及出納區域ハ都テ從前ノ通りニシテ異動ナキニ  
ヨリ本表ニ於テハ略シテ之ヲ掲ケス  
水支金庫ノ區域中從前ト異動ナキモノハ市郡名ノ上ニ○  
印ヲ施シ又區域ニ異動ナクシテ金庫名及位置ノ變更セシ  
モノニハ△印ヲ施シテ之ヲ區別ス



山形	仙臺	長野	岐		甲府	靜岡	津	前橋	神戶										
			多治	大垣					鎌倉	江尻	藤岡	豐岡	赤穂	龍野	姫路	加古川	社村	明石	
石巻	同上	鹽崎	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上
山形市	仙臺市	更級郡	土岐郡多治見町	安八郡	山縣郡	各務原市	南巨摩郡	庵原郡	津市	南甘野郡	山崎郡	佐用郡	揖東郡	飾西郡	加古川市	多可郡	加東郡	明石郡	美濃郡
南村山郡	桃生郡	宮城郡	不破郡	不破郡	方原郡	四八代郡	安濃郡	安濃郡	安濃郡	多湖郡	美濃郡	赤穂郡	揖西郡	飾東郡	印南郡	加西郡	美濃郡	美濃郡	美濃郡

和歌山	山口	廣島	岡												金澤	福井				
			島	丹波	美田郡	勝田	津山	久世	新見	高梁	笠岡	新田	水庄	西大寺			金川			
橋本	長府	竹原	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上
伊都郡橋本村	赤間關市	賀茂郡竹原町	久米南條郡	吉野郡	勝南郡	四北條郡	大庭郡	阿賀郡	上房郡	小田郡	都宇郡	賀陽郡	和氣郡	上道郡	津高郡	金澤市	敦賀郡	敦賀郡	敦賀郡	敦賀郡
	海部郡	久米北條郡	英田郡	勝北郡	東南條郡	東北條郡	島郡	哲多郡	川上郡	後月郡	鹽屋郡	下道郡	磐梨郡	邑久郡	赤阪郡	河北郡	三方郡	三方郡	三方郡	三方郡







山形	上ノ山	南村山郡上ノ山町大字	南村山郡
山形	八村	三方郡八村大字	三方郡
山形	津幡	河北郡津幡町大字	河北郡
山形	金澤	河北郡金澤町大字	河北郡
山形	經部	赤松郡經部町大字	赤松郡
山形	今城	邑久郡今城町大字	邑久郡
山形	富山	上道郡富山村大字	
山形	片上	和氣郡片上村大字	
山形	小野田	磐前郡小野田村大字	磐前郡
山形	高松	賀陽郡高松村大字	
山形	蕪川	都字郡蕪川村大字	都字郡
山形	四江原	後月郡四江原村大字	後月郡
山形	岡田	下道郡岡田村大字	下道郡
山形	東成羽	川上郡東成羽村大字	川上郡
山形	上市	哲多郡上市村大字	哲多郡
山形	大野	西四條郡大野村大字	西四條郡
山形	神庭	東北條郡神庭村大字	東北條郡
山形	廣戸	勝北郡廣戸村大字	勝北郡
山形	大原	吉野郡大原村大字	吉野郡

廣島	後文東	久米北條郡後文東村大字	久米北條郡
山口	山口	真島郡山口村大字	真島郡
山口	赤間關	賀茂郡四日市大字	
山口	和歌山	赤間關市大字	赤間關市
山口	宮村	名草郡宮村大字	名草郡
山口	妙寺	伊都郡妙寺村大字	
山口	箱崎	糟屋郡箱崎町大字	糟屋郡
山口	大野	御笠郡大野村大字	御笠郡
山口	北野	御井郡北野村大字	御井郡
山口	山本	山本郡山本村大字	山本郡
山口	那賀	那賀郡那賀村大字	那賀郡
山口	御原	御原郡御原村大字	御原郡

金久安金庫ノ區域中川邊部ノ内十島ヲ削除ス

○遞信省告示第二百四十四號  
 本年七月當省第四百九十九號告示山口縣長門國下ノ關海峽與治兵衛及組立標修繕ノ工事今竣落成シテ  
 ルヲ以テ頭ニ不動燈明ヲ設ケ本月十五日以後點火ス  
 一該立標ハ石造圓形ニシテ與治兵衛立標ヲ紅色ニ組立標ヲ黑白横線ニ塗ル  
 一與治兵衛立標ノ燈火ハ紅色ニシテ眞方位南二十度五十八分東ヨリ北六十九度二分東マテ二百七十度  
 十度間ヲ照輝ス  
 一組立標ノ燈火ハ白色ニシテ眞方位北八十八度三十五分東ヨリ北一度二十五分西マテ二百七十度  
 間ヲ照輝ス



一右方位ハ各立標ヨリ測定ス  
 一右兩燈火ハ大瀾潮水面ヨリ高サ十九尺其光達距離ハ晴天ノ夜三海里トス  
 一眩燈明器械ハ一度點火スルトキハ數日保持シ得ヘキ構造ニ係ルヲ以テ別ニ看守員ヲ置カス故ニ  
 萬一消滅スルトキハ再日點火スルマテ多少ノ時日ヲ要スヘシ航海者宜シク注意スヘシ  
 明治二十三年十一月十一日  
 遞信大臣伯爵後藤象二郎

○宮内省告示第二十二號

本年帝國議會開院式當日諸次第左ノ如ク定メラル

明治二十三年十一月十二日

宮内大臣子爵土方久元

賢所

皇靈 御親祭次第

神殿

當日早且御殿ノ御裝飾ヲ奉仕ス大眞寢木恒ノ如シ

次宮内省諸員著床

次開扉

此間奏樂

次神饌及御幣物ヲ供ス

此間奏樂

午前第八時

出御親王大勳位内閣總理大臣樞密院議長各大臣大臣待遇侍從長樞密院副議長樞密顧問官近衛將官

其他宮内官供奉

次賢所へ御玉串ヲ奉リ給ヒ 御拜御告文ヲ奏シ給フ 御鈴

次皇靈へ御玉串ヲ奉リ給ヒ 御拜御告文ヲ奏シ給フ

次神殿へ御玉串ヲ奉リ給ヒ 御拜御告文ヲ奏シ給フ畢テ 入御

此間親王以下供奉諸員拜禮

同九時ヨリ同時三十分迄貴族衆議兩院正副議長議員參拜

同時兩院書記官長書記官參拜

次御幣物及神饌ヲ撤ス

此間奏樂

次閉扉

此間奏樂

次各退出

帝國議會開院式次第

一當日午前十時兩院議員ハ各議院ニ參集ス

文官海軍將校有爵者有位者ハ大禮服陸軍將校及警察官ハ正裝其他ハ通常禮服(勳章アル者ハ木綬佩用)

一參列員ハ親王大勳位内閣總理大臣樞密院議長各大臣大臣待遇侍從長樞密院副議長樞密顧問官近

衛將官其他供奉員トス

一午前十時三十分 御出門貴族院へ 行幸國會議式



供奉ハ親王大勳位内閣總理大臣樞密院議長各大臣大臣待遇侍從長樞密院副議長樞密院顧問官近衛  
將官其他供奉員トス

一 御道筋へ儀仗兵整列ス

一 兩院議長副議長書記官長書記官議院門内ニ整列シ奉迎ス

此間奏樂 君ケ代

一 貴族院議長便殿ニ奉請ス

一 便殿ニ 著御ノ後兩院議員各々其議長ノ指揮ニ從ヒ式場圖ニ依リ整列ス

一 式部長 出御ヲ奏請ス

一 式部長ノ奉請ヲ以テ式場ニ 出御侍從御座ヲ奉シ侍列親王及供奉員列ニ就ク

一 玉座ニ 著御各員最敬禮

一 立御總理大臣勅語書ヲ奉進ス

一 勅語

此間祝砲

一 議長及議員拜聴訖テ最敬禮

一 貴族院議長 御前ニ進ミ勅語書ヲ拜受シ列ニ復ス

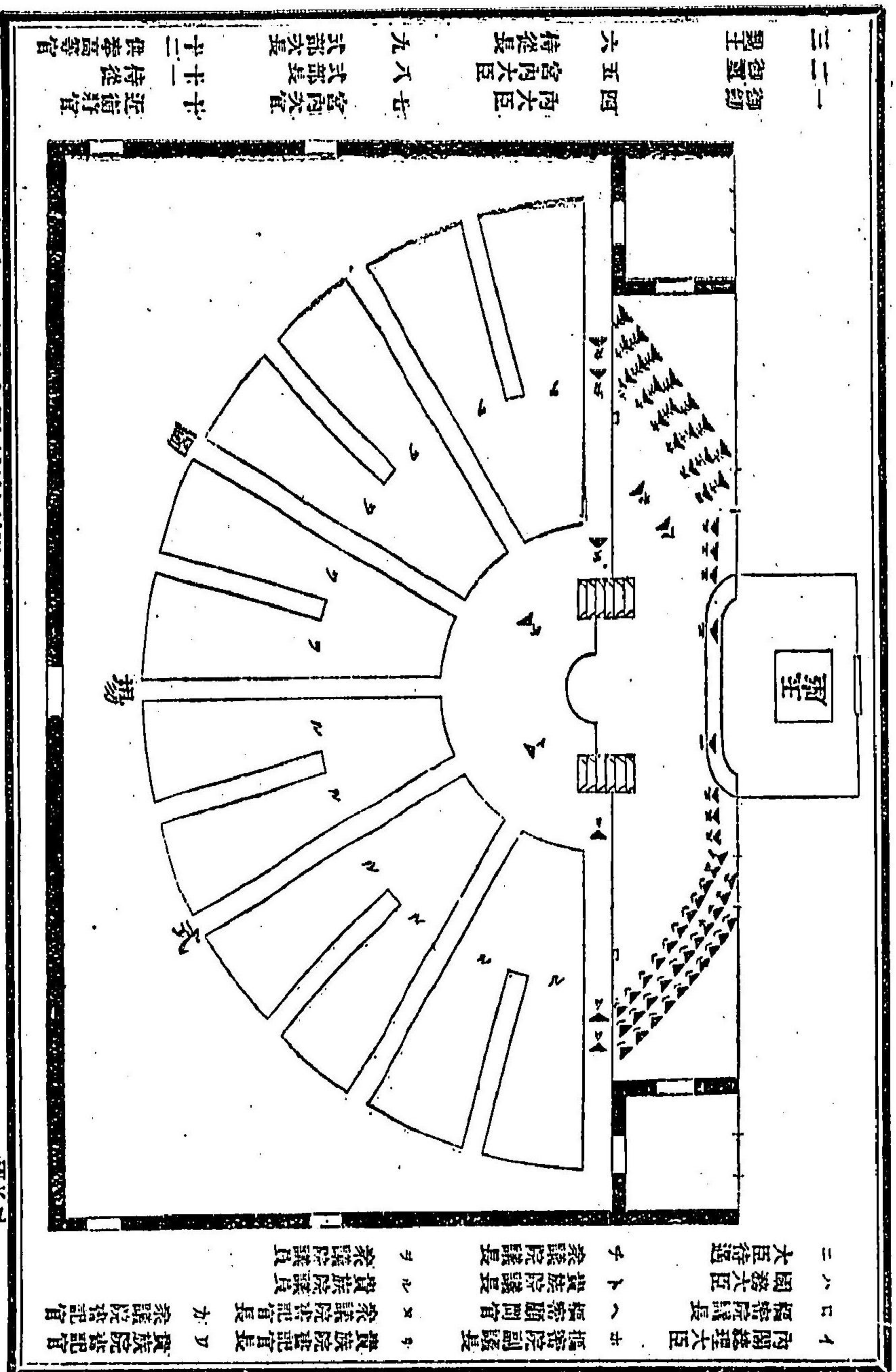
一 式部長ノ奉請ヲ以テ 入御親王及供奉員扈從

一 還幸兩院議長副議長書記官長書記官門内ニ於テ奉送ス

此間奏樂 君ケ代

一 還幸ノ後議員退散

一 當日參列供奉ノ文官海軍將校ハ大禮服陸軍將校及警察官ハ正裝勳章アル者ハ木綴佩用







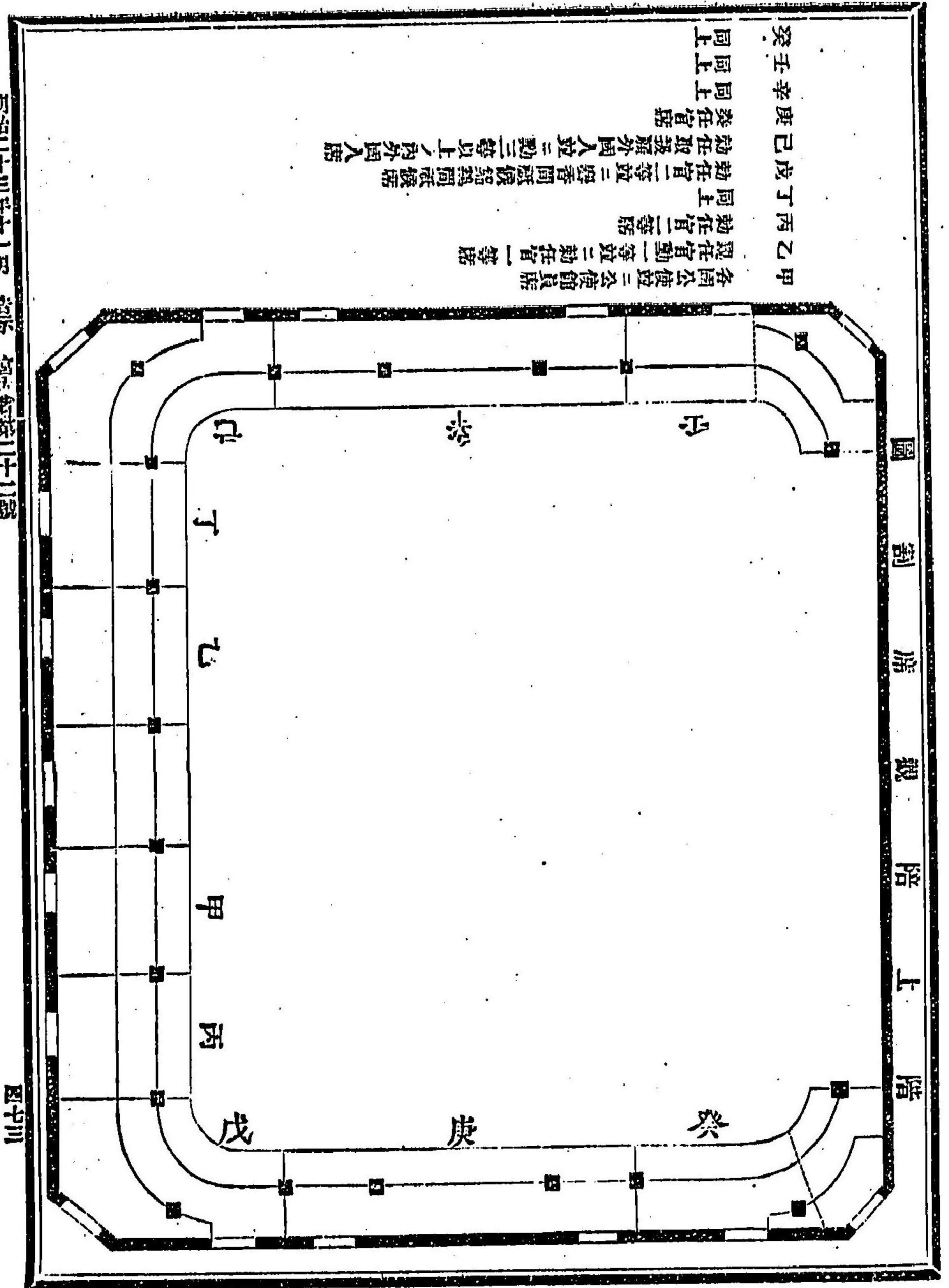


還幸ノ節

衆議院表門ヲ出テ左へ右へ内幸町通鹿鳴館脇左へ日比谷門ヲ入り有樂町ニ至リ中山邸前左へ  
堀端通馬場先門ヲ入り左へ折レ菅元老院前通廣場ヲ經テ宮城正門

明院式陪觀諸員

- 各國公使公使館員
- 在京親任官勳一等勳任官
- 各地方長官
- 各師團長
- 各旅團長
- 各鎮守府司令長官
- 各軍港司令官
- 艦隊司令長官
- 各陸軍師團長
- 各海軍艦隊司令長官
- 在京驛警備隊長
- 同錦旗開帳儀
- 同勅任扱履外國人
- 同勳三等以上内外國人
- 同三等以上奉仕官若干名



甲 各局公使館長ニ公使館員席  
 觀禮官勳一等勳二等勳任官一等席  
 乙 勳任官二等席  
 丙 同上  
 丁 勳任官二等勳一等勳二等勳任官二等席  
 戊 勳任官二等勳一等勳二等勳任官二等席  
 己 勳任官二等勳一等勳二等勳任官二等席

明治三十三年十一月廿一日 皇宮 宮内省第二十二號

皇宮



○司法省告示第六十二號

金澤地方裁判所管内高濱區裁判所ニ於テ明治二十三年十一月十五日ヨリ裁判事務ヲ取扱フ

明治二十三年十一月十二日

司法大臣伯爵山田顯義

○逓信省告示第二百四十五號

本月二十一日ヨリ紀伊國西牟婁郡串本郵便局ヲ郵便電信局トシ串本郵便電信局ト稱シ共事務ヲ取扱ハシム

明治二十三年十一月十二日

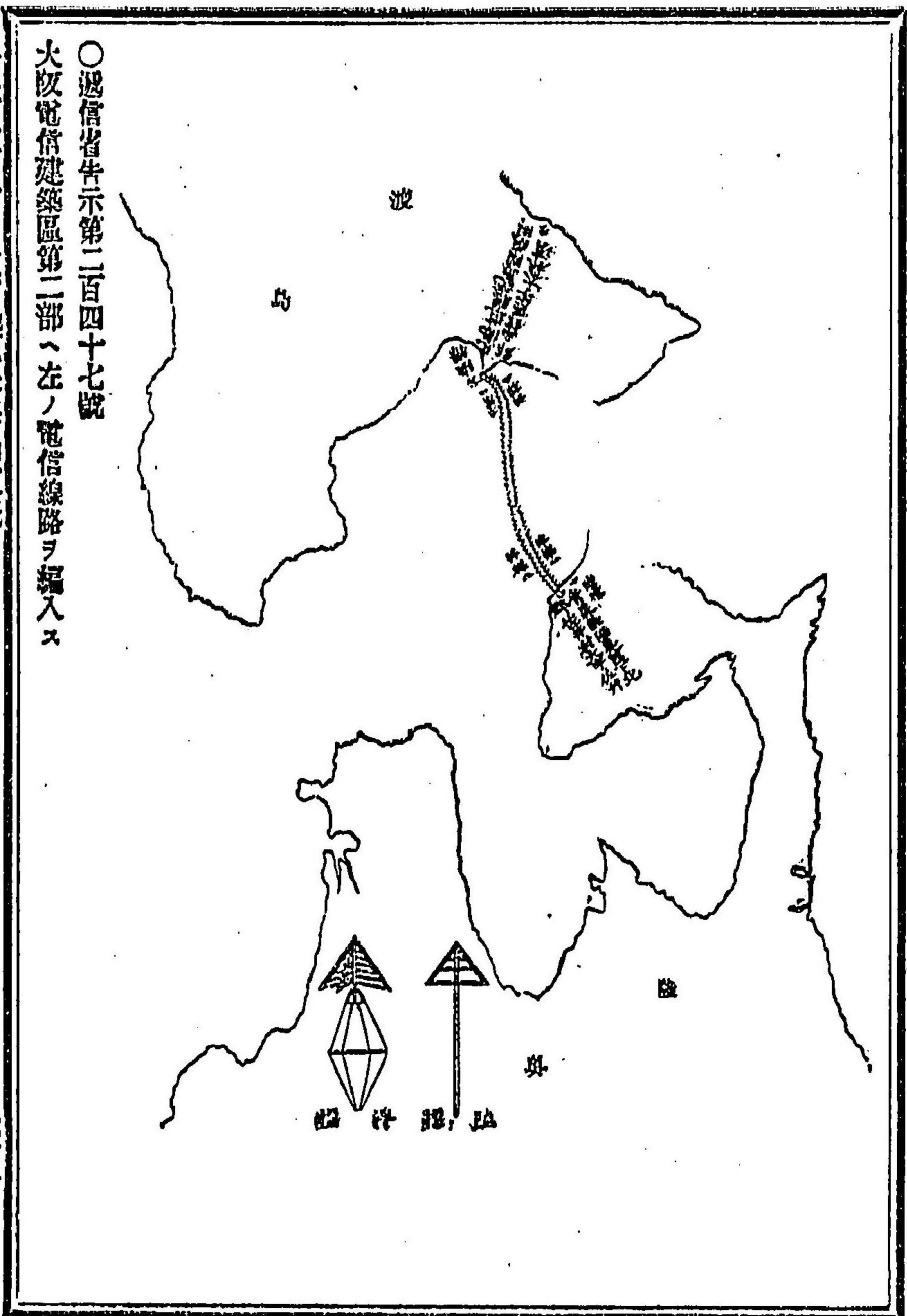
逓信大臣伯爵後藤象二郎

○逓信省告示第二百四十六號

北海道虻田郡虻田郡函館區字大森濱ト青森縣下陸奥國下北郡佐井村大字佐井トノ間ニ海底電信線二條ヲ沈布シ左圖線條ノ左右各二百間以内ヲ以テ該線路ト定ム

明治二十三年十一月十三日

逓信大臣伯爵後藤象二郎



明治二十三年十一月 告示 逓信省第二百四十七號

四七五



明治二十三年十一月十三日

和歌山縣 四守坂郡田邊町  
同 東牟婁郡新宮町

遞信大臣伯爵後藤象二郎

○司法省告示第六十三號

青森地方裁判所管内青森區裁判所小湊出張所五所河原區裁判所板屋野木出張所明治二十三年十一月二十日ヨリ開廳ス

司法大臣伯爵山田顯義

○遞信省告示第二百四十八號

遊江國樺原郡御前崎村ニ三等郵便局ヲ置キ御前崎郵便局ト稱シ本月十六日ヨリ共事務ヲ取扱ハレ

明治二十三年十一月十四日

遞信大臣伯爵後藤象二郎

○海軍省告示第二十六號

本年十二月海軍兵學校機關生徒十名召募ス志願ノ者ハ華士族平民ヲ論セス海軍兵學校機關生徒志願者心得ニ依リ同月十七日限リ東京ニ在テハ築地海軍大學校内海軍兵學校出張生徒試驗委員ハ廣島ニ在テハ江田島海軍兵學校長ハ差出スヘシ

明治二十三年十一月十五日

海軍大臣子爵樺山資紀

○海軍省告示第二十七號

本年八月海軍兵學校生徒志願者<sup>體格検査合格者ニ限ルニシテ</sup>本日告示第二十六號ニ基キ機關生徒志願ノ者ハ願書差出ニ不及受験ノ場所並ニ宿所ヲ日限迄ニ東京ハ築地海軍大學校内海軍兵學校出張生徒試驗

委員ハ廣島ハ江田島海軍兵學校ハ差出スヘシ但シ寫眞返却シタル分ハ更ニ持參スヘシ

明治二十三年十一月十五日

海軍大臣子爵樺山資紀

○遞信省告示第二百四十九號

一 帆船立新丸検査證書<sup>明治二十三年六月十四日登簿</sup>  
一 帆船通快丸検査證書<sup>明治二十三年四月十二日登簿</sup>  
右第二百三號検査證書ハ北海道廳渡島國函館區辨天町三番地岩淵孫實所有帆船立新丸ハ下付ノ處去ル九月二十八日後志國岩内甲岬近海ニ於テ又第六百六十一號検査證書ハ北海道廳渡島國函館區三井物産會社支店支配人松岡讓名義ヲ以テ同社所有帆船通快丸ハ下付ノ處去ル十月一日日高國三石郡姥布村字ベセハケニ於テ右號レヨ難破ノ際流失ノ旨届出ニ依リ其所在見聞ノ者ハ速ニ管轄廳ハ申出ヘシ但該證書ハ無効ニ屬ス

明治二十三年十一月十五日

遞信大臣伯爵後藤象二郎

○海軍省告示第二十八號

明治二十三年海軍兵學校機關生徒志願者心得左ノ通定ム

明治二十三年十一月十七日

海軍大臣子爵樺山資紀

明治二十三年海軍兵學校機關生徒志願者心得

第一條 志願者ハ海軍兵學校條例中左ノ條ヲ心得ヘシ

第一條 海軍兵學校ハ將校及機關官ト爲ルヘキ生徒ヲ教育スル所トス

將校ト爲ルヘキ生徒ヲ將校生徒ト稱シ機關官ト爲ルヘキ生徒ヲ機關生徒ト稱ス

第四條 生徒ハ年齡滿十六年以上二十年未滿ニシテ海軍將校若クハ海軍機關官ヲシトシテ志



願スル者ニ就キ身體學術ヲ検査シ合格シタル者ヨリ選抜シテ採用ス

第五條 左ノ諸項ニ掲グルル者ハ生徒ニ採用スルコトナシ

一 有妻ノ者

二 禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者

三 身代限ノ處分ヲ受ケ辨償ヲ終ヘサル者

第七條 生徒ハ入校ノ日ヨリ海軍兵籍ニ編入ス

第八條 生徒ハ情願ヲ以テ免スルコトナシ

第九條 生徒左ニ掲クル諸項ノ一ニ該ルトキハ之ヲ免ス

一 品行不真或ハ怠惰ニシテ屢訓戒ヲ加フルモ改悛セサル者

二 試験ノ成績屢不良ニシテ卒業ノ目的ナキ者

三 傷疾疾病等ニ罹リ卒業ノ目的ナキ者

第二條 志願者ハ其願書ニ履歷書及誕辰證書ヲ添ヘ府縣知事符留者ハ其地ノ府縣知事ノ與書附印ヲ受ケ海軍

兵學校長或ハ試験委員ニ出スヘシ

第三條 志願者ハ其願書ニハ父兄親族其他一家ヲナス身元確實ナル者二名ヲ保證人ト爲スヘシ

一 身體検査

二 學科試験

身體検査ニ不合格ノ者ハ學科試験ヲナサス

第四條 志願者ハ前以テ地方醫師ノ下検査ヲ受ケ置キ身體検査ニ出ツル時第四號書式ニ照準シ身

體検査證ヲ携フヘシ

第五條 志願者ハ身體検査ニ出ツルトキ新ニ撮影セル寫眞一葉ヲ携フヘシ

第六條 入校試験ノ場所ハ左ノ地ニ設ク

一 東京

二 廣島

第七條 入校試験ノ身體検査ハ東京ニ在リテハ二十三年十二月十七日ヨリ廣島ニ在リテハ同十二

月十九日ヨリ開始ス

第八條 志願者ハ東京ニ在リテハ十二月十五日限り試験滞在中ノ宿所ヲ東京府廳ニ廣島ニ在リテ

ハ十二月十七日限り廣島縣廳ヘ届出ツヘシ

第九條 何等ノ事故アリト雖トモ之カ爲メ時日ヲ延シ検査ヲ爲スコトナシ

第十條 志願者検査地ヘ往復並ニ滞在費等ハ一切自辨タルヘシ

第十一條 生徒ヲ命スルト否トハ本人願書ニ與書シタル府縣廳ヲ經テ保證人ニ達ス

第十二條 生徒ヲ命スヘキ者ニハ本人願書ニ與書シタル府縣廳ヨリ本校マテノ里程ニ應シ相當ノ

旅費ヲ給ス

第十三條 生徒ヲ命セラレタル者ハ誓約書ニ署名捺印シ海軍ニ従事シ決シテ他志ナキヲ表スヘシ

第十四條 生徒ハ入校ノ日ヨリ修學ノ費用及被服食料等悉皆官費トス

第十五條 生徒ヲ免シタル者ニハ既ニ給與シタル手當金一日二十錢宛ヲ償還セシム

第十六條 遺傳病其他身丈體重胸圍ノ不足或ハ疾病等ニ依リ體格ニ適合セサル者ハ大略左ノ如シ

第一 發作性ノ疾病アル者

註解 發作性ノ疾病トハ總テ時々發歇スル處ノ病ニテ其類例左ノ如シ

癲癇(俗ニ癪持或ハ持病癪)喘息(俗ニ痰持ト云フ)眩暈(俗ニメマイ立クヲミ坏ト云フ)



心悸亢進(聊カノ事ニ驚キ易ク儘ノ勞働等ニ因テ忽チ胸ノ動氣亢進短息等ヲ發シテ容易ニ鎮靜セサル者) 慢驚質斯爾筋痛(氣候ノ變換ニ誘發シテ手足ノ關節腫痛或ハ腰部等ニ痛ヲ發スル病ニテ俗ニ風毒風濕或ハ痛風ノ初期ト云フ) 慢驚質斯爾(氣候ノ變換ニ誘發スル病氣ニシテ殊ニ涼風寒氣等ヲ冒セハ俄ニ起リ易ク俗ニ疝氣持杯ト云フ) 間歇性頭痛(天氣ノ變換ニ誘發シ自己ノ感覺ニテ天氣ノ晴雨ヲ豫メト知スルコトアリ俗ニ頭痛持杯ト云フ)

第二 狹窄症内痔症其他自己識得スル疾病及遺傳ノ疾病アル者

註解 狹窄症トハ眼耳鼻口咽喉食道尿道肛門等カ先天性或ハ疾病或ハ外傷ノタメニ狹ハマリ小サクナル症ヲ云ヒ遺傳ノ疾病トハ血統病ニシテ木人ノ實父母兄弟姉妹祖父母或ハ叔伯父母等ニ左ノ疾病アル者

癩病(俗ニカツマイ)又天刑杯ト云フ此病ハ遺ク血統ヲ引ク病ニハ父母兄弟ハ勿論其血統中)

肺癆(或勞瘵勞瘵勞瘵杯ト云フ) 癩狂(或風癩狂氣杯ト云フ)

癩癩病(或ハ癩癩グリヤ々胎毒杯ト云フ)

中風全身梅毒

第三 宿痾舊創ニヨリ患フル處アル者

註解 宿痾トハ種々様々ノ痾病ニシテ容易ニ癒ヘサル者ノ類ヲ云ヒ舊創トハ打撲挫傷斷骨創痰等ノ瘡痕アリテ勞働或ハ寒濕ニ觸レ疼痛或ハ麻痺或ハ變急等ヲ發シ共部ノ運營不充分ナル症ナリ

第四 身丈五尺一寸ニ達セサル者

第五 體重十二貫目ニ達セサル者

第六 胸圍二尺五寸三分ニ達セサル者

第七 胸廓擴張一寸八分ニ達セサル者

但シ十七年以下ニシテ身丈體重胸圍等些少ノ不足アルモ無病健全ニシテ發育ノ目的アル者ハ検査ノ上適合スルコトモアルヘシ胸圍ヲ測定スルニハ尺度ヲ横乳線ト平行圍繞シ呼吸ノ中間ヲ取り測定ス

第八 發育身丈體重胸圍等不足ナキモ爾他ノ發育不全ニシテ身體薄弱ノ者或ハ年齢不相應ニ身丈ノミ發育シ身丈ニ比スレハ體重輕ク頸長ク胸廓扁平勞瘵質ヲ固有スル者

第九 皮膚慢性皮膚病癩癩癩内部ノ疾患ニ因テ施ス處ノ著キ發泡打撲ノ痕跡頭面部巨大ノ瘡痕醜形ヲ呈スル者其他各部ノ瘡痕巨大ナラザルモ骨ニ密著シテ動搖セサル者著キ瘦體肥大脂肪過多體毛非常ノ過多癩風母斑(面部ニアリテ著シク醜形ヲ呈スル者)

第十 眼目眼瞼ノ畸形眼目不透明ニシテ健體ノ徵ナキ者失明淚管瘻眼瞼下垂睫毛内刺怒肉反噴瞼裡顆粒角膜諸病視力二十尺ノ距離ニ於テ一般ニ人ノ視定スヘキ小形ヲ見認メサル者及顔色ハ綠藍黃赤等各種色ヲ鑑別シ能ハサル者

第十一 耳 内外聽道ノ疾病殊ニ鼓膜穿孔著キ耳漏片耳若クハ兩耳ノ耳聾或ハ低聾ヲ聽取シ難キ者

第十二 鼻 鼻ノ畸形鼻骨鼻軟骨ノ疾病鼻孔狹窄閉塞ノ者

第十三 口咽喉 舌唇口蓋或ハ扁桃腺ノ著キ疾病畸形齒牙不足齒牙及齒眼ノ不良失徹兒倍皆全身病ニ起因スル呼吸惡臭アル者

第十四 手足 四肢ノ著キ不同内海外海著キ扁平足或ハ骨折筋力ノ薄弱指趾ノ缺損或ハ畸形下肢靜脈怒脹スル者

第十五 胸腹 胸廓ノ著キ扁平(肺發質ノモノ)畸形胸肋骨傷心悸亢進(著キモノ)心肺ノ疾



患呼吸短息慢性咳嗽聲音嘶啞肋膜炎後ノ障害腹壁腫脹膨滿腸腸腹輪ノ海鼠膨脹内臓ノ諸疾患等アル者

第十六 背腰 頸背或腰椎ノ骨盤ノ諸疾患背椎諸病アル者

第十七 會陰 肛門内痔外痔痔瘻コンナロマタ肛門皸裂痔瘻脱肛アル者

第十八 生殖器 畢丸諸病例ノ精系靜脈張片畢丸若クハ兩辜ノ下降セサル者淋疾尿道狹窄慢性下疳ノ瘻痕眞包莖(但シ包莖ハ志願前治療ヲ加ヘ妨碍ナキ者ハ此限ニアラス)小便失禁尿道瘻孔等ノ者

第十九 精神及言語 精神痲鈍或ハ異狀白痴癡癡言語妨碍或啞吃等

第十七條 學科ノ試験左ノ如シ

漢	作文測驗	史類中ヨリ數節ヲ出シ測驗ヲ施サシム
算	算術	算術書中ヨリ若干ノ問題ヲ出シ測驗ヲ施サシム
英	英文和譯	邦文數節ヲ英譯セシム
法	法文和譯	邦文數節ヲ法文ニ譯シテ測驗セシム
代	代數	四術ヨリ二元二次方程式ニ至ル其外開法自體法諸數法不備極數比比例等ヲ考テアルニ限リテ其ノ中ヨリ若干ノ問題ヲ出シ測驗ヲ施サシム
會	會話	英文凡ソノ百語ヲ檢テ之ヲ書取ラシム

一 問題ハ會話ヲ除ク外總テ筆答トス

二 數學ハ原理ト應用ト二種トス

三 學科試験ハ身體ノ検査ニ合格スル者ノミ之ヲ受ケレム

四 三學科中白文測驗代數英文和譯ニ各百分ノ三十五以上ヲ得ル而シテ各科ノ點數百分ノ四十以上ヲ得ル者ヲ及第トス

五 試驗場ニ於テハ一切他人ト言語ヲ交フルヲ禁ス

六 自己ノ書籍草案等一切携帯スルヲ禁ス但シ要用ノ筆墨硯白紙小刀ハ之ヲ持參スルモノトス

七 問題ノ文意等一切質問スルヲ禁ス

八 答紙ニ塗抹多ク字格等明瞭ナラス又數學ニ於テ運算解式ナク答ノミヲ記スルモノハ點ヲ與ハス

九 答ハ必ス時限内ニ出スモノトス時間過ルノ後ハ之ヲ出スヲ得ス

第一號書式用紙差紙ニテ之ヲ

海軍兵學校機關生徒願

海軍兵學校機關ニ付御検査ノ上兵學校機關生徒ニ御採用被下度御許可入校ノ上ハ御願加點重ニ相守可申ハ勿 驗者員上ノ御ハ何事ニ限ラズ身元保證入ニテ引受可申候依テ保證入遊覽此致奉願候也

但東京(横濱)ニ於テ御検査相成度此段申添候也(敬啟)トキハ其旨兵學校長ニ届出シテ)

年 號 月 日

姓 名 印

何府縣郡士族平民

何國何市區何町何番地住

姓 名 印

明治二十三年十二月何年何箇月







海軍兵學校機關生徒ヲ命ス	何府縣市廳平民
年號月日	姓 名
	海軍兵學校

第六號書式

誓約書

加考海軍出身志願ニ依リ今般長海軍兵學校機關生徒被命候ニ付テハ自今勸學期ヲ遵守シ學業中ハ私事ヲ顧ミズ學業ノ後ハ誓テ常同海軍ニ從事可仕候後ヲ誓約知件  
年號月日

海軍兵學校機關生徒 姓 名 印

○海軍省告示第二十九號

本年十一月 海軍省告示第二十八號明治二十三年海軍兵學校機關生徒志願者心得第八條中「東京府廳ヲ築地海軍大學校內海軍兵學校出張出張生徒試驗委員」ニ改メ「廣島縣廳ヲ江田島海軍兵學校」ト改ム  
明治二十三年十一月十八日 海軍大臣子爵樺山資紀

○遞信省告示第二百五十號

函館電信建築區ハ左ノ通り電信線路ヲ編入ス

明治二十三年十一月十九日

北海道根室郡根室間 第五部  
北海 釧路郡釧路間 第三部  
同 釧路郡西岐間

遞信大臣伯爵後藤兼二郎

○行政裁判所告示第二號

行政訴訟豫納金手續左ノ通相定ム

明治二十三年十一月十九日

行政裁判所長官男爵榎村正直

豫納金手續

- 第一條 行政訴訟ヲ爲ス者ハ臨時特別費ヲ除クノ外訴訟提出ノ際ニ於テ書類送達等ノ費用ニ充ツル爲メ金貳圓ヲ豫納スルヘシ
- 第二條 豫納ヲ爲サントスル者ハ當廳ノ保管金送付書ヲ以テ之ニ金員ヲ添ヘ大藏省預金局ニ納付スルヘシ
- 第三條 第一條ノ豫納金ニ於テ仍ホ不足ナルトキハ追加セシムルコトアルヘシ
- 追加手續モ亦前條ニ依ルヘシ
- 第四條 豫納金ノ殘額アルトキハ訴訟事件終局ノ後之ヲ還付ス

○司法省告示第六十四號

德島地方裁判所管内川島區裁判所出張出張所明治二十三年十一月二十五日ヨリ開庭ス

明治二十三年十一月二十日

司法大臣伯爵山田顯義

○司法省告示第六十五號

明治二十二年本省告示第十號中德島地方裁判所管内脇町區裁判所池田出張出張所裁判ノ備置分不開廷ノ處今般開廷期日ヲ左ノ通り改正シ明治二十三年十二月ヨリ開廷ス

脇町區裁判所池田出張所

三月 六月 九月 十二月 各一箇月間

司法大臣伯爵山田顯義



○宮内省告示第二十三號  
和國國皇帝ギユヰ非ヨールム第三世陛下崩御ニ付令二十四日ヨリ來十二月十二日迄十九日間宮中喪  
仰出サル

宮内大臣子爵土方久元

明治二十三年十一月二十四日

○宮内省告示第二十四號

和國國皇帝ギユヰ非ヨールム第三世陛下崩御ニ付宮中喪十九日間高等官有爵者從六位勳士八等以上ノ輩  
參内ノ節左ノ通喪服着用可致旨 仰出サル

宮内大臣子爵土方久元

明治二十三年十一月二十四日

前十日

男子

○大禮服

一 黒紗ヲ左腕ニ纏フ

一 黒紗ヲ以テ帽ノ飾釐ヲ覆フ

一 黒紗ヲ以テ劔ノ柄ヲ巻ク

一 手套黒色

○通常禮服(燕尾服)

一 手套黒色

○通常服(フロックコート)上下黒羅紗

一 帽黒色黒羅紗ヲ纏フ

一 襟飾手套黒色

婦人

一 服地無紋黒色

一 帽子及飾黒色

一 手套扇子黒色

一 諸飾品黒色

後九日

男子

○大禮服

一 黒紗ヲ左腕ニ纏フ

一 手套黒色又ハ白

○通常禮服(燕尾服)

一 手套黒色又ハ白

○通常服(フロックコート)上下黒羅紗

一 黒羅紗ヲ以テ帽ニ纏フ

一 襟飾黒色手套黒色又ハ鼠色

婦人

一 服地黒色

一 手套黒又ハ鼠色

陸海軍將校及相當官ハ十九日間左腕ニ黒紗ヲ纏フ

明治二十三年十一月 宮内省告示第二十四號



○司法省告示第六十六號

東京地方裁判所管内各區裁判所出張所裁判ノ備置分ノ内開廷セヌ

明治二十三年十一月二十四日

司法大臣伯備山田顯義

○司法省告示第六十七號

水戸地方裁判所管内麻生區裁判所京都地方裁判所管内峯山、舞鶴ノ各區裁判所岡山地方裁判所管内新見、笠岡、勝山ノ各區裁判所高知地方裁判所管内須崎區裁判所廣島地方裁判所管内竹原區裁判所山口地方裁判所管内徳山、船木ノ各區裁判所鹿児島地方裁判所管内加治木、鹿屋ノ各區裁判所盛岡地方裁判所管内水澤區裁判所ニ於テ明治二十三年十二月一日ヨリ裁判事務ヲ取扱フ

明治二十三年十一月二十四日

司法大臣伯備山田顯義

○遞信省告示第二百五十一號

來十二月一日ヨリ伊勢國河曲郡神戸郵便局ヲ郵便電信局トシ神戸郵便電信局ト稱シ其事務ヲ取扱ハシム

明治二十三年十一月二十五日

遞信大臣伯備後藤象二郎

○遞信省告示第二百五十二號

石狩國夕張郡角田村ニ三等郵便局ヲ置キ角田郵便局ト稱シ來十二月一日ヨリ其事務ヲ取扱ハシム

明治二十三年十一月二十五日

遞信大臣伯備後藤象二郎

○遞信省告示第二百五十三號

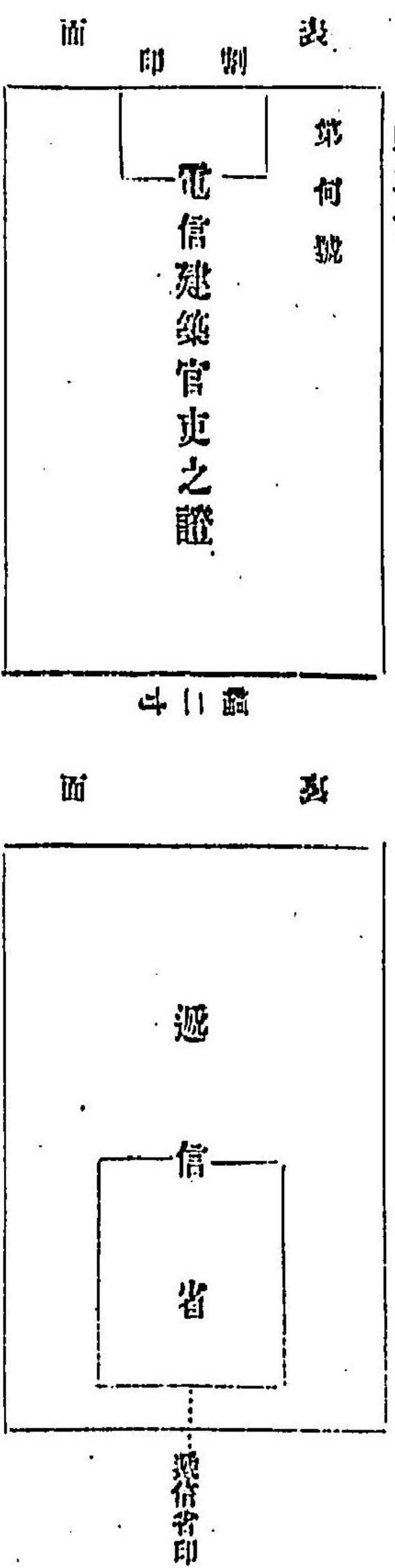
電信線電話線建設條例第二條第二項ノ證據在ノ通相定ム

明治二十三年十一月二十五日

遞信大臣伯備後藤象二郎

用紙厚紙

縦三寸



○司法省告示第六十八號

水戸地方裁判所管内水戸區裁判所暨倉田出張所徳島地方裁判所管内富岡區裁判所立江出張所名古屋地方裁判所管内名古屋區裁判所枇杷島、小牧各出張所一宮區裁判所小折、祖父江各出張所半田區裁判所内海出張所豊橋區裁判所福江出張所明治二十三年十二月一日ヨリ開廳ス

明治二十三年十一月二十六日

司法大臣伯備山田顯義

○宮内省告示第二十五號

來ル二十九日帝國議會開院式ヲ行ハセラル、旨 仰出ツル

明治二十三年十一月二十七日

宮内大臣子爵土方久元

○宮内省告示第二十六號

明治二十三年十一月 告示 司法省第六十八號 宮内省第二十五號 第二十六號



明治二十三年十一月廿九日 告示 大藏省第五十三號 司法省第六十九號 第七十號 第七十一號 逓信省第二百五十四號 四九二

來ル二十九日帝國議會開院式御舉行ニ付除喪 仰出サル

明治二十三年十一月二十七日

宮内大臣子爵土方久元

○大藏省告示第五十三號

大阪府管下大阪本倉庫牧方支金庫ヲ十一月二十七日ヨリ茨田郡牧方町大字牧方へ移ス

明治二十三年十一月二十七日

大藏大臣伯爵松方正義

○司法省告示第六十九號

青森地方裁判所ハ本年十月常省告示第四十七號但書ニヨリ元弘前始審裁判所ニ於テ開キタル處明治二十三年十二月一日ヨリ青森ニ於テ之ヲ開ク

明治二十三年十一月二十七日

司法大臣伯爵山田顯義

○司法省告示第七十號

奈良地方裁判所管内松山區裁判所ニ於テ明治二十三年十二月一日ヨリ裁判事務ヲ取扱フ

明治二十三年十一月二十七日

司法大臣伯爵山田顯義

○司法省告示第七十一號

盛岡地方裁判所管内遠野區裁判所ニ於テ左ノ期日ノ通り民事裁判事務ヲ取扱フ

三月 六月 九月 十二月 各十四日間

司法大臣伯爵山田顯義

明治二十三年十一月二十七日

逓信大臣伯爵後藤象二郎

○逓信省告示第二百五十四號

巴里締結里斯本改正萬國郵便聯合條約實施細目規則第三十二條第一項左ノ如ク修正ス

明治二十三年十一月二十七日

逓信大臣伯爵後藤象二郎

第二(ハリゴランド島ハ郵便事務上ニ付テハ日耳曼ノ一部ト看做シ「マビア」(サモア島)上海(支那)流ニ「ラムー」及「サンヂパール」(東部亞弗利加サンヂパール帝國)ニ設置ノ日耳曼郵便局ハ同國郵政廳ニ屬スルモノトス

○宮内省告示第二十七號

左ノ通世傳御料ニ編入セラレリ依テ公告ス

明治二十三年十一月二十八日

宮内大臣子爵土方久元

勅書

朕皇室典範ニ依リ攝關ノ諮詢ヲ經左記ノ土地物件ヲ世傳御料ト定ム

御名 御璽

明治二十三年十一月二十七日

名	稱	府	縣	名	園	名	市	郡	名
宮	城	東	京	府	武	藏	東	京	市
赤	山	同	同	同	同	同	同	同	同
濱	離	同	同	同	同	同	同	同	同
芝	離	同	同	同	同	同	同	同	同
京	都	京	都	府	山	城	京	都	市
二	條	同	同	同	同	同	同	同	同
桂	離	同	同	同	同	同	葛	野	郡
修	學	同	同	同	同	同	愛	宕	郡
院	離	同	同	同	同	同	同	同	同

明治二十三年十一月廿九日 告示 宮内省第二十七號

四九三



函根離宮	神奈川縣	相模國	足柄下郡
正倉院寶庫	奈良縣	大和國	添上郡
三年町御料地	東京府	武藏國	東京市
高輪御料地	同	同	同
上野御料地	同	同	同
南豐島御料地	同	同	同
兩根御料地	神奈川縣	相模國	足柄下郡
諏訪山御料地	奈良縣	大和國	高市郡
度會御料地	三重縣	伊勢國	度會郡
富士御料地	山梨縣	甲斐國	富士郡
天城御料地	靜岡縣	伊豆國	天城郡
千頭御料地	長野縣	信濃國	千頭郡
萩原御料地	山梨縣	甲斐國	萩原郡
丹澤御料地	神奈川縣	相模國	足柄上郡

右御料地ノ面積段別及境界ハ御料局ニ保存スル所ノ圖面ヲ以テ標準トス  
右宮城皇宮御所離宮寶庫ハ其土地建造物ヲ包含シ其動産ノ世傳御料ニ編入スヘキモノハ別ニ之ヲ定ム

三方御料地	靜岡縣	遠江國	長久手郡
相川御料地	山梨縣	甲斐國	東山梨郡
水登御料地	長野縣	信濃國	西上郡
			下伊那郡
七宗御料地	岐阜縣	美濃國	益田郡
			武儀郡
段戸御料地	愛知縣	三河國	北設樂郡
餘儀御料地	岐阜縣	美濃國	可兒郡
上川御料地	北海道廳	石狩國	上川郡

○司法省告示第七十二號

大津地方裁判所管内水口、八幡、今津、長濱、各區裁判所ニ於テ明治二十三年十二月ヨリ隔月十五日間民事裁判事務ヲ取扱フ

明治二十三年十一月二十八日

司法大臣伯爵山田顯義



○内務省告示第四十一號

唐澤山神社 栃木縣下野國安蘇郡唐澤山鎮座

祭神 藤原秀郷

右社格ヲ別格官幣社ニ列セラルノ旨仰出サル

明治二十三年十一月二十九日

内務大臣伯爵西郷從道

○農商務省告示第十號

佐賀縣下肥前國杵島郡東松浦郡内ノ炭山自今試掘借區共出願差許ス

明治二十三年十一月二十九日

農商務大臣陸奥宗光

○遞信省告示第二百五十五號

陸前國栗原郡登澤村ニ三等郵便局ヲ設キ細倉郵便局ト稱シ來十二月一日ヨリ共事務ヲ取扱ハシム

明治二十三年十一月二十九日

遞信大臣伯爵後藤象二郎

○大藏省告示第五十四號

明治二十四年一月一日ヨリ三月三十一日迄輸入從價稅品元價ノ換算ニ適用スヘキ外國貨幣日本銀貨比較表左ノ通之ヲ定ム

但外國銀貨ト日本銀貨トノ比較ハ從前ノ通

明治二十三年十二月一日

大藏大臣伯爵松方正義

外國貨幣日本銀貨比較表

外國貨幣	金貨	日本銀貨
英 吉 利	一ギニヤ	五 <sup>四</sup> 六三三
獨 逸	一マルク	二七六
北米合衆國	一ドル	一 <sup>一</sup> 五九
佛 蘭 西	一フランク	二二三
瑞 士	一フランク	二二三
白 耳 機	一フランク	二二三
伊 太 利	一リッ	二二三
丁 株	一シロイン	三三〇
瑞 典	一クローン	三三〇
葡 萄 牙	一シロイン	三三〇
和 國	一ギン	四六五
西 班 牙	一ペソ	〇五八



謝	樹	牙	一ニルリ	一ニ四九
土	耳	共	一ピアストル	〇五一

○司法省告示第七十三號

金澤地方裁判所管内金澤區裁判所金石出張所七尾區裁判所中島出張所明治二十三年十二月五日  
リ開聽ス

明治二十三年十二月一日

司法大臣伯爵山田顯義

○遞信省告示第二百五十六號

一西洋形汽船名龍屋丸免狀第三號 明治十九年六月九日登簿  
右ハ東京市日本橋區南茅場町十六番地日本郵船會社所有ノ處明治二十三年十一月中神奈川縣下橫濱港ニ於テ紛失セシ旨届出タルニ依リ其所在見聞ノ者ハ速ニ管轄廳ヘ申出ヘン但該免狀ハ無効ニ屬ス

明治二十三年十二月一日

遞信大臣伯爵後藤象二郎

○大藏省告示第五十五號

盛岡第九十國立銀行東京支店ノ備明治二十三年十二月七日ヲ以テ閉鎖ス

明治二十三年十二月三日

大藏大臣伯爵松方正義

○司法省告示第七十四號

松江地方裁判所管内大森區裁判所川木出張所裁判ノ備明治二十三年十二月ノ一期ニ限リ開廷セヌ

明治二十三年十二月三日

司法大臣伯爵山田顯義

○宮内省告示第二十八號

本月六日

後桃園院天皇御側祭同十二日

光格天皇五十年御式年祭ニ付右兩日除喪 仰出サル

明治二十三年十二月四日

宮内大臣子爵土方久元

○遞信省告示第二百五十七號

千島國色丹郡斜古丹村ニ三等郵便局ヲ置キ斜古丹郵便局ト稱シ毎年四月十六日ヨリ十一月三十日マテ開局事務取扱ハシム

明治二十三年十二月四日

遞信大臣伯爵後藤象二郎

○遞信省告示第二百五十八號

武藏國南埼玉郡宮浦郵便局ハ郵便爲替及貯金事務ヲ開施シ本年十二月十六日ヨリ其事務ヲ取扱ハシム

但當分ノ内小爲替振出ノ事務ヲ取扱ハシメヌ

明治二十三年十二月四日

遞信大臣伯爵後藤象二郎

○遞信省告示第二百五十九號

武藏國南葛飾郡西小松川始メ左ノ郵便局ハ郵便爲替事務ヲ開施シ本年十二月十六日ヨリ其事務ヲ取扱ハシム

但當分ノ内小爲替振出ノ事務ヲ取扱ハシメヌ

明治二十三年十二月四日

遞信大臣伯爵後藤象二郎

武藏國南葛飾郡西小松川郵便局

武藏國荏原郡大森郵便局

武藏國檜蓆郡妻沼郵便局

明治二十三年十二月 官報 宮内省第二十八號 遞信省第二百五十七號 第二百五十八號 第二百五十九號 四九九



武藏國新坐郡大和田郵便局	武藏國榛澤郡中瀬郵便局	甲斐國東八代郡右左口郵便局
甲斐國北都留郡初狩郵便局	下總國海上郡野尻郵便局	下總國香取郡神崎郵便局
下總國香取郡府馬郵便局	下總國香取郡須賀山郵便局	下總國印旛郡實住郵便局
上總國天羽郡湊郵便局	上總國武射郡成東郵便局	上總國望陀郡下郡郵便局
上總國山邊郡四天木郵便局	安房國安房郡布良郵便局	安房國長狹郡花輪郵便局
越後國岩船郡岩船郵便局	越後國岩船郡下關郵便局	越後國岩船郡平林郵便局
越後國岩船郡鹽野町郵便局	越後國岩船郡大川谷郵便局	越後國岩船郡新保郵便局
越後國三島郡脇野町郵便局	越後國南魚沼郡湯澤郵便局	越後國東頸城郡松代郵便局
越後國東頸城郡松ノ山郵便局	越後國中頸城郡關山郵便局	越後國中頸城郡瀨田町郵便局
越後國中頸城郡針村郵便局	越後國北蒲原郡乙郵便局	越後國北蒲原郡稻荷岡郵便局
越後國北蒲原郡保田郵便局	越後國西蒲原郡内野郵便局	越後國西頸城郡梶屋敷郵便局
越後國刈羽郡秋津郵便局	越後國刈羽郡太郎丸郵便局	陸前國本吉郡津谷郵便局
羽後國山木郡二ツ井郵便局	羽後國河邊郡新屋郵便局	羽後國仙北郡神宮寺郵便局
攝津國東成郡今福郵便局	攝津國島上郡富田郵便局	攝津國島下郡吹田郵便局
攝津國豊島郡岡町郵便局	大和國吉野郡大瀧郵便局	大和國吉野郡野尻郵便局
大和國吉野郡汗入郵便局	大和國吉野郡池津川郵便局	大和國高市郡土佐郵便局
大和國山邊郡中壘山郵便局	大和國葛下郡下田郵便局	大和國廣瀬郡箸尾郵便局
河内國澁良郡三箇郵便局	河内國八上郡金田郵便局	河内國茨田郡守口郵便局
河内國交野郡津田郵便局	河内國交野郡星田郵便局	山城國宇治郡醍醐郵便局
山城國葛野郡太秦郵便局	近江國甲賀郡土山郵便局	近江國野洲郡江頭郵便局

近江國坂田郡鳥居木郵便局  
近江國西淺井郡鹽津郵便局  
播磨國多可郡比延郵便局  
播磨國揖東郡新宮郵便局  
播磨國印南郡魚橋郵便局  
丹波國多紀郡福住郵便局  
淡路國津名郡假屋郵便局  
紀伊國名草郡山口郵便局

近江國坂田郡柏原郵便局  
攝津國八郡郡須磨郵便局  
播磨國赤穂郡坂越郵便局  
播磨國揖東郡林田郵便局  
播磨國赤粟郡安積郵便局  
淡路國津名郡岩屋郵便局  
但馬國朝來郡竹田郵便局

近江國粟太郡瀬田郵便局  
播磨國神東郡栗賀郵便局  
播磨國赤穂郡有年郵便局  
播磨國備東郡御著郵便局  
播磨國加古郡西谷郵便局  
淡路國津名郡由良郵便局  
紀伊國那賀郡元村郵便局

○遞信省告示第二百六十號  
本月十一日ヨリ膽振國有珠郡西紋監郵便局ヲ郵便電信局トシ西紋監郵便電信局ト稱シ其事務ヲ取扱ハシム

明治二十三年十二月四日

遞信大臣伯耆後藤象二郎

○大藏省告示第五十六號

長崎縣下長崎本金庫島原支金庫ヲ本月十五日ヨリ南高來郡湊町へ移シ湊支金庫ト改稱ス  
明治二十三年十二月五日  
大藏大臣伯耆松方正義

○司法省告示第七十五號

岡山地方裁判所管内笠岡區裁判所西江原出張所裁判ノ備自今開廷セス  
明治二十三年十二月五日  
司法大臣伯耆山田顯義

○遞信省告示第二百六十一號



本月十六日ヨリ紀伊國東牟婁郡新宮郵便局ヲ郵便電信局トシ新宮郵便電信局ト稱シ其事務ヲ取扱ハシム

明治二十三年十二月五日

遞信大臣伯爵後藤象二郎

○遞信省告示第二百六十二號

東京及横濱ニ電話交換局ヲ置キ來ル十二月十六日ヨリ兩市内及兩市間ニ電話交換ノ業務ヲ開始ス

明治二十三年十二月六日

遞信大臣伯爵後藤象二郎

○遞信省告示第二百六十三號

左ノ場所ニ電話所ヲ置キ來ル十二月十六日ヨリ其事務ヲ取扱ハシム

明治二十三年十二月六日

遞信大臣伯爵後藤象二郎

東京

日本橋電信支局内

本郷郵便電信支局内

下谷郵便電信支局内

浅草郵便電信支局内

深川郵便電信支局内

麴町郵便電信支局内

四ツ谷郵便電信支局内

赤羽電信支局内

品川電信支局内

新橋電信支局内

横濱

横濱電話交換局内

○遞信省告示第二百六十四號

電話交換規則第四條ニ依リ電話所ニ到リ電話通信ヲ爲スコトヲ得ルノ時間左ノ通り之ヲ定ム

明治二十三年十二月六日

遞信大臣伯爵後藤象二郎

一 毎年三月一日ヨリ十月三十一日迄

午前六時ヨリ午後十時マテ

一 毎年十一月一日ヨリ二月末日迄

午前七時ヨリ午後十時マテ

○遞信省告示第二百六十五號

本月十六日ヨリ羽後國雄勝郡湯澤郵便局ヲ郵便電信局トシ湯澤郵便電信局ト稱シ其事務ヲ取扱ハシム

明治二十三年十二月六日

遞信大臣伯爵後藤象二郎

○遞信省告示第二百六十六號

本年十一月中西洋形船へ左ノ信號符字ヲ附シ

遞信大臣伯爵後藤象二郎

明治二十三年十二月八日

遞信大臣伯爵後藤象二郎

西洋形船

信號符字	免狀番號	船名	種類	定票場	船主氏名
HJOV	1107 1207	神宮丸 Jingu Maru.	汽	尾張國船田	共立汽船會社
HJCW	1108 1208	多摩川丸 Tamagawa Maru.	汽	大	大阪商船會社
HJDB	1109 1209	北洲丸 Hokushu Maru.	汽	大	阪商船二三那
HJDC	1110 1210	新田丸 Oaki Maru. No. 12	汽	東	京商船二三那
HJDF	1111 1211	第一丸 Tama Maru. No. 11	汽	東	京商船會社
HJDG	1111 1212	第二丸 Bookin Maru. No. 1	汽	東	京商船會社
HJDK	1113 1213	第三丸 Bookin Maru. No. 2	汽	東	京商船會社

明治二十三年十二月 告示 遞信省第二百六十五號 第三百六十六號



HJDL	二二四	第三	房州丸	Boshu Maru	No. 8	汽東	東京汽船會社
HJDM	二二五	1216	若津丸	Wakatsu Maru		汽	尾張國長崎深川信六

○司法省告示第七十六號

宇都宮地方裁判所管内枋水區裁判所小山出張所明治二十三年十二月一日閉廳ス  
 明治二十三年十二月九日 司法大臣伯爵山田顯義

○司法省告示第七十七號

福岡地方裁判所管内福岡區裁判所西新町、箱崎各出張所福岡區裁判所黒木出張所小倉區裁判所門司出張所行事區裁判所豐津出張所明治二十三年十二月十日ヨリ閉廳ス  
 明治二十三年十二月九日 司法大臣伯爵山田顯義

○逓信省告示第二百六十七號

常陸國東茨城郡大貫郵便局本月十六日ヨリ同郡磯濱町ニ移シ磯濱郵便局ト改稱ス  
 明治二十三年十二月九日 逓信大臣伯爵後藤象二郎

○農商務省告示第十一號

第十一回獸醫免許試驗並第一回踏鐵工免許試驗ノ舉行地及期日左ノ通之ヲ定ム試驗出願者ハ來ル  
 明治二十四年一月申地方屬ヲ經由シテ其願書ヲ農商務大臣ニ差出スヘシ  
 明治二十三年十二月十日 農商務大臣陸奥宗光  
 第十一回獸醫免許試驗舉行地及期日  
 明治二十四年四月十一日 鹿兒島縣下鹿兒島

同 年五月一日 廣島縣下廣島

同 年五月二十三日 宮城縣下仙臺

同 年六月十日 愛知縣下名古屋

同 第一回踏鐵工免許試驗舉行地及期日 秋田縣下秋田

明治二十四年五月十二日 東京府下東京

同 年六月二十日 廣島縣下廣島

同 宮城縣下仙臺

同 東京府下東京

同 廣島縣下廣島

同 宮城縣下仙臺

同 東京府下東京

同 廣島縣下廣島

同 宮城縣下仙臺

○逓信省告示第二百六十八號  
 今般北海道天鹽國増毛郡増毛港ニ建設シタル燈臺ニ於テ不動白色ノ燈明ヲ設ケ明治二十三年十二月二十五日以後毎夜點火ス  
 一該燈臺ノ位置ハ水路部出版第九十三號ノ海圖ニ據レハ北緯約四十三度五十分ニシテ東經百四十一度三十分ニ當ル  
 一該燈臺ハ木造四角形白色ニシテ基礎ヨリ燈火マテ高一丈六尺ナリ  
 一該燈火ハ真方位南八十度十分西ヨリ南七十二度五十分東マテ二百七度間ヲ照輝ス  
 一但右方位ハ燈臺ヨリ測定ス  
 一該燈火ハ水面ヨリ高サ十三丈四尺共光遠距離ハ晴天ノ夜六海里トス  
 明治二十三年十二月十日 逓信大臣伯爵後藤象二郎

○逓信省告示第二百六十九號  
 尾張國知多郡大府始メ左ノ郵便局へ郵便爲替及貯金事務ヲ開施シ本月二十一日ヨリ其事務ヲ取扱  
 明治二十三年十二月 告示 逓信省第二百六十八號 第二百六十九號 五〇五



ハシム

但當分ノ内小爲替振出ノ事務ハ取扱ハシメス

明治二十三年十二月十日

尾張國知多郡大府郵便局  
信濃國下伊那郡河野郵便局

遞信大臣伯備後藤象二郎  
信濃國諏訪郡岡谷郵便電信局  
信濃國諏訪郡金澤郵便局  
陸中國鹿角郡小坂鐵山郵便局

○遞信省告示第二百七十號

下總國印旛郡馬渡始メ左ノ郵便局ニ郵便爲替事務ヲ開施シ本月二十一日ヨリ其事務ヲ取扱ハシム

但當分ノ内小爲替振出ノ事務ヲ取扱ハシメス

遞信大臣伯備後藤象二郎  
安房國平郡那古郵便局

安房國印旛郡馬渡郵便局  
常陸國西茨城郡岩瀬郵便局  
常陸國鹿島郡日川郵便局  
下總國北相馬郡守谷郵便局  
越後國中頸城郡川浦郵便局  
尾張國中島郡起郵便局  
三河國西加茂郡木瀬郵便局  
三河國額田郡藤川郵便局  
美濃國木巢郡美江寺郵便局  
信濃國下伊那郡下川路郵便局  
信濃國上高井郡小布施郵便局  
信濃國上水内郡笹平郵便局  
安房國韮原郡松田郵便局  
常陸國筑波郡吉沼郵便局  
常陸國河内郡源清田郵便局  
下總國北相馬郡布川郵便局  
越後國南蒲原郡荒澤郵便局  
尾張國海西郡前須郵便局  
三河國東加茂郡大沼郵便局  
尾張國美濃郡黒田郵便局  
信濃國下伊那郡栗野郵便局  
信濃國下伊那郡新野郵便局  
信濃國東筑摩郡洗馬郵便局  
信濃國下水内郡桑名川郵便局  
安房國平郡那古郵便局  
常陸國多賀郡川尻郵便局  
常陸國河内郡牛久郵便局  
下總國豐田郡石下郵便局  
佐渡國羽茂郡多田郵便局  
尾張國丹羽郡岩倉郵便局  
三河國碧海郡矢作郵便局  
美濃國不破郡關ヶ原郵便局  
信濃國下伊那郡遠山和田郵便局  
信濃國上伊那郡小野郵便局  
信濃國西筑摩郡妻籠郵便局  
信濃國北佐久郡望月郵便局

信濃國北安曇郡來馬郵便局  
磐城國西白河郡矢吹郵便局  
羽後國南秋田郡船川郵便局  
羽後國南秋田郡下北川郵便局  
大和國山邊郡針ヶ所郵便局  
近江國神崎郡山上郵便局  
丹波國船井郡山田郵便局  
丹波國竹野郡成願寺郵便局  
但馬國養父郡大屋郵便局  
信濃國北安曇郡北城郵便局  
磐城國東白川郡坂下郵便局  
羽後國北秋田郡十二所郵便局  
羽後國山木郡森岡郵便局  
山城國相樂郡笠置郵便局  
丹波國船井郡地生郵便局  
丹波國何鹿郡物部郵便局  
丹波國多紀郡古市郵便局  
岩代國河沼郡片門郵便局  
磐城國田村郡守山郵便局  
羽後國北秋田郡米内澤郵便局  
羽後國平鹿郡沼館郵便局  
山城國綴喜郡八幡郵便局  
丹波國船井郡木庄郵便局  
丹波國何鹿郡山家郵便局  
丹波國水上郡黒井郵便局

○大藏省告示第五十七號

大阪本金庫曾根崎支金庫ヲ西成郡上福島村へ移シ上福島支金庫ト改稱ス  
明治二十三年十二月十一日  
大藏大臣伯備松方正義

○遞信省告示第二百七十一號

山口縣長門國下ノ關海峡門司ノ洲ハ漸次城延シタルヲ以テ從前該處ニ碇置セル浮標ヲ撤去シ更ニ  
該洲ノ北東端ニ紅色浮標南西端ニ黒色浮標各一箇ヲ碇置シ該兩端ヲ標示ス  
一右兩浮標ハ鐵造圓錐形ニシテ頂ニ球籠ヲ冠シ水面ヨリ高サ一丈ナリ  
一北東端紅色浮標ノ位置ハ大低潮時水深四尋ニシテ是ヨリ測定セル眞方位ハ左ノ如シ  
南三十二度西  
南八十五度西  
北二十七度東  
永福寺ハ  
門司崎ハ



一南西端黒色浮標ノ位置ハ大低潮時水深四尋ニシテ是ヨリ測定セル眞方位ハ左ノ如シ  
與治兵衛立標ハ  
永福寺ハ  
門司崎ハ  
南二十五度西  
北四十五度西  
北三十八度東  
逓信大臣伯爵後藤象二郎

○司法省告示第七十八號

水戸地方裁判所管内下妻區裁判所眞壁出張所松山地方裁判所管内宇和島區裁判所吉田出張所名古屋地方裁判所管内津島區裁判所十四山出張所岐阜地方裁判所管内御嵩區裁判所明知出張所仙臺地方裁判所管内仙臺區裁判所岩沼出張所大河原區裁判所亘理出張所古川區裁判所若柳出張所石巻區裁判所廣瀨出張所登米區裁判所佐沼出張所氣仙沼區裁判所志津川出張所明治二十三年十二月十五日ヨリ開聯ス

明治二十三年十二月十二日

司法大臣伯爵山田顯義

○逓信省告示第二百七十二號

本月十六日ヨリ相模國足柄下郡宮ノ下郵便局及宮ノ下電信局ヲ合併シ其等級ヲ三等トシ宮ノ下郵便電信局ト稱シ其事務ヲ取扱ハシム

明治二十三年十二月十二日

逓信大臣伯爵後藤象二郎

○逓信省告示第二百七十三號

電氣通信ノ利便ヲ圖リ本月十六日ヨリ左ノ郵便電信局ハ支局股區アル地 電信局間ニ撥著スル至急私報ハ晝夜ノ別ナク受付撥送ス

明治二十三年十二月十三日

逓信大臣伯爵後藤象二郎

- |          |         |         |          |
|----------|---------|---------|----------|
| 東京郵便電信局  | 大阪郵便電信局 | 京都郵便電信局 | 横濱郵便電信局  |
| 神戸郵便電信局  | 長崎郵便電信局 | 函館郵便電信局 | 新潟郵便電信局  |
| 名古屋郵便電信局 | 熊本郵便電信局 | 仙臺郵便電信局 | 廣島郵便電信局  |
| 青森郵便電信局  | 金澤郵便電信局 | 岡山郵便電信局 | 赤間關郵便電信局 |
| 酒田電信局    |         |         |          |

○大藏省告示第五十八號

神戸木金庫西ノ宮支金庫ヲ本月十五日ヨリ武庫郡西ノ宮町大字仲ノ町へ移ス

明治二十三年十二月十五日

大藏大臣伯爵松方正義

○司法省告示第七十九號

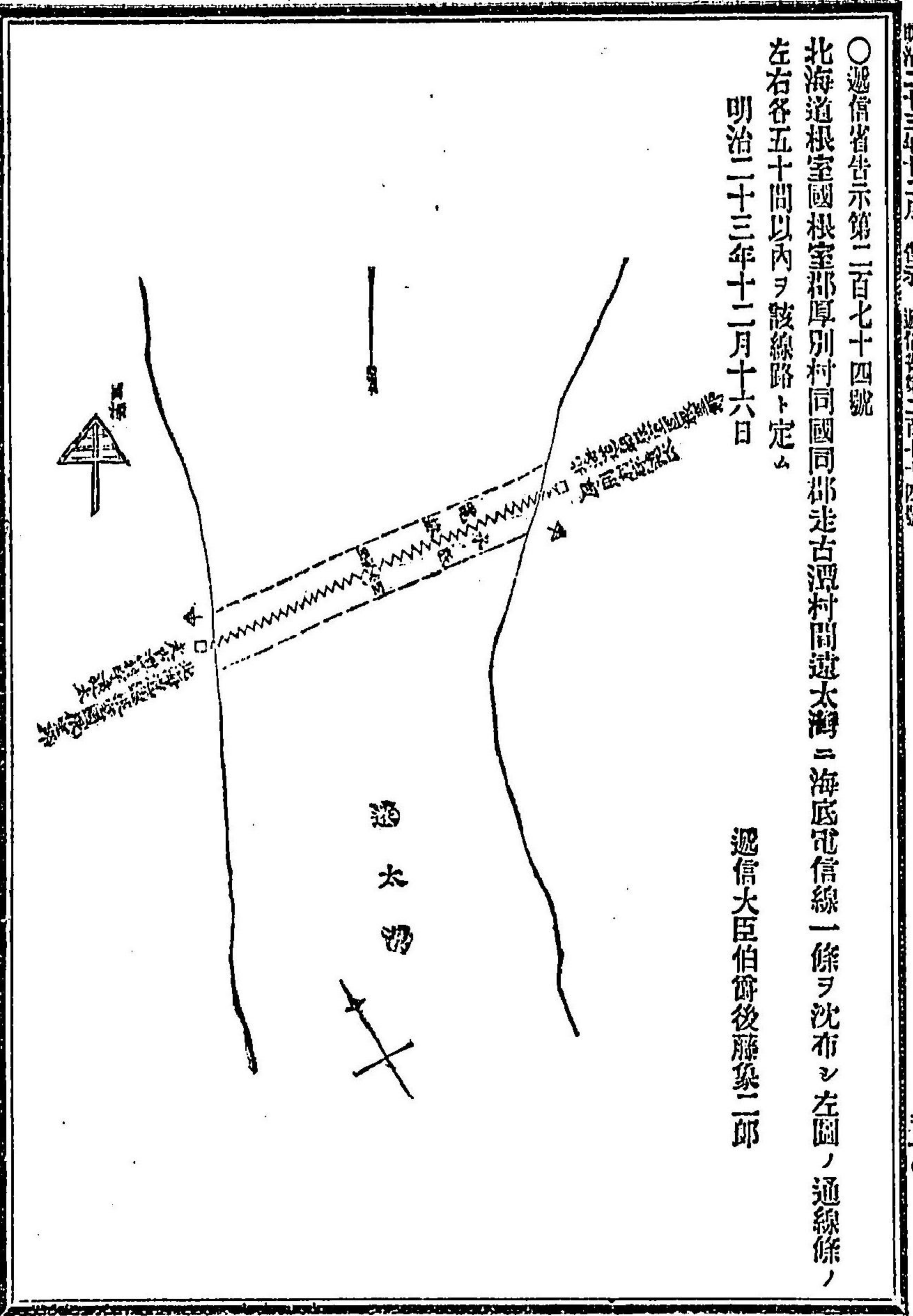
千葉地方裁判所管内松戸區裁判所我孫子出張所一宮木郷區裁判所旭出張所八日市場區裁判所旭出張所佐原區裁判所神崎出張所新瀨地方裁判所管内三條區裁判所笹岡出張所村上區裁判所關出張所柏崎區裁判所秋津出張所六日町區裁判所下船渡出張所高田區裁判所關山、松平各出張所糸魚川區裁判所能生出張所金澤地方裁判所管内輪島區裁判所大谷出張所名古屋地方裁判所管内半田區裁判所横須賀出張所松江地方裁判所管内松江區裁判所安來出張所水次區裁判所横田出張所濱田區裁判所所江津出張所大森區裁判所所出羽出張所益田區裁判所中西出張所佐賀地方裁判所管内佐賀區裁判所早津江、多久各出張所武雄區裁判所多良出張所唐津區裁判所濱崎出張所伊萬里區裁判所楠久出張所秋田地方裁判所管内秋田區裁判所土崎、五十目各出張所能代區裁判所森岳出張所大館區裁判所米内澤出張所花輪區裁判所毛馬内出張所大曲區裁判所六郷出張所横手區裁判所淺舞出張所湯澤區裁判所増田出張所明治二十三年十二月二十日ヨリ開聯ス

明治二十三年十二月十六日

司法大臣伯爵山田顯義



○遞信省告示第二百七十四號  
 北海道根室國根室郡厚別村同國同郡走古潭村間遺太灣ニ海底電信線一條ヲ沈布シ左圖ノ通線條ノ  
 左右各五十間以内ヲ該線路ト定ム  
 明治二十三年十二月十六日  
 遞信大臣伯爵後藤繁二郎



○司法省告示第八十號  
 鹿兒島地方裁判所管内加治木區裁判所未吉出張所鹿屋區裁判所垂水、柏原各出張所明治二十三年  
 十二月二十二日ヨリ開庭ス  
 明治二十三年十二月十九日  
 司法大臣伯爵山田顯義

○司法省告示第八十一號  
 高知地方裁判所管内高知區裁判所後免、大崎兩出張所安藝區裁判所田野出張所須崎區裁判所高岡  
 佐川兩出張所裁判ノ儀當分ノ内開庭セス  
 明治二十三年十二月十九日  
 司法大臣伯爵山田顯義

○司法省告示第八十二號  
 福岡地方裁判所管内福岡區裁判所東郷、太宰府兩出張所甘木區裁判所志波出張所飯塚區裁判所直  
 方出張所久留米區裁判所松崎出張所行事區裁判所八屋出張所裁判ノ儀自今開庭セス  
 明治二十三年十二月十九日  
 司法大臣伯爵山田顯義

○司法省告示第八十三號  
 松江地方裁判所管内大森區裁判所ニ於テ明治二十三年十二月二十五日ヨリ裁判事務ヲ取扱フ  
 明治二十三年十二月十九日  
 司法大臣伯爵山田顯義

○遞信省告示第二百七十五號  
 來明治二十四年一月一日ヨリ左ノ郵便局ヲ郵便電信局トシ其事務ヲ取扱ハレム  
 但當分ノ内歐文電報數字及亞州比亞數字ヲ記入シテ和文電報ハ取扱ハス  
 明治二十三年十二月十九日  
 遞信大臣伯爵後藤繁二郎



國名	郡名	舊稱	新稱
北見	宗谷	稚内郵便局	稚内郵便電信局
天鹽	留萌	留萌郵便局	留萌郵便電信局
天鹽	留萌	鬼鹿郵便局	鬼鹿郵便電信局
天鹽	苦前	苦前郵便局	苦前郵便電信局
岩代	伊達	桑折郵便局	桑折郵便電信局
讚岐	塞川	志度郵便局	志度郵便電信局

○大藏省告示第五十九號

一六分利付金祿公債證書額面貳拾圓

一七分利付金祿公債證書額面七千九百參拾圓

右ハ明治二十年三月大藏省告示第二十九號ニ據リ本年八月ヨリ同十一月迄ニ整理公債證書ト引換タ

但整理公債證書ノ額面ニ滿タサル端數アルハ當該證書ニ合算シテ交換セシモノアルニ由ル

一二十年發行整理公債證書額面貳千五百五拾圓

但當該償還元金代リトシテ追發行ノ分

一二十一年發行整理公債證書額面千百圓

但同上

一二十二年發行整理公債證書額面千貳百五拾圓

但同上

一二十三年發行整理公債證書額面貳百參拾五萬六千貳百圓

内

七千九百五拾圓

貳百參拾四萬八千貳百五拾圓

右ハ明治二十年三月大藏省告示第二十九號及整理公債條例第三十條ニ依リ本年八月ヨリ同十一月マ

テニ引換ヘタル證書ニ對シ發行シメリ

明治二十三年十二月二十日

大藏大臣伯爵松方正義

○行政裁判所告示第三號

來ル二十一日行政裁判所假廳ヲ東京市赤坂區裝町三番地ヘ移轉ス

明治二十三年十二月二十日

行政裁判所長官男爵櫻村正直

○宮内省告示第二十九號

來明治二十四年新年式左ノ通定メラル

明治二十三年十二月二十二日

宮内大臣子爵土方久元

明治二十四年

新年式

一日

午前五時

同 七時

同 九時三十分

同 十時

大藏省告示第二十九號ニ據リ發行ノ分

當該償還元金代リトシテ發行ノ分

大藏省告示第二十九號及整理公債條例第三十條ニ依リ本年八月ヨリ同十一月マ

テニ引換ヘタル證書ニ對シ發行シメリ

大藏大臣伯爵松方正義

○行政裁判所告示第三號

來ル二十一日行政裁判所假廳ヲ東京市赤坂區裝町三番地ヘ移轉ス

明治二十三年十二月二十日

行政裁判所長官男爵櫻村正直

○宮内省告示第二十九號

來明治二十四年新年式左ノ通定メラル

明治二十三年十二月二十二日

宮内大臣子爵土方久元

明治二十四年

新年式

一日

午前五時

同 七時

同 九時三十分

同 十時

四方拜

晴御膳

親王同妃宮内省勅任官以上同夫人或妻任官等拜賀

大勳位親任官公爵從一位勳一等勳任官爵香問祇候錦旗問祇候同夫

人等拜賀







午後二時  
 青山御所へ參賀  
 親王同妃  
 皇太后陛下へ拜賀  
 四等以下奏任官或無等奏任官  
 奏任待遇ノ神職  
 非役從六位以上同勳六等以上ノ輩  
 門跡寺院住職  
 東宮御所へ參賀  
 親王  
 皇太子殿下へ拜賀  
 非役正七位以下同勳七等以下ノ輩所在地方廳へ參賀  
 午後二時二十分  
 時刻於テ地方廳ニ  
 三時  
 午前七時  
 同 十時  
 四日  
 午前九時  
 政始  
 先奏 神宮ノ事  
 五日  
 午前十一時  
 新年宴會

八日  
 午前十時  
 陸軍始  
 親王大勳位親任官公爵勳一等勳任官或候爵或候或各國  
 公使等參内  
 在京奏任官ハ各賜ニ於テ賜饌  
 在京有爵者及有位華族ハ芝離宮ニ於テ賜饌  
 在京貴族院衆議院正副議長議員ハ各議院ニ於テ賜饌

○司法省告示第八十四號  
 山形地方裁判所管内山形區裁判所山邊出張所酒田區裁判所松嶺出張所明治二十三年十二月二十五日ヨリ開廳ス  
 明治二十三年十二月二十二日  
 司法大臣伯備山田顯義  
 ○司法省告示第八十五號  
 千葉地方裁判所管内松戸區裁判所一宮木郷區裁判所佐原區裁判所神戶地方裁判所管内伊丹柏原社村岡各區裁判所福井地方裁判所管内三國、武生各區裁判所廣島地方裁判所管内福山區裁判所明治二十四年一月六日ヨリ裁判事務ヲ取扱フ  
 明治二十三年十二月二十二日  
 司法大臣伯備山田顯義  
 ○遞信省告示第二百七十六號  
 信濃國南佐久郡海尻郵便局來明治二十四年一月一日ヨリ同郡北牧村大字豐里ニ移シ豐里郵便局ト改稱ス







明治二十三年十二月二十五日

逓信大臣伯爵後藤基二郎

○大藏省告示第六十號

東京第六十國立銀行仙臺市宮城支店及福島縣下若松支店備本月二十七日ヲ以閉鎖ス

明治二十三年十二月二十六日

大藏大臣伯爵松方正義

○逓信省告示第二百八十三號

東京商船學校規則中左ノ通改正ス

明治二十三年十二月二十六日

逓信大臣伯爵後藤基二郎

第四條 「或ハ准士官」ノ五字ヲ削除ス

第五條 航海科ニ在テハ航海術運用術砲術機關科ニ在テハ機關學製圖砲術ヲ本科トシ其他ノ科程ヲ豫科トナス

第六條但書 但砲術ノ一科ハ別ニ海軍砲術練習艦ニ於テ五箇月以内之レヲ學ハレム

第七條 但書及學科中砲術ノ二字ヲ削除ス

第十三條 小試験ハ現修ノ學科ニ就キ教官ノ見込ヲ以テ隨時之レヲ施行シ其得點ノ多寡ニ應レテ試験ノ得點ニ増減ヲ與フルモノトス

第十五條 「後チ」ノ下ニ「本科ニ就キ」ノ五字ヲ加フ

第十六條 大試験及中試験ハ其得點ノ數本科ニ於テ全點ノ五分三釐科ニ於テ三分一以上ヲ得而シテ其得點ヲ合算シ（總或ニヨリ別點ヲ附科シタルト全點ノ五分三釐以上ニ至ルヲ及第トス）

第二十一條 第一項十七年ヲ十九年ニ改ム

第三十二條 「ヲ一時」以下三十二字ヲ削除シ「ハ本人若クハ保證人ヨリ本校指定ノ期限内ニ還納ス

ヘシ」ノ二十五字ニ改ム

第三十五條 削除以下順次繰上ク

第三十六條 「金額ヲ以テ」ノ下「本人若クハ保證人ヨリ」ノ十字ヲ加ヘ「若シ」以下ヲ削除ス

同條但書 「一時」ノ三字ヲ削除シ「本人若クハ保證人ヨリ本校指定ノ期限内」ノ十九字ヲ加フ

丙號書式 且ノ下「卒業」後ハ「ノ」五字ヲ削除ス

丁號書式 「トシテ」以下四十字ヲ削除シ「ノ義ハ卒業迄御規定ニ從ヒ支辨」ノ十四字ヲ加フ

○司法省告示第八十七號

新潟地方裁判所管内三條區裁判所ニ於テ明治二十四年一月十日ヨリ裁判事務ヲ取扱フ

明治二十三年十二月二十七日

司法大臣伯爵大木喬任

○司法省告示第八十八號

青森地方裁判所管内野邊地區裁判所ニ於テ明治二十四年一月六日ヨリ裁判事務ヲ取扱フ

明治二十三年十二月二十七日

司法大臣伯爵大木喬任

○司法省告示第八十九號

熊本地方裁判所管内區裁判所出張所裁判ノ儀明治二十四年一月二月中ニ限り開廷セス

明治二十三年十二月二十七日

司法大臣伯爵大木喬任

○司法省告示第九十號

横濱地方裁判所管内八王子區裁判所青森府中、中野、上野各出張所裁判ノ儀明治二十四年一月ヨリ

常分ノ内開廷セス

司法大臣伯爵大木喬任

○司法省告示第九十一號

明治二十三年十二月二十七日

明治二十三年十二月二十七日

司法大臣伯爵大木喬任

○司法省告示第九十二號

明治二十三年十二月二十七日

明治二十三年十二月二十七日

司法大臣伯爵大木喬任

○司法省告示第九十三號

明治二十三年十二月二十七日

明治二十三年十二月二十七日

司法大臣伯爵大木喬任

○司法省告示第九十四號

明治二十三年十二月二十七日

明治二十三年十二月二十七日

司法大臣伯爵大木喬任

○司法省告示第九十五號

明治二十三年十二月二十七日

明治二十三年十二月二十七日

司法大臣伯爵大木喬任

○司法省告示第九十六號

明治二十三年十二月二十七日

明治二十三年十二月二十七日

司法大臣伯爵大木喬任

○司法省告示第九十七號

明治二十三年十二月二十七日

明治二十三年十二月二十七日

司法大臣伯爵大木喬任

○司法省告示第九十八號

明治二十三年十二月二十七日

明治二十三年十二月二十七日

司法大臣伯爵大木喬任

○司法省告示第九十九號

明治二十三年十二月二十七日

明治二十三年十二月二十七日

司法大臣伯爵大木喬任

○司法省告示第一百號

明治二十三年十二月二十七日

明治二十三年十二月二十七日

司法大臣伯爵大木喬任

○司法省告示第一百零一號

明治二十三年十二月二十七日

明治二十三年十二月二十七日

司法大臣伯爵大木喬任

○司法省告示第一百零二號

明治二十三年十二月二十七日

明治二十三年十二月二十七日

司法大臣伯爵大木喬任

○司法省告示第一百零三號

明治二十三年十二月二十七日

明治二十三年十二月二十七日

司法大臣伯爵大木喬任

○司法省告示第一百零四號

明治二十三年十二月二十七日

明治二十三年十二月二十七日

司法大臣伯爵大木喬任

○司法省告示第一百零五號

明治二十三年十二月二十七日

明治二十三年十二月二十七日

司法大臣伯爵大木喬任

○司法省告示第一百零六號

明治二十三年十二月二十七日

明治二十三年十二月二十七日

司法大臣伯爵大木喬任

○司法省告示第一百零七號

明治二十三年十二月二十七日

明治二十三年十二月二十七日

司法大臣伯爵大木喬任

○司法省告示第一百零八號

明治二十三年十二月二十七日

明治二十三年十二月二十七日

司法大臣伯爵大木喬任

○司法省告示第一百零九號

明治二十三年十二月二十七日

明治二十三年十二月二十七日

司法大臣伯爵大木喬任

○司法省告示第一百一十號

明治二十三年十二月二十七日

明治二十三年十二月二十七日

司法大臣伯爵大木喬任

○司法省告示第一百一十一號

明治二十三年十二月二十七日

明治二十三年十二月二十七日

司法大臣伯爵大木喬任

○司法省告示第一百一十二號

明治二十三年十二月二十七日

明治二十三年十二月二十七日

司法大臣伯爵大木喬任

○司法省告示第一百一十三號

明治二十三年十二月二十七日

明治二十三年十二月二十七日

司法大臣伯爵大木喬任

○司法省告示第一百一十四號

明治二十三年十二月二十七日

明治二十三年十二月二十七日

司法大臣伯爵大木喬任

○司法省告示第一百一十五號

明治二十三年十二月二十七日

明治二十三年十二月二十七日

司法大臣伯爵大木喬任

○司法省告示第一百一十六號

明治二十三年十二月二十七日

明治二十三年十二月二十七日

司法大臣伯爵大木喬任

○司法省告示第一百一十七號

明治二十三年十二月二十七日

明治二十三年十二月二十七日

司法大臣伯爵大木喬任

○司法省告示第一百一十八號

明治二十三年十二月二十七日

明治二十三年十二月二十七日

司法大臣伯爵大木喬任

○司法省告示第一百一十九號

明治二十三年十二月二十七日

明治二十三年十二月二十七日

司法大臣伯爵大木喬任

○司法省告示第一百二十號

明治二十三年十二月二十七日

明治二十三年十二月二十七日

司法大臣伯爵大木喬任

○司法省告示第一百二十一號

明治二十三年十二月二十七日

明治二十三年十二月二十七日

司法大臣伯爵大木喬任

○司法省告示第一百二十二號

明治二十三年十二月二十七日

明治二十三年十二月二十七日

司法大臣伯爵大木喬任

○司法省告示第一百二十三號

明治二十三年十二月二十七日

明治二十三年十二月二十七日

司法大臣伯爵大木喬任

○司法省告示第一百二十四號

明治二十三年十二月二十七日

明治二十三年十二月二十七日

司法大臣伯爵大木喬任

○司法省告示第一百二十五號

明治二十三年十二月二十七日

明治二十三年十二月二十七日

司法大臣伯爵大木喬任

○司法省告示第一百二十六號

明治二十三年十二月二十七日

明治二十三年十二月二十七日

司法大臣伯爵大木喬任

○司法省告示第一百二十七號

明治二十三年十二月二十七日

明治二十三年十二月二十七日

司法大臣伯爵大木喬任

○司法省告示第一百二十八號

明治二十三年十二月二十七日

明治二十三年十二月二十七日

司法大臣伯爵大木喬任

○司法省告示第一百二十九號

明治二十三年十二月二十七日

明治二十三年十二月二十七日

司法大臣伯爵大木喬任

○司法省告示第一百三十號

明治二十三年十二月二十七日

明治二十三年十二月二十七日

司法大臣伯爵大木喬任

○司法省告示第一百三十一號

明治二十三年十二月二十七日

明治二十三年十二月二十七日

司法大臣伯爵大木喬任

○司法省告示第一百三十二號

明治二十三年十二月二十七日

明治二十三年十二月二十七日

司法大臣伯爵大木喬任

○司法省告示第一百三十三號

明治二十三年十二月二十七日

明治二十三年十二月二十七日

司法大臣伯爵大木喬任

○司法省告示第一百三十四號

明治二十三年十二月二十七日

明治二十三年十二月二十七日

司法大臣伯爵大木喬任

○司法省告示第一百三十五號

明治二十三年十二月二十七日

明治二十三年十二月二十七日

司法大臣伯爵大木喬任

○司法省告示第一百三十六號

明治二十三年十二月二十七日

明治二十三年十二月二十七日

司法大臣伯爵大木喬任

○司法省告示第一百三十七號

明治二十三年十二月二十七日

明治二十三年十二月二十七日

司法大臣伯爵大木喬任

○司法省告示第一百三十八號

明治二十三年十二月二十七日

明治二十三年十二月二十七日

司法大臣伯爵大木喬任

○司法省告示第一百三十九號

明治二十三年十二月二十七日

明治二十三年十二月二十七日

司法大臣伯爵大木喬任

○司法省告示第一百四十號

明治二十三年十二月二十七日

明治二十三年十二月二十七日

司法大臣伯爵大木喬任

○司法省告示第一百四十一號

明治二十三年十二月二十七日

明治二十三年十二月二十七日

司法大臣伯爵大木喬任

○司法省告示第一百四十二號

明治二十三年十二月二十七日

明治二十三年十二月二十七日

司法大臣伯爵大木喬任

○司法省告示第一百四十三號

明治二十三年十二月二十七日

明治二十三年十二月二十七日

司法大臣伯爵大木喬任

○司法省告示第一百四十四號

明治二十三年十二月二十七日

明治二十三年十二月二十七日

司法大臣伯爵大木喬任

○司法省告示第一百四十五號

明治二十三年十二月二十七日

明治二十三年十二月二十七日

司法大臣伯爵大木喬任

○司法省告示第一百四十六號

明治二十三年十二月二十七日

明治二十三年十二月二十七日

司法大臣伯爵大木喬任

○司法省告示第一百四十七號

明治二十三年十二月二十七日

明治二十三年十二月二十七日

司法大臣伯爵大木喬任

○司法省告示第一百四十八號

明治二十三年十二月二十七日

明治二十三年十二月二十七日

司法大臣伯爵大木喬任

○司法省告示第一百四十九號

明治二十三年十二月二十七日

明治二十三年十二月二十七日

司法大臣伯爵大木喬任

○司法省告示第一百五十號

明治二十三年十二月二十七日

明治二十三年十二月二十七日

司法大臣伯爵大木喬任

○司法省告示第一百五十一號

明治二十三年十二月二十七日

明治二十三年十二月二十七日

司法大臣伯爵大木喬任

○司法省告示第一百五十二號

明治二十三年十二月二十七日

明治二十三年十二月二十七日

司法大臣伯爵大木喬任

○司法省告示第一百五十三號

明治二十三年十二月二十七日

明治二十三年十二月二十七日

司法大臣伯爵大木喬任

○司法省告示第一百五十四號

明治二十三年十二月二十七日

明治二十三年十二月二十七日

司法大臣伯爵大木喬任

○司法省告示第一百五十五號

明治二十三年十二月二十七日

明治二十三年十二月二十七日

司法大臣伯爵大木喬任

○司法省告示第一百五十六號

明治二十三年十二月二十七日

明治二十三年十二月二十七日

司法大臣伯爵大木喬任

○司法省告示第一百五十七號

明治二十三年十二月二十七日

明治二十三年十二月二十七日

司法大臣伯爵大木喬任

○司法省告示第一百五十八號



東京地方裁判所管内芝區裁判所駒澤出張所浦和地方裁判所管内大宮區裁判所下吉田出張所高知地方裁判所管内高知區裁判所伊野出張所松山地方裁判所管内宇和島區裁判所明治出張所名古屋地方裁判所管内西尾區裁判所所北太嶺出張所鳥取地方裁判所管内倉吉區裁判所橋津出張所長崎地方裁判所管内長崎區裁判所深堀時津各出張所大村區裁判所湯江、彼津、佐世保各出張所島原區裁判所神代、小濱各出張所平戶區裁判所紐差出張所大分地方裁判所管内大分區裁判所中戸次、畑田各出張所佐伯區裁判所湘江出張所杵築區裁判所日出出張所豆田區裁判所枌野、町田各出張所熊本地方裁判所管内熊本區裁判所大津出張所御船區裁判所堅志田、原町各出張所八代區裁判所宮原町、陣内各出張所高瀬區裁判所伊倉、江田、長洲各出張所人吉區裁判所多良木出張所明治二十四年一月六日ヨリ開庭ス

明治二十三年十二月二十七日

司法大臣伯爵大木喬任

○司法省告示第九十二號

福岡地方裁判所管内福岡區裁判所青柳出張所柳河區裁判所鏡津出張所明治二十四年一月十日ヨリ開庭ス

明治二十三年十二月二十七日

司法大臣伯爵大木喬任

○司法省告示第九十三號

浦和、盛岡兩地方裁判所管内區裁判所出張所裁判開庭場所管轄區域及開庭期日左ノ通り改定ス

明治二十三年十二月二十七日

司法大臣伯爵大木喬任

地方	區裁判所	開庭出張所	管轄區域	開庭期日	
				開	庭
浦和	浦和	浦和、集上尾兩出張所管内一區	管内一區	二月	四月、六月
				八月	十月、十二月
川越	所澤	所澤出張所管内一區	管内一區	一月	三月
				九月	十一月

各十五日間

○司法省告示第九十四號

高知地方裁判所管内中村區裁判所宿毛出張所裁判開庭期日左ノ通り改定ス

明治二十三年十二月二十七日

司法大臣伯爵大木喬任

高知	區裁判所	開庭出張所	管轄區域	開庭期日	
				開	庭
和	船谷	水庄	管内一區	七月	三月、五月
				九月	十一月
盛	岡	松山	管内一區	八月	四月、六月
				十月	十二月
盛	岡	沼宮内	管内一區	七月	四月
				七月	十月
岡	宮古	釜石	管内一區	七月	四月
				七月	十月

各十五日間

○司法省告示第九十五號

德島地方裁判所管内川島區裁判所ニ於テ明治二十四年一月六日ヨリ裁判事務ヲ取扱フ

明治二十三年十二月二十七日

司法大臣伯爵大木喬任

○遞信省告示第二百八十四號

仙臺電信建築區第三部へ左ノ如ク電信線路ヲ編入ス

明治二十三年十二月二十七日

遞信大臣伯爵後藤象二郎

○遞信省告示第二百八十五號

本年省令第二十三號郵便貯金條例施行細則第十三條ニ依リ來ルニ二十四年一月一日以降郵便貯金預



所ニ於テハ貯金拂戻金ノ渡方ヲ取扱ハサルニ付郵便貯金預所ニ於テ拂渡スヘキ拂戻證書ニシテ本年十二月三十一日迄ニ拂渡ヲ了ヘサルモノハ其地郵便電信局郵便局(郵便貯金預所最近ノ本局又ハ支局)ヲシテ其渡方ヲ取扱ハシム

逓信大臣伯爵後藤象二郎

○逓信省告示第二百八十六號

甲斐國北巨摩郡秋田郵便局始メ左ノ郵便局へ郵便爲替及貯金事務ヲ開施シ明治二十四年一月十六日ヨリ其事務ヲ取扱ハシム

逓信大臣伯爵後藤象二郎

但當分ノ内小爲替振出ノ事務ヲ取扱ハシメス

明治二十三年十二月二十七日

甲斐國北巨摩郡秋田郵便局

陸前國壯鹿郡大原濱郵便局

陸中國北九戸郡大野郵便局

羽前國西村山郡海味郵便局

羽前國東田川郡東岩木郵便局

羽後國雄勝郡院内銀山郵便局

渡島國上磯郡上磯郵便局

渡島國松前郡福島郵便局

後志國磯谷郡能津登郵便局

○逓信省告示第二百八十七號

下總國中葛飾郡西寶珠花郵便局始メ左ノ郵便局へ郵便爲替事務ヲ開施シ明治二十四年一月十六日ヨリ其事務ヲ取扱ハシム

逓信大臣伯爵後藤象二郎

但當分ノ内小爲替振出ノ事務ヲ取扱ハシメス

明治二十三年十二月二十七日

下總國中葛飾郡西寶珠花郵便局

甲斐國東山梨郡諏訪郵便局

尾張國知多郡野間郵便局

尾張國知多郡崎郵便局

信濃國東筑摩郡苅谷原郵便局

陸中國中閉伊郡川井郵便局

陸中國江刺郡入首郵便局

陸中國北岩手郡田頭郵便局

陸中國東磐井郡薄衣郵便局

- |               |              |               |
|---------------|--------------|---------------|
| 陸中國東磐井郡長坂郵便局  | 陸中國南巖手郡宇石郵便局 | 陸前國氣仙郡小白濱郵便局  |
| 陸奥國二戸郡淨法寺郵便局  | 岩代國信夫郡松川郵便局  | 岩代國大沼郡宮下郵便局   |
| 岩代國南會津郡彌五島郵便局 | 岩代國南會津郡只見郵便局 | 岩代國南會津郡山口郵便局  |
| 岩代國河沼郡柳津郵便局   | 岩代國耶麻郡山都郵便局  | 岩代國安達郡熱海郵便局   |
| 磐城國行方郡鹿島郵便局   | 磐城國菊多郡上遊野郵便局 | 磐城國磐城郡四ツ倉郵便局  |
| 磐城國標葉郡新山郵便局   | 羽前國西村山郡宮宿郵便局 | 羽前國東田川郡宮曾根郵便局 |
| 羽前國西田川郡田川湯郵便局 | 羽前國最上郡向町郵便局  | 羽後國飽海郡吹浦郵便局   |
| 近江國高島郡朽木郵便局   | 近江國高島郡田中郵便局  | 近江國高島郡海津郵便局   |
| 丹波國天田郡額田郵便局   | 丹波國天田郡生野郵便局  | 丹波國北桑田郡板橋郵便局  |
| 但馬國二方郡湯村郵便局   | 紀伊國西牟婁郡江住郵便局 | 紀伊國日高郡船津郵便局   |

○司法省告示第九十六號

福岡地方裁判所管内甘木、飯塚、福島、行事、各區裁判所ニ於テ明治二十四年一月六日ヨリ裁判事務ヲ取扱フ

司法大臣伯爵大木喬任

明治二十三年十二月二十八日



### 法令全書 伺指令

○出品烟草取扱ノ件(第三回内閣勅諭博覽會事務會照會 明治二十二年十二月二十三日)

本會ニ出品スル製造烟草ハ成規ノ印紙貼用ハ勿論ニ候處該出品ヲ密査シ切抜キタル分再ヒ之ヲ陳列スルトキハ更ニ包紙帶封シ各出品主ノ印草ヲ以テ貼用印紙ニ消印ヲ爲スヘキ儀ニハ可有之ト雖モ本會ノ如キハ各地方ヨリノ出品ニシテ其出品主ノ出京セサル分中ノ八九ニ有之故ニ自己ノ印草ヲ以テ印紙ニ消印ヲナサシムルコトハ到底成シ能ハサル儀ニ有之新ル事情モ有之候ニ付本會出品ニ限リ一旦包紙ヲ切抜キタル分再ヒ之ヲ陳列シ且賣買定約モ共ニ之ヲナサシメ度又密査用トシテ出品同種ノモノヲ別ニ出ストキハ細草統制施行細則第十五條ニ係ル量目以内ハ包紙密封セサルモ差支無之様致度普通商品トモ異ナル儀ニ付本會出品者ニ限リ特別ノ御照議ニテ前兩條共ニ差支無之様致度

(大藏省)回答 明治二十二年十二月二十六日

開會中ニ限リ差支無之様ト存候

○二十三年度歳入概算書ノ件(茨城縣)照會 明治二十三年一月十三日

歳ニ進達シタル二十三年度歳入概算書ノ内第三款雜收入額金及料料沒收金ノ儀ハ客年六月申法省主官ニ移リ候儀ニ付當時二十二年度分ニ減額算シ書差出候處今般可差出歳入概算月額金庫區分表ニハ額金及料料沒收金ノ豫算額ハ編入セス該表調製シ可然設又ハ二十三年度歳入概算減額ノ儀一隔上申スヘキモノナルヤ該表調製ニ際シ様式ニ涉リ差支候條至急何分ノ御指示相成度

(大藏省)回答 明治二十三年一月二十三日

歳入概算員額中ヨリ扣除ノ上御調製相成可然別段歳入減額概算書ハ御差出ニ不及儀ト存候

○現代人印紙賣下ノ件(東京府)伺 明治二十三年一月二十二日

印紙賣下人總代人ヲ選シ印紙拂受ノ儀ハ該賣下御座モ有之就テハ該總代人へ假令ハ一口五千圓賣下クヘキ場合ニ於テ該代金上納ノ際二千圓ノ現金ニテ即納シ殘リ三千圓ハ六名分五百圓トシテ對シテ公債証書ヲ各自抵當トシ延納願出候場合モ有之右ハ別段規則ニ抵觸ノ條ヲ相見不申旁聞屬不致候

(大藏省)指令 明治二十三年一月二十八日

印紙賣下賣下規則第十條但書ニ基キ聞届書シカラス

明治二十三年一月 指令 大藏省



○徴兵ノ件(秋田縣) 指令 明治二十三年一月十四日  
 昨年十一月法律第二十九號ヲ以テ徴兵令第十一條第一項ノ制ヲ改正セラレタル處官立農林學校各部ノ別科生ハ右制注ノ別科トアルニ該當シ則チ同令第二十一條ノ徵集ヲ猶豫スルノ限ニ無之價ト相心得可然哉  
 (陸軍省總務局) 回答 明治二十三年二月十三日  
 御意見ノ通

○備荒儲蓄金取扱方ノ件(三重縣) 指令 明治二十三年二月四日  
 本年勅令第二號ヲ以テ公有金私存金ハ總テ御省預金局ニ寄託スヘシトアリ右公有金ノ内ニハ備荒儲蓄金モ包含スヘキ體哉然レテ然ハ二十年御省令第十五號備荒儲蓄金取扱順序第七條ニ揭ラレタル預金ヲ備置キ引出方ニ差支ナキニ於テハ之ヲ銀行等ヘ預ケ金ト爲スモ妨ケナシトアルハ自然消滅相成候儀又々該儲蓄金ノ儀ハ救助其他ノ事項ニヨリ差支ヲ要スル事不勝然ルヲ其都度預金取扱手續ニ依リ預金局ヘ拂戻シテ請水スルカ如キハ事官願ル手續ヲ要スルノミナラス隨テ救助費若クハ公債購買入等ノ場合ニアリテハ爲ニ時機ヲ誤ルハ勿論ニハ事務ノ混淆ヲモ現レサルコトト認考セリ就テハ右等ハ預金局ヘ照會便宜ノ取扱可相成ルノ乎  
 (大藏省主計局) 回答 明治二十三年二月十三日  
 本年法律第五號ヲ以テ改正セラレタル備荒儲蓄法第四條ニ依リ取扱ヘキモノニ付勅令第二號ノ範圍外ト御承知相成度

○取柄檢印ノ件(奈良縣) 指令 明治二十三年一月十四日  
 縣下官郡郡ノ山間ニ於テ木材運搬ノ爲メ松木ノ小口ヲ挽切車輪ト爲シ徑ノ丸木ヲ軸トナシタルモノヲ作リ山林伐採ノ際使用スルモノ數多アリ其形狀用途固ヨリ取柄ニ外ナラズト雖モ木材ヲ伐採スルニ當リ臨時ニ之ヲ製シ一時ノ便ヲ充テセシ後ハ其山間ニ抛棄スルモノニシテ且之ヲ使用スル檢險路ニ於テ粗雜ノ取扱ヲ爲スモノナレハ一週日ヲ出カスシテ破壞シ盡キハ一日ヲ保テサルモノモアルニヨリ取柄規則ニ據リ新調ノ都度其取柄ニ檢印ヲ受ケルコトハ到底行ハレ難キ事實ニ有之故ニ該取柄ニ限リ檢印押捺ノ體札ヲ下付シ使用ノ都度必之ヲ携帶セシメ候儀取扱度候條特ニ御聞置相成度  
 (大藏省) 指令 明治二十三年一月二十四日  
 申出ノ通取扱ヒ苦シカラズ

○月額運算表ノ件(山梨縣) 指令 明治二十三年二月十日  
 二十三年度租稅裁定豫算額ニ對シ調整川差出月額豫算ノ金員ハ概算書及月額金庫區分表同機單位ニ止ムヘキ體ナルヤ  
 明治二十三年二月 指令 陸軍省 大藏省



(大藏省主税局)回答 明治二十三年二月十九日

陸奥ノ船租税規定豫算額ニ對シテハ別院御調製御進達ニ不及

○船車揚子並ニ船ノ流失ニ係ル件(海防廳長官)問合 明治二十三年二月七日

船車揚子揚子並ニ流失ニ係ル件(海防廳長官)問合 明治二十三年二月七日

ル機運存儲或シテハ自今右等ノ者ハ届出ノ時々船車揚子揚子並ニ流失ニ係ル件(海防廳長官)問合 明治二十三年二月七日

(大藏省主税局)回答 明治二十三年二月十九日

御見込ノ通ニテ可懸存候

○郵務所出品ノ件(靜岡縣)問合 明治二十三年二月五日

郵務所出品ノ水會規則第四十二條第六ニヨリ寄附金之モノニ付解脫書ヲ要セサルモノト信候郵務所出品ノ如ク解脫書提出

ハクトセハ郵務所ハ通常官廳ノ列ニアルニモ拘ハラヌ博覽會ニ於テハ一般ノ出品者ト見做シ寄附金ノ上合格スルニ於テハ實質授與可

相成儀ニ候哉

(第三回内閣勸業博覽會事務局出品課)問合 明治二十三年二月二十四日

官廳出品範圍分界ノ儀ハ昨二十二年八月二十三日官報ニ掲載ノ通ニ有之且該郵務所出品ノ如キハ要スル所ノ費用ヲ全ク民費ニシテ

國庫支拂ニ無之旁以テ官廳ノ範圍外ニテ寄附金ヲ加フルノ部内ニ付自然合格スル物品ニハ實質授與可相成儀ニ有之儀

法制局裁定

規定書

岐阜縣知事 小崎 利雄

岐阜縣會議長 淺見與一右衛門

右縣知事ト縣會トノ間ニ於テ明治二十二年度地方稅支出減額豫算ノ件ニ付法律ノ見解ヲ異ニシ府縣令規則第九條ニ依

リ規定ヲ仰クノ要領左ノ如シ

縣會ノ具狀

縣知事ハ明治二十二年九月十一日ヲ以テ常置委員ヲ召集シ會テ通常縣會ノ議定ヲ經臨可施行シタル所ノ明治二十二年度地方稅支

出額及戶數割稅率ノ變更ヲ議決セシメ左ノ如ク施行シタリ

明治二十二年度地方稅支出減額豫算

一金八圓五拾六錢

一金七百四拾圓六拾六錢

內 附

金四百五拾九圓六拾七錢

金百三拾六圓拾七錢

金百四拾四圓八拾七錢

明治二十二年度地方稅收入減額豫算

一金七百四拾九圓貳拾壹錢

但既定賦課額一月ニ付金三拾六錢ノ處岐阜市戶數四千八百六十五戶一月ニ付金拾五錢四厘ヲ減ス

明治二十二年度地租割戶數割賦課方法改正

明治二十二年度地租割戶數割賦課方法第一條中戶數割戶數一月ニ付金三拾六錢トアルヲ左ノ通改ム

戶數割戶數一月ニ付 岐阜市 金貳拾六錢六厘

但岐阜市賦課額ハ上半期金拾八錢下半期金貳錢六厘トス

水會ハ之ヲ不當ノ處置ナリトシ常年通常縣會ニ於テ原案說明者則縣知事代理人ニ其理由ヲ質問セシメ答辯ノ要領ニ日本件タル明

治二十二年八月内務省令第四號第十一條ニ依リ市ハ郡區縣會建築修繕費並郡吏員給料旅費及廳中諸費ノ負擔ニ任スヘカフサレバ

以テ府縣會規則第三十七條第二項ニ據リ臨時急務ヲ要スル件ナリトシ常置委員會ニ付シテ之ヲ施行セリト是則縣會ヲ縣知事ト法律

ノ見解ヲ異ニスル所以ナリ抑モ水會第二項ノ主旨ハ縣會議定ノ豫算及稅率ニシテ縣知事之ヲ認可シタル既定ノ額ヲ變更スルノ

權ヲ與ヘタルモノニ非ス通常縣會ニ於テ未ダ會テ豫想シ得ヘカフサレバ臨時ノ出來事ニ對シ臨時急務ヲ要スル場合ニ於テハ既定

ノ豫算及既定ノ稅率外ニ限リ其總費ノ豫算及徵收方法ヲ議決スルノ權アル耳之レカ例証ヲ現クシテ去ル明治十七年五月大藏省第

十三號布告ヲ以テ地方稅費目ニ改正ヲ加ヘラレバ之ハ隨布告發行以前ニ於テ十七年度地方稅豫算額ヲ決定シタル府縣ニ對シ其議

決ヲ變更スルノ必要アリ故ニ同年六月又大藏省第二十二號ヲ以テ特ニ常置委員ノ議決ヲ取り之ヲ變更スルコトヲ得セシムラレバ

明治二十三年二月 法制局裁定



其明文左ノ如シ  
明治十三年四月第十六號布告地方稅規則第十五項左ノ通改正シ十七年度ヨリ施行ス

一月以下給料稅費

本年五月第十三號ヨリ地方稅規則第三條第十五項改正條適用布告施行以前已ニ十七年度地方稅雜算額ヲ決定シタル府縣ニ於テハ特ニ臨時總會ヲ開カス當該委員ノ議決ヲ取リ之ヲ施行スルコトヲ得  
此ニ由テ之ヲ觀レバ特別ノ布告ヲ發セラレサル以上ハ府縣會規則第三十七條第二項ハ既定ノ豫算及稅率ヲ變更スルヲ得サルヤ火  
ヲ觀ルヨリ明カナリ然レニ前項ノ如ク縣知事自ラ認可施行セシ豫算及稅率ヲ當該委員會ニ付シ之ヲ變更セシハ立法ノ精神ニ  
違ヒ法律ノ解釋ヲ誤リタル不當ノ處置ト云ハサルヲ得

縣知事ノ答辯

客年九月十一日當該委員會ヲ開キ明治二十二年地方稅收出額雜算豫算及同年度地租割戶數制賦課方法改正關係ヲ豫付シ該會  
ノ議決ヲ經テ之ヲ施行シタルハ左ノ數要件ヲ生セシニ由レリ

第一 客年七月一日ヨリ縣下厚見郡ノ一部即チ岐阜市ニ市制ヲ實施セシニヨリ其以後ニ係ル郡議會建築修繕費該郡吏員給料旅費  
及廳中諸費ハ二十一年內務省令第四號第十一條ニ依リ該市ニ對シ負擔セシムルヲ得サル事

第二 既ニ岐阜市ニ負擔セシムルヲ得サル上ハ此際市ト郡トノ區劃方法改正ノ必要ヲ認ムル事

第三 郡部内ノ一部ヲ製キテ岐阜市ニ市制ヲ實施セシ以上ハ自然郡役所ノ事業ニ影響ヲ及ボシ現ニ郡吏員ノ數ヲ減シ之レカ給料  
旅費ヲ變更セサルヲ得サル事

第四 當時地方稅地租割ノ徵收期限ニ差違リ殊ニ岐阜市ニ係ル戶數割ハ豫メ該市會ニ於テ各戶負擔ノ等差ヲモ體ケサルヲ得サ  
ル事

右第一第二ノ事實ヨリ自然第三ノ事業ニ關係ヲ及ボシ加フルニ第四ノ場合ニ臨ミ此際賦課ノ方法ヲ改正セサルニ於テハ岐阜市ニ  
對シ負擔セシムルヲ得サルノ費用ヲ一時徵收セサル可カラズ然レニ該徵收金タル畢竟臨時ノ處分ニ屬シ當該ノ取扱ニアラサルヲ  
以テ法律ノ許ス限リハ速ニ當該委員會ニ付シ之レカ經濟分擔スルヲ以テ急務トス是レ本官カ府縣會規則第三十七條第二項ヲ適  
用シタル所以ナリ  
然レニ岐阜縣會ハ之ヲ不當ノ處置ナリト云フト雖モ抑モ本論ヲ離カメシニハ先ツ府縣會規則第三十七條第二項中ノ事業トハ果シ  
テ如何ナル意味ヲ有スルモノナルヤリ驗究スルヲ以テ必要ナリトス元來通商經費ノ豫算及其賦課方法ハ規則第一條ニ依リ之ヲ議

決シ其臨時會議ヲ要スル場合ニ於テハ第三十七條第二項ニヨリ當該委員會カ縣會ニ代リテ之ヲ議決スルヲ得ヘキ權利ヲ有スルモ  
ノナレバ第一條第三十七條第二項トハ當該場合ヲ異ニスル迄ニ過キサルモノトス又之ヲ法文上ニ徵スルトキハ第一條ニ地方稅  
ヲ以テ支辨スヘキ云々トノ語アリテ第三十七條第二項ニハ殊更地方稅ヲ以テ支辨スヘキ事業トアリ其第一條ニ事業又ハ事件ノ文  
字ナキモ畢竟兩條項共ニ地方稅ヲ以テ支出セサルヲ得サルノ事件アリテ之レカ費用ヲ議決スルヲ得ヘキコトヲ規定セラレタルハ  
何レモ同一ナリト解釋セサル可カラズ故ニ例セハ郡吏員給料旅費及廳中諸費ノ如キ又ハ衛生費ノ如キヨ自然第三十七條第二項中  
ニ包含スルノ費用タルハ勿論コトナルヘシ然ラハ則チ今回ノ如キ厚見郡ノ一部即チ岐阜市ニ市制ヲ施行セシ爲メニ郡役所ニ屬ス  
ル事件即チ事業ノ伸縮ニ關係ヲ及ボシタルト今新ニ郡役所ヲ增加セシ爲メニ事業ノ伸縮ニ關係ヲ及ボストハ表裏ノ差コソアレ地  
方稅ヲ以テ支辨スヘキ事業ニ關係ヲ及ボスハ等シク之レ同一ナリト云フヘシ

縣會ハ府縣會規則第三十七條第二項ノ主旨タル縣會議定ノ豫算及稅率ニシテ縣知事カ之ヲ認可シタル既定ノ額ヲ變更スルノ權ヲ  
與ヘタルニ非ス通商經費ニ於テ未ダ會テ豫算シ得ヘカラサルノ臨時ノ出來事ニ對シ臨時會議ヲ要スル場合ニ於テ既定ノ豫算及既  
定ノ稅率外ニ限リ其經費ノ豫算及徵收方法ヲ議決スルノ權アルノ事ト論セリ之ヲ要スルニ第三十七條第二項ハ既定豫算額ノ外臨  
事ノ出來事アリテ豫算ヲ要スル場合ニ限リ之ヲ適用シ得ルモノニテ今回ノ如キ減額ヲ爲スハ既定ノ豫算額ニ變更ヲ來タスヲ以テ  
該條項ニ依リ限ニアラズト云フニ外ナラサルヘシ然レトモ之ヲ増額スルモ亦既定ノ豫算額ニ變更ヲ來タスヲ以テ  
スルハ増減共ニ同一ナリ況ヤ該條項中既定ノ豫算及既定ノ稅率外ニ限リノ明文ナキニ於テオヤ又縣會ハ明治十七年六月太政官第  
二十二號布告ヲ引證セシモ該布告ハ同年五月第十三號布告ニ對シ府縣會規則第三十七條第二項ノ臨時會議ヲ要スルコト限ラ  
ズ特ニ臨時會ヲ開クヲ要セサル旨ヲ示サレタルモノナレハ例證トシテ引用スヘキ効力ナキモノト信認セリ

右ノ次第ナルヲ以テ本官カ該議案ヲ當該委員會ニ送付シ其議決ヲ經テ之ヲ施行シタルハ悉モ法律ヲ見解テ誤リタル不當ノ處分ニ  
アラズト確信セリ

密明

本件縣知事ト縣會ト法律ノ見解ヲ異ニスル要點ハ縣知事カ會テ通商經費ノ議決セシ明治二十二年地方稅支出減額及戶數制稅率ノ  
變更ヲ府縣會規則第三十七條第二項ニ依リ當該委員會ノ議決ニ付シテ施行シタルハ法律ノ見解ヲ誤リタル處置ナルヤ否ヤニ在リ之  
ヲ當該委員會ニ府縣會規則第三十七條第二項ハ凡ソ地方稅ヲ以テ支辨スヘキ事件ニシテ臨時會議ヲ要スル場合ニ於テ其經費ノ豫算及  
徵收方法ヲ議決スルノ權ヲ與ヘタルモノニシテ特ニ通商經費ニ於テ豫算シ得サル臨時ノ出來事ニ對シ臨時會議ヲ要スル場合ニ限リ  
既定外ノ經費豫算及徵收方法ヲ議決スルノ權ノミヲ與ヘタルモノニアラス又明治十七年六月太政官第二十二號布告ハ當時ニ在テ其







開フニ至ラン是レ於ニ府縣會ヲ設ケ經費ノ豫算ヲ確定セシムルノ精神ナランヤ抑モ事業ハ地方ノ情況ニ照シ緩急其宜シキヲ制シ  
之レカ經費ノ豫算ヲ確定スルハ府縣會ノ享有スル特權ニシテ理事者ハ其豫算金額内ニ於テ便宜事務ヲ伸縮スルヲ得ルニ止マリ該  
決ノ目的外ニ於テ豫算金額ヲ支出シ得ヘカラサルハ本會ノ固ク信シテ疑ハサル所ナリ  
要スルニ明治二十一年度通常縣會ニ於テ教育費内尋常師範學校費中校會新築費ニ於テ食費等ニ係ル豫算金額ヲ削減セシニ縣知事  
ニ於テ尋常師範學校費中俸給ノ日ヨリ金三百三十五圓ヲ流用シ食堂改築費ニ支出セシハ府縣會規則第一條ニ背反シ縣會ノ權限ヲ  
蹂躪シ法律ノ範圍外ニ出タル越權ノ處置ナリト信認ス

縣知事ノ答辯

明治二十一年度地方稅教育費ハ尋常師範學校費尋常中學校費ノ二小目ニ分チ之ヲ議案トシ又議事ノ參考ニ供スル爲メ小費目ヲ數  
多ノ細目ニ區分シテ説明トナシ而細目中新築費ノ目ヲ設ケ其金額ヲ五千九百六十七圓十四錢六厘トナシ之ヲ縣會ニ提出セリ尤モ  
說明書ニ於テハ新築ノ箇所及其坪數ヲ示サリシモ其建築ノ金額ハ校場其他食費等三百六十四坪ヲ新築若クハ改築スルノ積算ニ  
出テタルモノトス然レニ縣會ニ於テハ校場ヲ除クノ外食費其他ノ改築若クハ新築ヲ以テ不意ノ工事トナシ其ノ二係ル積算金二千五  
百八十一圓九十六錢ヲ削減スルノ積算ヲ以テ尋常師範學校費ヲ修正シ教育費ヲ議決セリ當時本會モ亦同年度ニ於テ議決之ヲ新築  
若クハ改築セサルモ妨ケナシト認メ之ヲ認可シタリ然レニ漸ク其工事ニ著手シ豫定ノ位置ニ校場ヲ新築セシニ從來ノ食費ノ積算  
シ雨天ノ際ニハ新設校場ノ風流ヲ浴メテ食費ノ積算ノ上ニ溢キ又之ヲ校場ノ積算ニ返還シ再ヒ之ヲ食費ノ積算ニ出シ食費其用ニ堪  
ヘサルノミナラス且互ノ間尺大ノ間隙ヲモ存セサルヲ以テ光線及空氣ノ流通ヲ適リ爲メニ新設校場ノ壁土乾燥セシ依然經過セハ  
之ヲ流出シ遊スヘキノミナラス其屋材モ亦將ニ腐敗スルニ至ルヘキハ必然ナリトス經濟上ヨリ之ヲ順ルニ從來ノ食費ハ兩層  
被覆殆ト其用ニ堪ヘサルモノナレハ之ヲ改築スルノ得價タルハ勿論加フルニ不慮ノ事件ヲ生じ至急改築セサルヘカラサル  
事實ヲ生シタルヲ以テ常置委員ニ諮問シ其同意ヲ得テ金三百三拾五圓ヲ豫備費ヨリ支出シテ之ヲ改築シタルモノトス而後教育費  
ヲ積算スルニ當リ向小費目即チ尋常師範學校費ノ細目中俸給ノ項ニ殘餘ヲ生シタルヲ以テ積算報告ノ式ニ據リ之ヲ豫備費ニ繰戻  
シ二十三年度ノ縣會ニ報告シタルモノナリ故ニ食費改築ノ費用ハ全ク之ヲ豫備費ヨリ支出シタルモ積算報告ノ形跡上ヨリ順レハ  
小費目尋常師範學校費ノ細目中俸給ノ項ヨリ同細目新築費ニ流用シタルモノト云フヘシ以上述べル所ノ事實ヲ概括スルニ縣會力當  
初議案ヲ議決シ及之ヲ認可スルノ際ハ之等不慮ノ事件ヲ生じヘキコトヲ豫期シタルモノニアラス漸ク其工事ニ著手シ積算報告ノ式  
改築ノ必要ヲ生シタルモノナレハ臨時ノ事件ニシテ乃チ豫算外ニ生シタル積算外ニ生シタル積算外ニ生シタル積算外ニ生シタル積算外  
ヲ支出スル何ヲ法律ニ抵觸スル所アラザルニ縣會ハ具狀書ニ於テ食費ノ改築ハ不意ノ工事ニシテ之ヲ改築スルノ必要ナキヤ

認メ其豫算金額ヲ否決セシモノナレハ即チ本會ノ眼中其事務ナキナリ其豫算ナキナリト論スルモ是皆臨時決當時ノ論ニシテ既  
ニ臨時ノ事件生じタル今日ニ於テ論ジ得ヘキモノニアラサルナリ縣會ハ食費其用ニ堪ヘサルモノ尙以テ不意ノ工事トナス力從來  
ノ食費存在スル爲メ新設ノ校場ヲシテ積算ニ至ラシムルモノ尙以テ不意ノ工事トナス力臨時ノ事件生じタルモノ尙以テ不意ノ工事トナ  
フ事ナル事又縣會ハ議決ノ目的外ニ於ケル別事業ニ對シ金額ヲ支出シタル故ニ違法ナリト論スルモ未タ其一日知テ其一日知テ其一日知テ  
ル者ノ旨ニシテ積算外ニ積算ニ殘餘セサルモノト認メ之ヲ否決シタルモノトハ均シク皆目的外タルヘシ豫算外ニ生シタル積算外ニ生シタル積算外  
チ目的外ノ積算外ニ積算ニ殘餘セサルモノト認メ之ヲ否決シタルモノトハ均シク皆目的外タルヘシ豫算外ニ生シタル積算外ニ生シタル積算外  
股ケタルモノナレハ換骨之ヲ論スルトキハ縣會ハ當初各費目中其臨時ノ不足又ハ豫算外ニ生スヘキ積算外ニ生シタル積算外ニ生シタル積算外  
タルハ皆豫算外ノ積算外ニ生スヘキ積算外ニ生スヘキ積算外ニ生スヘキ積算外ニ生スヘキ積算外ニ生スヘキ積算外ニ生スヘキ積算外ニ生スヘキ積算外  
備費ヲ以テ之ニ充テタルハ全ク其目的ニ應ジタル相當ノ處置ニシテ皆ニ法律ニ抵觸セサルノミナラス寧ロ縣會議決ノ精神ニ從ヒ  
適當ノ注意ヲ加ヘタルモノト云フヘキナリ

右事實上ヨリ論スル如ク本會ノ豫備費ヲ支出シテ食費ヲ改築シタル處置ハ毫モ法律ニ觸レサルコトハ既ニ明カナリ尙是レヨリ精  
算報告ノ式ニ據リ教育費ノ小費目尋常師範學校費ノ細目中俸給ノ殘餘ヲ以テ豫備費ニ繰戻シ結局細目中俸給ノ殘餘ヲ以テ同細目  
ノ新築費ニ流用シタル形跡上ヨリ之ヲ論セシニ亦敢テ違法ノ處置ニアラサルハ勿論抑テ本會ハ其職權内ニ於テ適當ノ處置ヲナシ  
タルモノト云フヘキナリ何ソ抑モ府縣會ハ唯知事ノ發スル所ノ議案ニ就テ經費ノ豫算ヲ議定スル所ニシテ其事業上ニ溢リテハ  
之ニ職及スルヲ得ルモノ之ヲ議定スルノ所ニアラス而テ本會ノ發シタル所ノ議案ハ地方稅規則第三條ニ列記セル各費目ヘ更ニ便宜  
ノ小費目ヲ設ケタルモノニシテ本件ニ關スル尋常師範學校費尋常中學校費ハ共ニ教育費中ノ小費目ナリ其小費目中更ニ數多ノ區  
分細目アルハ總テ說明ニ關シ事業ノ設計積算等ヲ示シ縣會ノ便ニ供スルニ止マルモノナレトハ既ニ前述スル所ノ如ク故ニ其費  
式ニ至リテハ固ヨリ議案ノ如ク一定ノ格式ナク其區分ノ詳略ハ一ニ本會ノ適意ニ任スルモノナレハ說明ニ掲グル所ノ細目ノ區分  
即チ校會新築費ノ如クハ法律ノ規定ヲ以テ費目トナスヘキモノニアラサルハ縣會力其說明書ニ就キ事業上ニ職及シ食費改築費等  
ニ係ル金額ヲ削減シタルモ其議決ノ効力ハ即チ議案中ニ於テ小費目タル尋常師範學校費ノ金額ヲ修正議決シタルニ過キサルヤ明  
カナリ然レニ縣會ハ食費改築ニ係ル豫算金額ヲ否決シタルコト云フカ如キハ是レ則チ縣會自ラ府縣會規則第一條ノ規定ニ背キタル  
モノニシテ決シテ如此議決ヲ爲シ得ヘカラサルナリ積算外ニ生シタル積算外ニ生シタル積算外ニ生シタル積算外ニ生シタル積算外  
明ニ屬スル細費目ノ流用ニ於テオヤ奈何レ是ヲ法律ニ背クト云ハシヤ縣會ハ本會ノ處置ヲ以テ目的外ニ於ケル別事業ニ對シ金額



支出シヨリ故ニ違法ナリト論スルハ果シテ何等ノ謂ナルカ其強ハ師範學校ノ食費ニシテ師範學校ノ用ニ供スル建物ナリ而シテ  
 認可ノ小費目ニ所謂常備師範學校ナルモノハ師範學校ノ修築ハ勿論年度内其之ニ要スル一切ノ諸費ヲ包含シタル費目ナリ然  
 ラハ則本費ヲ以テ別小費目ナル事常中學校ノ事業ニ支出セハ成ハ之ヲ目的外ノ事業ニ支出シタリト云ハシテ師範學校費ヲ以テ師  
 範學校ノ必要事業ニ支出セル事何リ是ヲ目的外ノ事業ニ支出シタリト云フヲ得ンヤ又縣會ハ之ヲ土木費ノ流用ニ喩ヘテ論スト雖  
 モ抑モ比喩ヲ用ルモノニシテ此ニ論議スルヲ須ヒス事常中學校カ其具狀書ニ於テ教育費ノ小費目中細目係給ノ項ヨリ同細目係給  
 費ニ流用シ食費ノ改竄ニ支出シタルヲ違法ナリト論争シタルハ余ク本官カ職事ノ便ニ供スル爲メ費算ヲ聲明シタルモノニ對シ  
 テ之ヲ加除シ既決シタル其精神ヲ以テ直ニ法律上職決ノ効力アルモノト認認シ加之是等事業ノ伸縮ニ關シテハ理事者ノ職權ニ屬  
 シ常置委員ノ股ケアルモ亦是等事業ノ伸縮ヲ諮詢スルカ爲メタルヲ思ハサルニ坐スルノミ  
 以上事實及形跡上ヨリ開陳シタル理由ニシテ本官カ明治二十一年度地方稅教育費中ノ小費目常備師範學校費ノ目中ニ於テ食費ヲ  
 改竄シタルハ何等法律ニ抵觸シタル處置ニアラサルモノト信認ス

密明

本件縣知事ト縣會ト法律ノ見解ヲ異ニシ權限ヲ争フノ要點ハ縣會ハ明治二十一年度地方稅收支總算報告書中常備師範學校費内係給  
 ノ目ヨリ流用シタル同校食費改竄費ノ支出ヲ以テ縣知事越權ノ處置ナリト云ヒ縣知事ハ之ニ對シテ同校食費改竄費ハ不慮ノ支出ニ  
 係ルヲ以テ實際係給費ヲ以テ之ヲ支辨シ其總算報告書面上同校費ノ殘餘ヲ食費改竄費ニ流用シタル形跡アルハ精算ノ際同校費ノ  
 殘餘ヲ豫備費ニ繰戻シタルニ由テ然ルモノニシテ開陳ヨリ法律ニ抵觸シタル處置ニアラスト云フ之ヲ審察スルニ抑地方稅費目中ノ豫  
 備費ハ豫算確定ノ當時ニ於テ豫期セサル不慮ノ費途ニ充ルコトヲ得ヘキモノナレハ苟モ地方稅總費ノ範圍内ニ於テ豫算外ノ支出ヲ  
 要スルトキハ何等ノ費途ニモ之ヲ充用スルコトヲ得ヘシ然レトモ豫算外ノ費途ニシテ豫備費ヲ以テ支辨シタル者ハ更ニ他ノ殘餘ヲ  
 以テ之ヲ補填スヘキモノニアラス故ニ縣知事カ常備師範學校新築ノ爲メ食費ニ不慮ノ費轉ヲ及ホシタルニ因リ豫備費ヲ以テ之ヲ改  
 竄シタルハ即チ豫算外ニ生シタル費途ニ豫備費ヲ充用シタルモノニシテ法律ノ禁スル所ニアラス但決算ノ際學校費中係給ノ殘餘ヲ  
 豫備費ニ繰戻シ以テ同校費ヲ食費改竄費ニ流用シタルハ精算ノ方式ヲ限リタルモノトス

判決

右ノ理由ニ依リ佐賀縣知事カ明治二十一年度ニ於テ常備師範學校食費改竄費ヲ同校費ノ支出ト爲シタルハ單ニ精算ノ方式ヲ限リタ  
 ルモノニシテ縣會ノ權限ヲ犯シタルモノニアラス

明治二十三年二月十四日

- |       |        |    |     |
|-------|--------|----|-----|
| 管理委員長 | 法制局長官  | 井上 | 毅   |
| 管理委員  | 法制局參事官 | 平田 | 東助  |
| 管理委員  | 法制局參事官 | 廣瀨 | 進一  |
| 管理委員  | 法制局參事官 | 木場 | 貞長  |
| 管理委員  | 法制局參事官 | 中根 | 重一  |
| 管理委員  | 法制局參事官 | 新波 | 淳六郎 |
| 管理委員  | 法制局參事官 | 田島 | 彦四郎 |



○備置儲蓄金三屬スル米穀代價計算ノ件(山形縣)問合 明治二十三年三月五日(常備)

從來ノ米穀ノ其儲貯存スルトキ儲蓄法第七條ノ百分ノ五ヲ計算スルニハ時價ヲ見込ヘキヤ  
(大藏省總務局)回答 明治二十三年三月六日

御問合ノ儲蓄米計算ハ元價ヲ基置トス

○船籍削除ノ件(和歌山縣)問 明治二十三年二月二十五日

當縣和歌山市北休賀町山崎松之助所有日本形大船五十九石積一艘縣下四牟其郡大古村古川文太郎外一名乘組明治十九年十一月和歌山港出帆四牟其郡里ノ浦ニテ船廣積入同年十二月二十四日同所被船歸港ノ際暴風ニ遭遇シ時ニ轉返セントスルヲ同浦ノ某之ヲ認メタルヲ以直ニ該船ニ漂寄リ救助セントスルモ激浪ノ爲遂ニ之ヲ果スコト能ハサル旨有文太郎其族へ通告セシモノ有之爾後難破ノ難據トナルヘキモノ何レノ地ニモ漂著セサルモ右ノ次第ニ付去ル二十年七月船籍削除ノ後本人ヨリ元和歌山區長へ申立タリト雖モ難破ノ證據不充分ニ付削除難相成旨指示セリ而シテ二十年後半半分ヨリ税金不納ナルモ差押ヘキ財產無之ヲ以年々未納額ニ登部被シ來リ候得共難破後數年ヲ經ル今日ニ至リ尙難破ノ判明セサルヲ以テ見レハ當時難破セシモノト信認候取テハ右等ニ對シ税金ヲ課スルハ當ヲ得サル儀ト存候付已往則一旦本人届出ノ當時ニ廻リ船籍ヲ削除シ未納金ハ除却可致哉  
(大藏省)指令 明治二十三年三月六日

何ノ通

○徴兵取扱ノ件(徳島縣)問合 明治二十三年二月十八日

一 徴兵令第十八條第二項ニ依リ徵集額ニ屬シタルモノ其事故止ミ本年徵集ニ應ズヘキ者再ヒ官公立小學校教員トナル者ハ徴兵令第十一條第三項ニ依リ六週間現役ニ服セシムル哉  
一 前項果シテ令第十一條第三項ニ依ルモノトモ其年徴兵抽籤現役徵集ノ後入營前再ヒ教員トナルモノ、如キモ尙令第十一條第三項ニ依ラシムル哉  
(陸軍省總務局)回答 明治二十三年三月十一日

第一項御意見ノ通

第二項現役徵集後ニ係ル者ハ令第十一條第三項ニ依ルノ限ニ在ラス

○扶助料給與方ノ件(内閣會計局)問 明治二十三年二月二十四日

明治二十三年三月 指令 大藏省 陸軍省 内閣



元警視局長ニシテ明治十年西南ノ役ニ従軍賞賜シテ傷患最著クハ賞賜増加恩給ヲ受ケタル後チ死亡シタル者ノ遺族ニ扶助料ヲ給ス  
 (キトキハ水入ノ傷項決定ノ日ヲ以テ陸軍軍人現役ヲ去ルノ時ニ當テ扶助料ノ給付ヲ定メラレ可然哉  
 (内閣)指令 明治二十三年三月七日  
 何ノ通

○會計法實施ニ付歳入簿等調製方ノ件(山口縣收稅及)問合 明治二十三年二月二十八日  
 來二十三年度ヨリ會計法實施ニ付テハ會計規則第十五條ニ依リ歳入事務管理廳ニ於テ調製スル歳入簿ハ客年八月大藏省令第十一  
 號第五十五號舊式ニ據ル儀ニ有之既テハ十九年十二月大藏省令第五十九號ニ依リ調製スル歳入簿整理簿ハ二十二年度版ヨリ自然廢  
 止ニ歸シ候儀ト承知可然哉又會計規則第三十條第三十一條ニ依リ調製スル大藏省令第十一號第五十五號舊式ノ歳入報告書摘要  
 ハ毎月各自ニ區分スルニ止リ二十年一月大藏省令第一號別表ノ如キ收納區分ヲ要セザル儀ニ候哉  
 道ヲ本文ノ通り訓令第五十九號ハ消滅ニ歸シタルモノトセハ補助簿ノ儀當該限リ適宜調製可然哉  
 (大藏省主稅局)回答 明治二十三年三月六日  
 總テ御見込ノ通ニテ可然亦歳入事務管理廳ハ大藏省ナルヲ以テ歳入簿及歳入總報告書ハ御調製ニ及ハス歳收法施行規則第十五條收  
 入集計書ヲ以テ御報告可然

○控訴人刑罰期限後ニ係ル費用ノ件(石川縣)何 明治二十三年二月十九日  
 輕罪ノ刑ニ處セラレ控訴ヲ爲シタル者裁決後控訴院所在地ノ監獄ニ服役罷在已ニ刑罰期限放免ニ際シ監獄執行等ノ爲原籍取調申別  
 房ニ留置候者ノ費用モ明治十八年御省甲第十三號御達ニ據リ已決囚人ニ屬スル費用ト見做原裁判官渡シタル地方ノ地方稅ニテ支辨  
 スヘキ筋ニ有之候哉且又主刑期限後原籍取調等ノ爲別房ニ留置スルハ全ク該監獄取調方ノ手續ニ出ルモノニ付右ノ費用ハ該監獄費  
 ニ屬スル儀ニ有之候哉  
 (内務省)指令 明治二十三年三月十四日  
 前段何ノ通  
 但別房留置者ノ衣食費ハ本人工錢ヲ以テ支辨スヘキモノニ付其價得タル金額ヲ扣除シ本文ノ通取扱儀ト心得ヘン

○恩賞階級取扱順序ノ件(青森縣)問合 明治二十三年三月十八日  
 客年二月十一日附御省訓令第十二號恩賞階級取扱順序第一號舊式實動年令ノ例中何項トアルハ如何ナルモノヲ扱置可致儀ニ候ヤ御達

中右ニ賦當スヘキモノ無之不明ニ付及御問合候

(大藏省國債局)回答 明治二十三年三月二十日

年金額上下ニ區分シ配應スヘキ儀ニシテ之ヲ類別スルハ左記ノ通	上	下
一 等	八百四十圓	七百四十圓
二 等	六百四十圓	五百四十圓
三 等	三百六十圓	貳百六十圓
四 等	百八十圓	百三十圓
五 等	百貳拾圓	百圓
六 等	八拾圓	七拾圓
七 等	六拾圓	四拾六圓
八 等	三拾六圓	貳拾四圓

○國稅滯納處分法施行規則第四號舊式ノ件(德島縣)問合 明治二十三年三月十三日

本年二月二十七日ヲ以テ國稅滯納處分費納入科目改正ノ儀大藏大臣ヨリ御達相成候處右ハ本年一月御省令第一號國稅滯納處分施行  
 細則第十五條ニ據レハ處分費ハ滯納者又ハ三者ニ於テ第四號舊式ノ納付書ヲ以テ金庫ヘ納付スルモノニテ該第四號舊式ニハ其納入  
 科目款項目ヲ明記シアルヲ以テ納入ヘ之レカ科目更正ノコトヲ示スモ省令ニテ定メラレタル科目ナルヲ以テ省令ニ之ヲ準附セザル  
 而已ナラス金庫ヘ納付書ノ後領收票收入官ヘ送付シ來リ取扱上差支候者ハ該舊式科目目道ヲ御改正可相成儀ニ候哉  
 道ヲ省令科目御改正不相成儀ニ候得ハ本文ノ場合ニ於テハ如何ナル順序ヲ以テ取扱可然哉  
 (大藏省主稅局)回答 明治二十三年三月十九日

本年二月二十七日第七二號舊省達ノ趣旨ニ依リ該舊式中輸入滯納處分費トアルヲ雜費金國稅滯納處分費納金ト更正配入力御達  
 ニ於テ令達相成リ可然存候

○徴兵ノ件(群馬縣)何 明治二十三年三月十四日

本年御省訓令甲第二號第一項ニ官立府縣立師範學校ヲ卒業シ官立公立小學校ノ教職ニ在ルモノ、身軀尺度ヲ遺願府縣ニ於テ調査レ  
 云云ト有之候處右調査ノ爲メ水入ヲ呼出ストキハ其旅費ハ官給可相成儀ニテ所見ノ如クナレハ其支給方等ハ一般徴兵同様ト相心  
 得可然哉



(陸軍省)指令 明治二十三年三月二十日  
何ノ懸置學校卒業ノ際調査スヘキ儘ト心得可シ但現ニ就職ニ在リ懸置ニテ離職調ヒノハ郡市長ヲシテ調査セシメ郡市長ニ於テ離職調ヒノハ其族姓氏名ノシ師團司令部ヘ通知ス可シ

○二十三年度以降所屬年度区分ノ件(青森縣)開令 明治二十三年三月二十二日

二十三年度以降會計規則第二條ニ依リハ恩給諸條ノ類ハ第一ニ依リ年度区分スヘキモノニ候所左記ノ如キハ同條第一ニ類換ト在候間何レニヨリ区分可然哉

- 支分恩給 陸軍恩給 同
- 一時賜金 一時賜金 一時賜金
- 官定恩給令及陸海軍恩給令ニヨリ受給ノモノ受領ノ権利消絶ニ係ル
- 恩給及扶助料

(大藏省)開置局)開令 明治二十三年三月二十五日

會計規則第二條第三ニ依リ一時賜金給助金及二十一年七月開令第九號第三條ニ該ルモノハ各其事實ノ生シタル當日限額金ハ内閣會計ノ日付ニ依リ年度区分相立候儀ニ有之儀

○年金恩給渡力ノ件(和歌山縣)開令 明治二十三年三月二十日

賞勳年金及軍人恩給ノ内受給者各郡村ノ居住ノ向ハ渡シ方ハ是迄數人分ヲ取束キ其郡役所ヘ送金ヲ郡役所ニ於テ金票且登錄簿帖等ニ對照ノ上本人ヘ交付致シ來リ候處新會計法實施ニ付寄月御省訓令第十二號ヲ以テ恩給諸條化拂取順序被定候中ニ前項ニ關スル明文無之右ハ總テ當照ニ於テ本人ヘ交付可致儀ニ候乎

(大藏省)開置局)開令 明治二十三年三月二十八日

本年大藏省訓令第十二號第十條ニ該ル郡役所ニ於テ年金證書ヲハ恩給證書並生存證書等檢閱濟ノ通報ヲ得テ送金ノ手續御取計相成可然

○遺兵ノ件(第五師團司令部)開令 明治二十三年三月二十九日(電報)

遺兵令十一條第三項ノ第十七號トハ其ノ何月ヲ以テ算スルヤ(陸軍省)開置局)開令 明治二十三年四月一日(電報)

入隊ノ月迄ニ滿十七歳以上トナシメント御承知ス

○遺兵ノ件(佐賀縣)開令 明治二十三年三月十九日

毎年六月一日以後遺兵令第十一條第三項ノ資格ヲ有シタル者ハ遺兵令第二十條ニ依リ但六月一日前ニ本支隊員ヲ得ル者夫々取裁申付日經過スルモノハ本支隊員可取計哉

(陸軍省)開置局)開令 明治二十三年四月一日

遺兵ノ件(和歌山縣)開令 明治二十三年四月一日

○二十一年度以前ノ非職離給支給期御省令第十號ニ依リ未日ニテ然ル可然哉

(大藏省)開置局)開令 明治二十三年四月十一日

高等官ノ遺言令第十號第一條判任官ノ同第二條ニ該ラレハ

○年金恩給受領者ノ任拂力ノ件(山形縣)開令 明治二十三年四月七日

二十三年度以降恩給賞勳年金ノ如キ受領者管内各所遺置ノ地ハ居住ニ付之ニ適合仕拂命令ヲ發行スルニ於テハ何レモ本支隊員任拂命令官所在地ノ出頭ニサレテ得ス然ルトキハ受領者ノ不便計カラス依テ遺置仕拂命令同種送金ヲ要請セサレハ實際上送支ヲ來シ候ニ付右ノ場合ニ於テハ附屬ノ氏名表各自姓名ノ下ニ其送金先ヲ記入シ送金ヲ請求スルコトヲ得ヘキ儀ニ候哉

(大藏省)開置局)開令 明治二十三年四月十二日

送金ヲ以テ交付スヘキ場合ニ於テハ通符ノ仕拂命令ニ該ル儘ト御承知可也

○公立小學校長職長取扱ノ件(佐賀縣)開令 明治二十三年四月二日

公立小學校長ノ直接生徒ニ教授ササレルコト關連其他教員ヲ指揮教務ヲモ整理スルモノニ付教職ト稱ス可キモノ然ラハ職長令第十一條第三項ニ依リ取扱筋ニ候哉

(陸軍省)開置局)開令 明治二十三年四月十二日

遺兵ノ件

明治二十三年四月 指令 陸軍省 大藏省



(陸軍省)指令 明治二十三年三月二十日  
何ノ補給部學校卒業ノ際調査スヘキ備ト心得可シ但現ニ在リ懸念ニテ難取調モノハ郡市長ヲシテ調査セシメ郡市長ニ於テ確  
取調モノハ其族籍氏名ノミ師團司令部ヘ通知ス可シ

○二十三年度以降所屬年度区分ノ件(青森縣)照會 明治二十三年三月二十二日

二十三年度以降會計規則第二條ニ依リハ恩給諸條ノ類ハ第一ニ依リ年度区分スヘキモノニ候所左記ノ如キハ同條第一ニ根據ト存候  
間何レニヨリ区分可然哉

文官恩給 陸軍恩給 同 同  
一時賜金 一時賜金 一時賜金 一時賜金

官吏恩給令及陸海軍恩給令ニヨリ  
受給ノモノ受領ノ権利消絶ニ係ル  
一 恩給及扶助料

(大蔵省國債局)回答 明治二十三年三月二十五日

會計規則第二條第三ニ依リ一時賜金給助金及二十一年七月閣令第九號第三條ニ該ルモノハ各其事實ノ生シタル當日恩給金ハ内閣計  
令ノ日付ニ依リ年度区分立候儀ニ有之候

○年金恩給渡方ノ件(和歌山縣)照會 明治二十三年三月二十日

賞勳年金及軍人恩給ノ内受給者各郡村ニ居住ノ向ヘ渡シ方ハ是迄數人分ヲ取束キ其郡役所ヘ送金シ郡役所ニ於テ金票且登錄寫帖等  
ニ對照ノ上本人ヘ交付致シ來リ候處新會計法實施ニ付寄附令第十二號ヲ以テ恩給諸條任拂取扱順序被定候中ニ前項ニ關スル  
明文無之右ハ總テ當廳ニ於テ本人ヘ交付可致儀ニ候乎

(大蔵省國債局)回答 明治二十三年三月二十八日

本年大蔵省訓令第十二號第十條ニ準シ郡役所ニ於テ年金證書クハ恩給諸條並生存證書等檢閱済ノ通報ヲ得テ送金ノ手續御取計相成  
可然

○徵兵ノ件(第五師團司令部)照會 明治二十三年三月二十九日(電報)  
徵兵令十一條三項ノ滿十七歳トハ其年ノ何月ヲ以テ算スルヤ  
(陸軍省軍務局)回答 明治二十三年四月一日(電報)

入營ノ月迄ニ滿十七歳以上トナルモノト御水知アレ

○徵兵ノ件(佐賀縣)照會 明治二十三年三月十九日

一 毎年六月一日以後徵兵令第十一條第三項ノ資格ヲ有シタル者ハ翌年四月シトナスヘキヤ  
但六月一日前ニ木文資格ヲ得ルモ夫々取扱中日期經過スルモノモ木文同様可取計哉

一 入營旅費ハ一般徵兵旅費定期ニ依リ本縣ニテ支給スヘキヤ  
(陸軍省軍務局)回答 明治二十三年四月一日

納テ御意見ノ通ト存候

○二十一年度以前ノ非職俸給支給期日ノ件(大阪府)照會 明治二十三年四月十日(電報)

二十一年度以前非職俸給支給期日御令第十號ニ依リ末日ニテ終ル可キ哉  
(大蔵省會計局)回答 明治二十三年四月十一日

高等官ハ當令第十號第一條判在官ハ同第二條ニ據ラレハヤ

○年金恩給受領者ノ任拂方ノ件(山形縣)照會 明治二十三年四月七日

二十三年度以降恩給賞勳年金ノ如キ受領者皆内各所遺隔ノ地ヘ居住ニ付之ニ集合仕候命令ヲ發行スルニ於テハ何レモ本金原則ヲ仕  
拂命令官所在地ヘ出頭セサレ得ス然ルトキハ受領者ノ不便計カラズ依テ通常仕候命令同様送金ヲ要請セサレハ實際上支拂ヲ來シ  
候ニ付右ノ場合ニ於テハ附屬ノ氏名表各自姓名ノ下ニ其送金先ヲ記入シ送金ヲ請求スルモノト得ヘキ儀ニ候哉

(大蔵省國債局)回答 明治二十三年四月十二日

送金ヲ以テ交付スヘキ場合ニ於テハ通常ノ仕拂命令ニ限ル儘ト御水知可有之

○公立小學校長徵兵取扱ノ件(佐賀縣)照會 明治二十三年四月二日

公立小學校長ノ直接生徒ニ教授ヲナサレモ訓練其他教員ヲ指揮職務ヲモ整理スルモノニ付教職ト稱ス可キヤ果シテ然ラハ徵兵令  
第十一條第三項ニ依リ取扱筋ニ候哉

(陸軍省軍務局)回答 明治二十三年四月十二日

意見ノ通



○毎月収入報告書添付ノ件(海軍省)照會 明治二十三年四月十日  
 客年四月勅令第六十號ヲ以テ公布相成候會計規則第三十一條中豫算書添付ノ件左ニ  
 客年十一月貸借訓令第六十六號第十七條ニ據リテ收入總報告書ニ金庫ノ月計對照表及收入官吏ノ毎月收入報告書ヲ添付スル儀ニ有之  
 候處右ノ收入事務管理廳ニモ適用スル儀ニ候處若シテ總務省ノ事務管理廳ニモ適用スル儀ニテハ當該廳ノ收入官吏ノ毎月收入報告書ニ  
 通テ添付シテ之ヲ整理ノ材料ニ供セサル得ス然レニ地方支那局ノ如キハ人員極少ナルカ故テ可成手數ヲ省セザレバ自然事務ノ  
 繁雜ヲ來シ從テ整理困難ノモノ等題目ノ誤ナキヲ保セサルニ付テハ貴省整理上御意支無之候ハ、收入總報告書ニハ金庫ノ收入金  
 月計對照表ノ添付俵樣致度  
 (大藏省)回答 明治二十三年四月十四日  
 固ヨリ必要ノ添付書類ニ付無給添付スヘキ儀ト御了知相成度

○改工夫徴集ノ件(兵庫縣)伺 明治二十三年四月九日  
 去月十五日勅令第二十五號ヲ以テ海軍軍艦名等徴集中工夫ノ部削減相成候處右邊令以前該工夫ノ職ニ在リシモノハ罷名籍ハ七  
 限ハントシ更ニ徴集スルノ限ニ無之遊期免役者同様ノ儀ト相心得可然度  
 (海軍省)指令 明治二十三年四月十五日  
 改工夫ハ徵兵令ニ據リ徵集スル儀ト心得ハシ

○非職俸給支給期日ノ件(奈良縣)伺 明治二十三年四月十四日(電報)  
 二十年省令五號ノ刊任渡日ハ換リナキヤ  
 (大藏省)指令 明治二十三年四月十六日  
 二十年省令五號ノ非職俸給渡日ハ本年省令十號改定俸給支給規則ニ據リ心得ハシ

○旅費過渡金支拂力ノ件(茨城縣)上申 明治二十三年四月十一日  
 本縣收稅廳所管江戶崎出張所在勤中自己疾病ノ爲メ水月市ニ轉地療養中昨年十一月附離ヲ命シタルニヨリ右療養ノ單ニ車馬賃  
 ノ支給スヘキノ處轉地療養ノ限リ日當二分金支拂テ同職見候處所屬年度ノ儀ハ既ニ出納閉鎖後ニ付  
 今更ニ都合ノ儀ニ候得共該過渡金係レ返納金ハ二十三年度第二部納入ノ納入年度條條御同相成度  
 (大藏省)指令 明治二十三年四月十八日  
 會計法第二十三條ニ據リ返渡ノハキヤノニ付上申ニ及ハス

○收入金取納並ニ報告書添付ノ件(石川縣)照會 明治二十三年四月十日  
 客年八月御省令第十一號書式ノ内收入官吏取入預備書第三ニ據リ收入預領ノ額ニ記入スヘキ處各警察分署收入官吏ノ如キ金庫所在  
 地外ニ在テハ甲月ニ於テ金庫ヨリ納入ニ次付シタル領收証ヲ乙月ニ至リ捺印シ或ハ甲月ニ於テ現金拂込書ヲ發シタル分乙月ニ至リ  
 金庫ニ領收スル場合ニ於テハ該收入官吏取入報告書ト金庫ヨリ指出スル月計對照表ト符合不致候ニ付其說明書ヲ製シ總報告書ト共ニ  
 進達致シ可儀  
 (大藏省)主計局)回答 明治二十三年四月二十二日  
 前段ノ如キ進達ヲ生スル見込アルモノハ總テ納入シテ現金ヲ收入官吏ニ納付セシメテ後段甲月拂込書ヲ發シ乙月日付ノ金庫  
 領收証ヲ得タル場合ニハ甲月ノ收入報告書ニハ其金額翌月ノ越前ニ記載ノ儀ト御承知可之度候

○電信柱敷地手當金ノ件(埼玉縣)照會 明治二十三年四月八日  
 本年四月勅令第二號ヲ以テ電信柱敷地手當金支給方改正ニ付テハ二十一年勅令第九號ハ勿論従前ノ一本當リ八錢以下及六箇月以上  
 以下ノ區分制限ハ自然消滅シ各自ヨリ請求ノ金額ヲ以テ下渡可相成度且二十三年度ハ四月ヨリ翌年三月マテノ分其年七月請求ノ際  
 ニ付テハ本年一月ヨリ三月マテノ手當金ハ既定ノ料金ヲ目的トシ今更ニ三月對下付可相成度  
 (電信省)工務局)回答 明治二十三年四月十七日  
 電信柱一本當リ金額現給月數計算方ハ従前ノ通ニテ消滅セシモンニ無之又本年一月以降三月マテノ分ハ御申越ノ通

○出張所等在勤者俸給支給方ノ件(長野縣)伺 明治二十三年四月二十一日  
 本年御省令第十號ヲ以テ支官俸給支給規則制定到任官ノ俸給ハ毎月末日ニ支給ノ儀ニ候處各出張所派出所在勤者ノ俸給ハ同日迄  
 ニ本入手許ハ到達ノ日別ヲ以テ仕拂命令ヲ發行スルモ差支無之儀ニ候處  
 (大藏省)指令 明治二十三年四月二十三日  
 伺ノ通

○徵兵ノ件(第一師團)申請 明治二十三年四月十日  
 徵兵検査規則第三條ニ現役兵ノ身長ハ五尺以上ニシテ國民兵ノ身長ハ則ニ其尺度ヲ定メラレヌ候處徵兵令第十八條ニヨリ國民兵ニ  
 編入スルハ同條第一項ノ増背ノ見込アル者ニテ其年未定尺即現役兵ノ身長最下限五尺ニ滿サル者及同條第二項其年勞役ニ抵ハサ  
 ル者ノ次年ニ於テ徵集ニ適セザル者ニ限ル儀ニ有之就テハ毎年徵集ノ際身長五尺ニ滿サル者ノ内職工ニ適シ且増背ノ見込アル者  
 ハ令第十八條ニ依リ次年同トシ其増背ノ見込アル者増背ノ見込アル職工ニ適セス尙其他ノ兵ニ適セザル者及身長五尺以上ト雖ト

明治二十三年四月 指令 大藏省 逓信省 陸軍省



○撥兵上其職務職工ニ適セス尚他ノ兵ニ適セザル者ハ次年同トナサス初年ニ於テ此ニ國民兵ニ編入整可然哉  
 ○道テ本支直ニ國民兵ニ編入スルモノトモ右該留ノ者及本年勅令第二十二號ニ依リ検査ニ合格セヌメテ(身檢定尺ニ滿サル者共)  
 ○國民兵ニ編入ノ者ニ附與スヘキ證書ハ取ニ右國民兵ニ編入スト記シ可然哉  
 ○陸軍省指令 明治二十三年四月二十四日  
 世前通書共申請ノ通

○非職停給交付方ノ件(富山縣)何 明治二十三年四月十四日  
 本年一月第三四〇號二十一年度以前非職者非職停給渡方心得第一項ニ二十三年四月一日其職管下ニ現在居住ノ非職者俸給ハ同日以  
 後他地方ニ轉居スルモ總テ其職ニ於テ仕移轉地地方由經山交付云々ト有之若シ本項ニヨリ他處ヨリ送付ヲ受ケタルトキハ所留  
 雜部金トシテ取扱フヘキ部分ト被存候果シテ然ルトキハ本入ヘ交付ニ力マシ之ニ要スル爲替手數料ノ如キハ本廳經費ヨリ支拂フヘキ  
 儀ニ候設併シ今般會計法實施ニ付テハ金庫出納事務規程第十五條ノ趣モ有之ニ依リ尊嚴機ニ決シ兼候條違憲御指揮相成度  
 ○大藏省指令 明治二十三年四月十八日  
 他地方ニ居住ノ分ハ本年二月營務則令第十八號會計主務官心得第二十三條領收渡用紙ヲ該地方ヨリ經由交付スヘキモノニ付雜部  
 金ノ扱ヲ爲スヘキモノニアラス

○徵兵旅費ノ件(岡山縣)何 明治二十三年三月二十五日  
 徵兵令第十一條第三項ニ依リ六週間陸軍現役兵ニ服スヘキ者入營旅費ハ官給可相成候得共身檢測尺ノ爲メ懸置或ハ適宜ノ場所ニ呼  
 出ストキ及身體受檢ノ爲メ召集地ニ出頭スル旅費ハ合格ニ拘ハラヌニ般徵兵同様官費支給可相成ヤ  
 ○陸軍省指令 明治二十三年四月二十四日(内務省通書)  
 身檢測尺ハ旅費ヲ要セザル便宜ノ場所ニ於テ取調若シ旅費ヲ要セザルハ難取調者ハ北旅費氏名ノミ師團司令部ヘ通知スヘシ又身體  
 検査ハ入營ノ際行フヲ以テ別ニ検査ノ爲メ召集セヌ尤入營ノ際検査不合格トナリタル者ノ陸軍旅費ハ官給ス  
 ○現金拂込書ニ所管廳名記載ノ件(神奈川縣)何 明治二十三年四月二十一日  
 二十二年御省令第十一號第三號書式現金拂込書所管廳トアルハ同年御省令第六十六號附屬書式ノ納入告知書ノ趣ヨリ(本廳通書)  
 ハ(大藏省主計局)同答 明治二十三年四月二十八日  
 御見込ノ通ニテ可然候

正誤

明治二十三年法令全書號外 (法律第二十九號)二九四頁一三行四月ハ一月ノ誤四三〇頁末行「差  
 押」ハ衍



○滿入海軍部方ノ件(岐阜縣)明令 明治二十三年四月二十三日

客歲御省令第十一號中第十五號辨式滿入海軍部方ノ儀ハ書式備考三編ノハ收入官吏ノ收入報告書ヲ以て調定濟額其他ヲモ記入スヘキ哉ニ相見ヘ候得共斯ヲハ租稅外諸收入ニ在テハ同年御省令第六十六號第六條ニ依リ記入スルモノト調定額重積スル機相成候右儀入簿ハ本編ニ於テ調定ノ分ハ其時々郡長等ニ委任ノ分ハ其調定報告ヲ以テ記入シ收入濟額等ハ收入官吏ノ報告ニ據テ登記スル儀ト心得可然哉

(大藏省主計廳)回答 明治二十三年四月三十日

調定額ハ貴廳ニ於テ調定ノ分ト雖モ收入官吏收入報告書ニ據リ收入濟額ト同時ニ登記スル儀ト御承知有之度

○徵兵ノ件(靜岡縣)明令 明治二十三年四月二十六日

身障五尺二寸未満ニシテ甲乙種ノ記號アルモ將來將官ノ見込ナキモノハ職工ヲ徵集セサル間ハ免役之處分ニ屬スル儀ハ客年御省令官ロイ送乙第一五〇四號ヲ以テ第三師團參謀長ヘ通知相成承知致居候處昨年御省令第二號徵兵検査規則第三條身障改正相成タルニ付テモ五尺一寸未満ノモノハ免役免役ノ處分ニ屬スヘキ儀ニ候哉

(陸軍省副官)回答 明治二十三年五月三日

國民兵ニ編入ス但將官ノ見込アル者モ同様ナリ

○電信柱敷地手當金仕拂取扱方ノ件(前岡縣)明令 明治二十三年四月十一日

本年四月廿四號御省令第二號ヲ以て二十三年度以降其有地ニ係ル電信柱敷地手當金仕拂取扱順序被定儀ニ付テハ同省令第六十八號ニ依リ該地所有者各自請求ニ對シ仕拂命令ヲ發セントスルニ當管内ノ如キ東井口四端ニ達スル殆ソト四十餘里ノ長線ニ涉リ其敷地數モ三千五六百箇所ノ多キニ隨ヒ敷地手當金受領者モ多分敷有之金員運搬不便ノ地ニ卜居スルモノモ不尠實況斯ノ如クナレハ當廳於テ一般直轄之ヲ交付スルモノト雖モ固リ是迄右柱敷地手當金渡方ハ年々各郡衙等ニ其所轄内限リ各受領者ノ氏名敷地手當金證明細書爲取調之ヲ取纏ノ御省令請求ノ上當廳ヘ御送付ノ金員ハ各郡ヘ區分配達シ各郡長ヲシテ渡方爲取扱來リ候ニ由リ本年度以降モ右渡方慣例ノ順序ヲ履行セハ官民共便宜ヲ得ヘク相考候

然カモシニハ管下國民救助費見發費徵收渡方ノ如ク主任官吏ニ現金前渡ヲ爲シ支拂ヲ取扱ハシムルノ外無之ニ付會計法第十五條第五ニ依リ各郡長ヲ主任官吏トシ現金前渡ヲ爲シ支拂ヲ爲サシメ可然乎

(總務省)回答 明治二十三年四月三十日

電信不便ノ地ニ限リ伺ノ通

明治二十三年五月 指令 大藏省 陸軍省 逓信省



○出納官更身元保証金ノ件(海軍省第三局)照會 明治二十三年四月二十六日  
 出納官更ノ身元保証金ハ豫テ出納官更ノ御協同ノ上納附等夫々各本人ハ違フ有之候處儘宜ニ依リ擬令ハ毎年四期納メノ分テ一回又ハ二  
 回ニ前納シ若クハ五箇年間ニ毎年四期ニ納ムヘキモノナリ此ニ其金額ヲ三四分シテ前納シ又ハ毎月納付スヘキ分ヲ數箇月分併セテ前  
 納スル等ノ儀ハ送支無之候

(大藏省主計局)回答 明治二十三年五月五日  
 送支無之候

○年度内歳入金主管廳擬訂正ノ件(愛媛廳)照會 明治二十三年四月二十六日  
 本年御省訓令第六十二號ヲ以テ明治十九年度以降二十一年度ニ至ル所屬ノ歳入金ニシテ科目其他ノ誤認ヲ發見スルモ本年四月  
 一日已降ハ金庫帳簿ノ訂正ヲ爲サシメザル旨訓令相成候處本年年度ニ屬スル各省所管ノ歳入金ニシテ納入告知書發行ノ際主管廳名配  
 入ヲ脱漏シ爲メニ金庫ニ於テハ當廳所管トシテ歳入金簿ナルト後日發見ノ場合ニ於テハ其訂正方ハ從前ノ通金庫ハ請求可然候  
 (大藏省主計局)回答 明治二十三年五月七日  
 其時々金額年月日及ヒ金庫名ヲ能ク取扱方御伺出相成可然候ニ有之候

○賭拂戻金及缺損金仕拂方ノ件(埼玉廳)照會 明治二十三年五月七日  
 賭拂戻金及缺損金仕拂方ノ儀ハ本年四月以降會計規則實施ニ付テハ各拂受人コトニ仕拂命令ヲ發付スヘキ旨ノ處右拂戻金申地租過誤  
 納拂戻ノ如キハ其拂受人各個人金額ハ僅カニ錢位ニ消サレモ有之然ルニ一時ニ數十人分ノ仕拂ヲ要シ且該仕拂ハ本廳所在地外  
 ナルニ依リ部ヲ送金ノ手續ヲ履行可致ニ付本廳ハ勿論仕拂金庫ニ於テモ手數容易ナラス從テ又送金其他ノ失費ニモ相關シ候儀ニ有  
 之候間右仕拂金ハ會計法第十五條ニ據リ現金前渡ノ手續ヲ以テ郡長若クハ收稅部出張所長ヲシテ之ヲ取扱ハシメ候儀致度

(大藏省)指令 明治二十三年五月八日  
 會計法第十五條二項第五ノ場合ニ於テハ現金前渡ヲ受ケル官吏ヲ際クコトヲ得ル儀ト心得ヘシ  
 但現金前渡ヲ受ケル官吏ヲ際カントスルモ其所在地廳署部局官名及一箇年取扱見込係算額共取調伺出ヘシ

○總代人ニ發スル仕拂命令調定方ノ件(大藏省主計局)照會 明治二十三年五月十四日  
 本年二月御省訓令第十八號會計主務官心得第十二條ニ通常ノ仕拂命令ハ一個ノ債主ニ現金ヲ交付スル爲メニ發スルモノトスト有之  
 候處總代人ノ債主中合セ總代人ヲ選ビ仕拂ノ請求ヲ爲ストキ若クハ總代人一人ヲ受取人トシテ發シタル通常ノ仕拂命令ハ一個ノ債主ニ直接  
 ニ現金ヲ交付スルト同様ノ儀トシテ調定シ送支無之候

(大藏省主計局)回答 明治二十三年五月十六日  
 御見込ノ通ニテ可然ト存候

○電信社敷地手當金支給方ノ件(東京府)照會 明治二十三年五月一日  
 本年四月訓令第二號ヲ以テ電信社敷地手當金仕拂方被相違タル處電柱ハ公共ノ便利ニモ相成ル儀ニ付爾後該敷地手當金請求不致旨  
 申出タル者有之右ハ強テ下付スルニ及ハサル儀

(逓信省工務局)回答 明治二十三年五月十三日  
 請求セサル旨ノ確証アルモノハ御意見ノ通

○賭拂戻及缺損補填金仕拂命令發付方ノ件(栃木廳)照會 明治二十三年五月十四日  
 賭拂戻及缺損補填金租稅過誤納下戻支出ノ儀町村長ノ請求ニヨリ該町村長ニ對シ仕拂命令ヲ發シ送支無之候又ハ各自ノ人民ハ仕拂  
 命令ヲ發スルモノニ有之候儀

(大藏省主計局)回答 明治二十三年五月十七日  
 二十二年度令第三十三號ニ依リ徵收シタルモノ、過誤納下戻ハ其町村長ニ對シ仕拂命令ヲ發シ送支無之儀ト存候

○二十三年度歳入金ニシテ主管廳及科目ノ誤認ヲ發見スルトキハ歳入報告書訂正方及金庫トノ手續如何取扱可然候  
 (大藏省主計局)回答 明治二十三年五月二十一日  
 主管廳送分及ヒ科目誤認ノ内金庫月計對照表ニ關係スルモノハ其時々金額納入月日並ニ金庫名等ヲ詳記シテ大臣ヘ取扱方御伺出  
 可相成月計對照表ニ關係サキ科目日進ハ其限リ左ノ手續ニヨリ訂正相成可然候

第一 更正ノ爲メ拂出ノ方ハ歳入簿歳入簿額ノ間ニ其金額ヲ未記シ尙其摘要ニ何レノ科目ニ更正拂出シタルコトヲ詳記スヘシ  
 第二 同受入ノ方ハ通常ノ歳入ト同シク其金額ヲ詳記シ尙其摘要ニ何レノ科目ヨリ更正受入タルコトヲ詳記スヘシ  
 第三 前二項ニヨリ更正ヲ爲シタルモノハ歳入報告書ニ更正拂ハ科目員ヲ各當廳内ニ未記シ尙其摘要内ニ其事由ヲ記シ更正受  
 ハ通常歳入ヲ記載シタル次位ニ其金額ヲ墨書シ備考欄内ニ其事由ヲ記載スヘシ

第四 前項ノ歳入報告ニ據リ調製スル歳入總報告書備考欄方ハ總テ前項ニ準スヘシ  
 ○國稅過誤納金還付期限ノ件(長野廳)照會 明治二十三年五月十五日  
 一國稅過誤納金還付期限ノ儀ハ明治二十二年法律第九號國稅徵收法第十七條ニ明文有之候處國稅過誤納還付金ノ儀ハ別ニ據ルヘキ



期限ハ判然不致候得共右ノ同年法律第四號會計法第十八條ニ據リ滿五箇年ヲ以テ期滿後ノ期限ト相心得可然哉  
一前項乘シテ滿五箇年ヲ以テ期限トセハ其計算方ハ過誤納ニ係リタル登目ヨリ起算スヘキ候ト心得可然哉  
(大藏省)指令 明治二十三年五月二十二日

第一項何ノ通  
第二項過誤納トナリタル年度ノ翌年度初ヨリ起算スル備ト心得ヘシ

○蠶種製造取締規則ノ件(北海道廳)何 明治二十三年二月二十八日

當廳管内ニテハ未だ蠶種組合ノ設ケアラスシテ一定ノ取締法ヲサカサカ爲メ蠶種製造者ノ如キモ各自營業區々ニシテ之方統一ヲ缺  
キ加之漸ク精粗混淆ノ弊ヲ生シ將來ノ進路ヲ妨礙スルノ傾向アレハ明治十九年省令第九號蠶種検査規則ニ依リ原種ヲ検査スルノミ  
ニテハ北界ヲ矯正スル能ハサルニヨリ當廳管内限リ該規則ノ施行ヲ止メ別冊(別冊ハ略ス)蠶種製造取締規則ヲ施行致シ度  
(農商務省)指令 明治二十三年四月二十四日

蠶種製造取締規則ノ件認可ス

○徵兵ノ件(千葉縣)開令 明治二十三年五月二十一日

農林學校各部別科生ハ徵兵令第二十一條ノ徵集猶豫スル限ニ無之哉ノ旨本年一月十四日付秋田縣ヨリ御省元總務局へ御照會ニ對シ  
同年二月十三日付開令ノ通ト御回答當時ノ官報ニ登載相成候處本年五月七日付農商務省告示第五號ヲ以テ同學校校則中改正相成同  
校ニ甲乙二科及豫備科ヲ設キ候ニ付テハ甲乙二科ノ生徒ハ徵兵令第二十一條ニ據リ徵集猶豫ニ屬シ其豫備科生徒ハ該條ニ據ル者ニ  
無之哉

(陸軍省)回答 明治二十三年五月二十七日

豫科生共總テ徵兵令第二十一條ニ依ルヘキ候ト承知有之度

法制局裁定

裁定書  
青森縣知事 佐和 正  
青森縣會館長 柳 彰 洋 穿  
右縣知事ト縣會トノ間ニ於テ縣會議員資格ニ關スル件ニ付法律ノ見解ヲ異ニシ府縣會規則第九條ニ依リ裁定ヲ仰クノ要領左ノ如シ

縣會ノ具狀

當會ハ正副議長常任委員改選及外數件ノ條項ニ付臨時會ヲ開設セシニ際シ知事ヨリ縣會ニ向テ左ノ進達ヲ發シタリ  
三月郡選出縣會議員淺水禮次郎府縣會規則第十三條第三款ニ當該シ縣會議員ノ資格ヲ失ヒタリ  
其補缺員選舉會ノ開設ハ來ル四月二十五日ニ定メ之ヲ告示セリ  
右及御通知候也  
明治二十三年三月二十五日 青森縣知事 佐和 正

青森縣會御中

右進達ヲ奉ケタルニ付縣會ハ其額未ダ確ムル爲メ滯外ノ說明ヲ聞キ且實地ノ取狀ニ付左ノ事實ヲ認メ得タリ

三月郡長心得ヨリ第一部長ハノ回答也

水郡八月町大字長橋町淺水禮次郎身代限處分事件事實取調方法ル十八日付電報ヲ以テ御開令ニ付別紙寫ノ通リ照會及候處別紙  
ノ通回答有之候間此段及御回答候也  
三月郡長心得  
三月郡書記 赤星翠郎

明治二十三年二月二十八日 第一部長松澤光憲殿

右回答書添付別紙

明治二十三年三月三日 三月郡書記 赤星翠郎

三月郡長心得

右ハ被告三月郡八月町大字長橋町淺水禮次郎外一名ニ相係ル貸金催促ノ執行事件ニ付身代限處分中示談濟方相成候間御取消  
被成下度此段奉願候也

明治二十三年五月 法制局裁定



明治二十三年二月二十五日

八月治安裁判所

判事池田房則殿

身代限命令書

青森縣三月郡八月町大字大工町平良石橋嘉兵衛ヨリ同縣同郡同町大字長橋町士族佐藤喜代見ニ係ル貸金催促事件ニ付澁水禮次郎佐藤喜代見ハ負債完済スルノ目的無之ニ依リ身代限濟方ヲ命スルモノ也

明治二十三年二月六日

八月治安裁判所

執行命令書

原告石橋嘉兵衛ヨリ被告佐藤喜代見澁水禮次郎ニ係ル貸金催促事件ニ付被告共ハ其義務ヲ承請シ而シテ辨濟ノ期日ヲ定メナカシ其期ヲ過クルモ極然辨濟セサルニ依リ本衙ハ之レカ執行ヲ命スルモノ也

明治二十三年二月四日

八月治安裁判所

八月治安裁判所ヨリ八月町役場へ通知書

三月郡八月町大字長橋町

同郡同町大字同

同郡同町大字同

久保澤重勝

佐藤喜代見

同郡同町大字同

八月治安裁判所

右ノ者共債額百五十四圓立銀行頭取富岡新十郎代八野崎登太郎及八月町大字大工町石橋嘉兵衛ヨリ係ル貸金催促事件ニ付身代限處分及候取今同原被告方難議ノ上濟方相成タル旨届出ニ付該處分ヲ取消候條此段及御通知候也

明治二十三年二月二十五日

八月治安裁判所

自餘詳略之

八月町役場御中

右ノ事實ハ府縣會規則第十三條第三款ニ該當スルヤ否ヤニ付審議討論ノ末議會ハ縣知事ト法律ノ見解ヲ異ニシ終ニ裁定ヲ仰クニ決定セリ

縣知事代理人カ本件ノ措置ヲ正當トシテ聲明スル所ノ要旨ヲ尋ケルニ曰ク澁水禮次郎カ身代限命令書ヲ下付セラシタルハ即チ身代限處分ヲ受ケタルモノニシテ其命令書ヲ受ケタルヨリ取消ヲ爲スニ至ルノ時間負債ノ辨償ヲ終ヘサルモノナレハ即チ府縣會規則第十三條第三款ニ該當スルモノトセザレバ得ズト然レトモ此解釋ヤ昔ニ其一端ヲ叩キタル不備不完ノ斷定タルヲ免レズ抑モ府縣會規則第十三條第三款ニ身代限ノ處分ヲ受ケ負債ノ辨償ヲ終ヘサルモノトアルハ其身代限ノ處分ヲ受ケタルノミヨリ以テ第

十三條第三款ニ該當セシメントスルモ未ダ購買指示財產分配等ノ處分ヲ爲サレニ於テハ果シテ負債ノ辨償ヲ終ヘ得ルヤ否ヤノ結果ヲ想像スヘカラス然レバ縣知事代理人カ身代限命令書ヲ受ケタルヨリ其取消ヲ爲スニ至ルマテハ負債ノ辨償ヲ終ヘサルモノナリト云フト雖トモ是レ全ク架空ノ想像論タルニ過キス  
蓋シ第十三條第三款ノ法意タルハ其要負債ノ辨償ヲ終ヘサルノ一條件ニ存スルモノニシテ身代限ノ處分ヲ受ケノ字句ノ如キハ負債ノ辨償ヲ終ヘサル中或レ部分ノ辨償ヲ終ヘサルノ限定スルカ爲メ乘取ヲ示シタルニ過キサルナリ如何トナレハ假令一旦身代限ノ處分ヲ受ケルト雖トモ其財產ヲ以テ負債ノ辨償スルニ餘リアルトキハ尠モ社會ノ信譽ヲ失フヘキニアラザレハナリ況ンヤ本件ノ如キハ留ニ命令書ヲ交付セラレタルマテニシテ而カモ未ダ購買指示財產分配等ノ處分ニ著手セサル内已ニ其取消ノ手續ヲ了セシメ以テ著手其義務ヲ社會ニ遺存セシメサルヲヤ  
右ノ理由ニ依リ縣知事ノ措置ヲ不當ト爲シ茲ニ裁定ヲ仰ク

縣知事ノ答辯

府縣會規則第十三條第三款身代限ノ處分ヲ受ケ負債ノ辨償ヲ終ヘサル者トハ身代限ノ命令ヲ受ケタル者ハ負債ノ辨償ヲ終ヘサルノ間ハ職員タルヲ得ザルコトヲ規定シタルモノニシテ則チ身代限ノ命令ヲ受ケタル者ハ其命令ノ失誤ニ非ザルヨリハ其處分ヲ受ケルト共ニ職員ノ資格ヲ失フヲ以テ固ヨリ財產購買分配等其手續ノ終了ト否トニ依リ職員資格ノ存否ヲ論スルノ必要無シ何トナレハ身代限ノ命令ヲ受ケルト同時ニ負債ノ辨償ヲ終ヘサルノ場合ヲ生スルヲ以テチリ故ニ身代限ノ命令ヲ受ケタル者財產購買分配等ニ至ラサル以前ニ注リテ負債ノ辨償スルモ既ニ職員ノ資格ハ喪失セシニ依リ現在職員ニ於テハ其資格ヲ繼續スルヲ得ザルナリ

右ノ理由ナルニ依リ本縣縣會議決澁水禮次郎ハ本年二月六日八月治安裁判所ニ於テ身代限ノ命令ヲ受ケ同日二十五日ヲ以テ負債



ヲ辨償シ其命令ノ取消シ得タルモ其命令ヲ受ケ預金ノ辨償ヲ終ヘサルノ日子間ニ於テ既ニ職員ノ資格ヲ喪失シタルニ依リ來ル  
四月二十五日ヲ以テ補缺選舉會ヲ開クハ法律上當然ノ措置ナリトス  
然レモ青森縣會ハ規則第十三條第三款ハ身代限ノ處分ヲ受ケルモ財產ノ變賣分配等其結局ニ至ラスシテ預金ノ辨償ヲ爲シタル者  
ニ適用スヘキモノニ非ラズト爲スハ見解ヲ異レト云ヘシ若シ此ノ如ク解釋シ去ラハ身代限ノ命令ヲ受ケ已ニ財產ノ自由ヲ制  
縛セラレタルモノナシテ當然ノ公議ヲ議決セシムルノ權限ヲ呈スルニ至ルヘシ是レ法律ノ精神ニ於テ許ス所ニアラ  
サルヲ信ス

審明

本件ヲ審案スルニ縣會ハ縣知事カ縣會議員淺水禮次郎ヲ縣會議員ノ資格ヲ失ヒタル者トシ其補選選舉ヲ行フヘキ旨ヲ告示シタルノ  
處置ヲ不當ト爲シ縣知事ト法律ヲ見解ヲ異ニストテ府縣會カ其職員ノ資格ヲ審判定スヘキ權ハ法律ノ明文ニ於テ附與  
セラレタルニ依リ生スルモノナレハ府縣會ハ府縣會規則第九條第二項ノ場合ヲ除ク外其權ヲ有セサルモノトシテ府縣會カ府縣  
會規則第九條第三項ニ依リ議定ヲ請フコトヲ得ルハ法律ニ明示シタル府縣會ノ職權ニ付縣知事ト其職界ヲ爭ヒ若クハ其職權ニ關ス  
ル法律ニ付縣知事ト見解ヲ異ニスルトキニ限ルモノナレハ今回淺水禮次郎ナル一個人ノ公權ニ係ル縣知事ノ處置ヲ不當トスル縣會  
ノ具狀ハ府縣會規則第九條第三項ヲ適用スヘキモノニアラス

判決

右ノ理由ニ依リ青森縣知事カ淺水禮次郎ヲ縣會議員ノ資格ヲ失ヒタル者ト爲シ其補選選舉ヲ行フヘキ旨ヲ告示シタル處置ニ對スル  
同縣會ノ具狀ハ法制局ニ於テ裁定スヘキ限ニアラス  
明治二十三年五月十六日

- |       |        |    |    |
|-------|--------|----|----|
| 審選委員長 | 法制局長官  | 井上 | 毅  |
| 審選委員  | 法制局參事官 | 今村 | 和郎 |
| 審選委員  | 法制局參事官 | 廣瀨 | 進一 |
| 審選委員  | 法制局參事官 | 木下 | 周一 |
| 審選委員  | 法制局參事官 | 蒲生 | 仙  |
| 審選委員  | 法制局參事官 | 中根 | 重一 |
| 審選委員  | 法制局參事官 | 種枝 | 八束 |

○甲所へ拂込タル保管金ヲ乙所ニテ拂戻ノ件(内務省)照會 明治二十三年五月八日

因徒所持金及盜犯贓金ノ償ハ本年勅令第二號ニ依リ大藏省預金局へ寄託スヘキモノニ有之候處右因徒ノ内集治監ニ入ルヘキモノ若  
クハ刑事被告入ニシテ裁判官轉送ヒ若クハ控訴上告等ニヨリ各地監獄へ送致スルモノニ右寄託金ノ如キ預金本局ノ外  
ハ其寄託シタル金庫ニアラサレハ之レカ拂戻ヲ受ケル能ハサルヲ以テ右囚人又ハ刑事被告入ノ護送ヲ要スル場合ニ於テハ其寄託シ  
タル預金本局若クハ各地本支金庫ニ就キ一旦該金ノ拂戻ヲ受ケタル上現金或ハ銀行爲換券等ヲ以テ送致シ又之ヲ受取リタル官廳ニ  
於テハ該地ノ本支金庫ニ就キ更ニ寄託セサルヲ得スト雖モ斯ノ如キ順序ナルトキハ自然權權ニ涉ルノミナラス護送途中ニ於テ監難  
又ハ紛失等ノ虞ヒモ有之且銀行爲替ニ附メルトキハ亦々其手数料等ノ支拂ヲ要シ其他不都合ノ際不抄取テハ前部金種ノ如キハ保管  
金領收證書ヲ以テ送致シ之ヲ受取リタル官廳ニ於テハ拂戻證明書ヲ以テ其地所在ノ本支金庫ニ就キ現金ノ拂戻ヲ受ケルコトヲ得セ  
シメ度尙ホ十八年第十三號布告預金規則ニ依リ預入ルヘキ囚徒工錢ニ於テモ本文ニ準シ取扱ハセ候様致シ度  
(大藏省)回答 明治二十三年五月二十九日

左ノ順序ニ據リ可取扱候

一預金本局又ハ金庫ヨリ發シタル保管證書ヲ以テ他ノ取扱官廳へ移シ他ノ金庫ニ於テ拂戻ヲ要スルトキハ取扱官廳ハ其事由書ニ保  
管證書ヲ添ヘ當初拂込ミタル預金本局又ハ金庫へ送附シ證書ハ返書ヲ受ケ之ヲ他ノ取扱官廳へ送附スルモノトス  
一前項ノ保管證書ノ送附ヲ受ケタル取扱官廳ハ該保管證書ヲ以テ拂戻ヲ要スルトキハ成規ノ如ク證書へ返書調印ノ上權利者へ交附  
シ其官廳及取扱主任ノ印鑑ヲ金庫へ送附スルモノトス但シ發シタル證書ニ印鑑ヲ交附シアルモノハ更ニ送致スルニ及ハス  
一預金本局又ハ金庫ヨリ發シタル保管金領收證書ノ全部又ハ幾分ヲ他ノ金庫ニ於テ拂戻ヲ要スルトキハ取扱官廳ハ其事由書ヲ當初  
拂込ミタル預金本局又ハ金庫へ送附シ其承諾ノ旨ヲ受ケ他ノ取扱官廳へ領收證書ノ記番號拂戻ヲ要スル金額等ヲ通知スルモノト  
ス

一前項ノ通知ヲ受ケタル取扱官廳ニ於テ其保管金ノ拂戻ヲ要スルトキハ成規ノ拂戻金證明書ヲ發スルモノトス但シ印鑑ヲ送附スルハ  
前第二項ニ同シ

一尙囚徒工錢ノ償ハ預金規則ニ據リ預ケスタタルニ付本文ノ如ク取扱難キモノトス

○經常歳入主管繰越ノ件(靜岡縣)上申 明治二十三年五月二十日

二十三年度經常歳入ノ内司法省主管繰越入懸別及徴收金別金及料料トシテ拂込ムヘキヨ靜岡縣主管トシテ別紙仕譯書ノ金庫へ拂込  
主管懸賬簿見致候間如何取扱可申哉

明治二十三年六月 指令 大藏省



(別紙)

主簿署名誤認訂正金額仕簿世

一金六圓五拾五錢

内

金貳圓七拾錢

金三圓六拾五錢

金貳拾錢

是ハ同斷二十三年四月十九日麻枝支金庫ハ拂込入收入官吏警部水野勝

是ハ同斷二十三年四月十九日麻枝支金庫ハ拂込入收入官吏警部岡信則

右ノ通有之候也

○大藏省指令 明治二十三年六月三日

二十三年度歳入金主簿誤認ノ分ハ訂正方應許ス

但シ甲月ノ誤認ヲ乙月ニ於テ發見シタル場合ニハ甲月分ノ收入報告書及ヒ金庫月計對照表(甲乙別月計對照表ニ其書)ハ誤認ノ儘差出シ乙月ニ於テ訂正スヘキ儘ト心得ヘシ

○保管金及預金即時拂戻金證明方ノ件(日本銀行)上市 明治二十三年五月二十八日

今般御省訓令第八十九號ヲ以テ保管金受渡事務順序ニ據リ拂戻シタル保管金及預金受渡事務順序ニ據リ即時拂戻シテ爲シタル預金ノ元利金ニ對シテ拂戻金對照表ヲ開製シ毎月取扱官廳ノ證明ヲ受ケ金庫ニ保存ノ後御訓令相成候儀該對照表ノ備ハ各該預金一口毎ニ掲記ス可キ儘ニ有之候得者拂戻ノ口數日々數十口有之金庫ニ於テハ一箇月分ノ取扱件數實ニ多數ニシテ一々掲記候ハ其煩雜ノ儘ニシテ且取扱官廳於テ之レカ調査證明セラル、モ容易ノ儘ニ無之自然證明遲延シ月計對照表發送延引ノ恐モ有之候ニ付右等拂戻多數有之金庫ニ限リ各該預金合計額(總額)ハ何れ何れ何れトモ以テ證明ヲ受ケ候儀致度

(大藏省)指令 明治二十三年六月十日

中出ノ趣應可ス

○集合仕拂命令ノ件(東京府) 明治二十三年五月十四日

第一項 各地へ送金スルハ普通仕拂命令ニ限リタル處二十一年度以前非職者俸給等ニシテ集合仕拂命令ヲ發シタル後他府縣へ轉居ノ令違者クハ本人ヨリノ届出ヲ受領シタル場合ニ於テハ如何ナル手續ヲ以テ送金取計可然哉

第二項 恩給者等ニシテ集合仕拂命令ヲ發シテ仕務官規定ノ領收證書交付セントスルニ當リ本人死亡シ且ツ遺族ノモノモ本籍へ歸郷シタルモノアリ右ハ疑ニ據シタル集合仕拂命令ニ對シテハ如何ナル處分ヲ爲スヘキヤ但本項ノ恩給受領者ハ本年二月申死亡ニ付減額支給スヘキモノニ有之候

第三項 甲地居住者へ向ケ送金ノ手續ヲ爲シタル後其受領者送金到達以當ニ已ニ乙地へ轉居シタル場合ニ於テハ如何ナル手續ヲ以テ更ニ送金ヲ爲スヘキ儘ニ候哉

(大藏省)指令 明治二十三年六月十七日

左ノ通出得ヘシ

第一項 集合仕拂命令ヲ制定シタル會計主務官ハ規定ノ領收證書ヲ受取人所在地ノ地方廳ヲ經由シ受取人ニ交付ス但此領收證書ヲ領收證書ニ記載セル金庫ニ送付シ送金ヲ請ホスルコトヲ得ル旨ヲ指示スヘキナリ

會計主務官ハ前項仕拂命令ノ特別送金方ヲ金庫ニ令送セラレ度旨大藏大臣ニ具申スヘキナリ

第二項 集合仕拂命令ヲ制定シタル會計主務官ヨリ事由ヲ具シ處分方ヲ大藏大臣ニ伺出ルモノナリ

第三項 會計主務官ヨリ金庫ニ其旨ヲ通報スレハ金庫ニ於テ轉送スヘキナリ

○保管金ノ内務制貸文久錢計算ノ件(佐賀縣) 明治二十三年六月六日

在職人携有金ノ備ハ本年勅令第二號及大藏省令第八號保管金取扱規程ニ因リ貴局へ寄附ヲ要スヘキノ處右携有金ノ内ニハ文久遺賫ト唱フル一厘五毛ノ銅貨有之他ノ計算上ニ於テハ單位未滿ノ端數ハ四拾五入法ニ依リ加除ヲ要スヘキノ勿論ニ候得共本件ノ如キハ適宜ニ加除スヘキノニ無之其レヲ假リニ加除シ得ヘキノトスルモ茲ニ甲乙兩人各一厘五毛ノ銅貨一枚宛ヲ所持シタルモノト假定セシ平入別ニ對シテハ四拾五入法ニ依リ各自二厘宛ノ寄附ヲ要スヘキノ割合トナルモ數人ノ權利者ニ關スル保管金ヲ取還メテ拂込ムノ場合ニ於テハ其現貨ニ缺乏ヲ來ダシ實際支支ヲ生シ候都合モ有之候間右携有金ニ限リテハ矢張毛位ヲ存シ拂込又ハ拂戻ヲ請求候儀致度將タ利子配附ヲ要シ候儀ハ數百名ノ人員ニ涉リ各收支ノ時日ヲ異ニシ殊ニ利子配附御附ノ際ニハ已ニ満期出監後ノ者モ有之候而已ナラス其人別ニ對シテ元金ノ備モ多クハ僅少ノ金額ニ止リ候間本件ニ對シテハ在職人工錢同權利者無之候様致度

(大藏省)指令 明治二十三年六月十八日

文久錢ノ計算ハ一人別ニ一厘五毛ノ毛位ヲ割上ケ二厘トナシ御拂込可有之尤右文久錢ノ拂込アルトキハ保管金送付書へ別紙ヲ添付

明治二十三年六月 指令 大藏省

三三



○收入官吏交還ノ節計算書ノ件(神奈川縣北條市長照會 明治二十三年六月十九日)  
本月十四日御省訓令第百二號ヲ以テ收入官吏交還ノ節證明方被定候處右收入計算書式凡例第一項ニ從前ノ任職書ヲ添付スヘシト有  
之職任證書トハ十九年五月迄第二三五號ヲ以テ會計検査院長ヨリ通達相成候内際證明書ノ係ニ可右之ヤ  
追加收入計算書ニハ別ニ證明書類添付ニ及ハサル儀トハ存候得共爲念添テ及御照會候也  
(大藏省主税局)回答 明治二十三年六月二十一日

收入官吏交還ノ節會計検査院へ可差出計算書式凡例第一項任職書ハ租稅外賄收入ニ添付相成候儀ニテ國稅ノ計算書ニハ添付不及  
候

法制局裁定

裁定書

山梨縣知事 中島 錫胤  
山梨縣會議長 八卷 九萬

右縣知事ト縣會トノ間ニ於テ明治二十一年度ニ於ケル地方稅支辨ノ費目申郡縣會建築修繕費豫算外増費取之ニ對スル豫備費支出ノ  
件ニ付法律ノ見解ヲ異ニシ權限ヲ爭ヒ府縣會規則第九條ニ依リ裁定ヲ仰クノ要領左ノ如シ

縣會ノ具狀

當縣會ノ議定シタル明治二十一年度郡縣會建築修繕費ハ總額金三千六百六十四圓ニシテ内金二千七百四圓ハ南都留郡役所外ニ郡役所  
ニ要スル建築費トシ其内金二千六百六十四圓ハ實ニ南都留郡役所ノ建築ニ充ツルノ費額トセリ然ルニ本年ノ通常縣會ニ向テ縣知事  
ノ提出シタル前年度即二十一年度ノ決算報告書ニ依リニ縣知事ハ郡縣會建築費ニ於テ郡縣會ノ議定シタル豫算以外ニ金五百七  
十圓六十五錢六厘ヲ增加支出セリ而シテ其内金四百八圓三十一錢八厘ハ南都留郡役所ノ建築ニ於テ設計ヲ變更シタルカ爲メ要シ  
タル増加額ニシテ縣知事ハ之ヲ豫算外ニ生シタル事件ノ費途ナリトシ當置委員ニ諮問シ同年度ノ豫備費中ヨリ支辨シ其事由ヲ精  
算報告書中ニ説明セリ即チ左ノ如シ

其營造ノ設計完全ナラサル所アリテ起工ノ後ニ至リ更ニ其規模ヲ改メタルニ由リ(中略)全ク豫算ノ外ニ出テタルヲ以テ云々  
依テ尙其事實ヲ調査スルニ縣知事ハ南都留郡役所建築ノ工事ヲ執行スルノ中ハニ至リ縣會カ曾テ豫算ヲ議定スルニ際シ目的トナ  
シタル建築設計ノ外更ニ増工事ヲ執行シ爲メニ水原ノ増費ヲ要シ結局地方稅規則第三條ニ依リ豫備費ヲ以テ之ヲ支辨スルニ至リ  
タルモノナリ當縣會ハ縣知事ノ此處分ヲ以テ府縣會規則第三十七條ノ適用其當ヲ失ヒ同規則第一條ニ定メタル縣會ノ議權ヲ侵シ  
併テ地方稅規則第三條豫備費ノ定義ヲ誤リタルモノト思召セリ其理由由左ニ陳述ス

理由

南都留郡役所ノ建築ニ際シ増費トシテ支辨シタル金四百八圓三十一錢八厘ハ全ク縣會ノ議定セサル豫算外ノ費額ナルコトハ縣知  
事モ亦之ヲ信認セリ何トナレハ之カ精算報告書ニ於テ全ク豫算ノ外ニ出テタルヲ以テ云々ト説明シアレハナリ抑此ノ如キ場合ニ  
増費ヲ要スルニ於テハ須ラク先ツ豫算追加ノ案ヲ發シ更ニ縣會ノ議定ヲ經ルノ手續ヲナザルヘカラス然ルニ措置ノ此ニ出テサ  
ルノモノナラス縣知事代理者ハ其處分ヲ適法ノモノトシ縣會ニ向テ說明シテ曰

南都留郡役所ノ建築設計以外ニ増工事ヲ執行シタルハ當置官吏職務上ノ失錯ニシテ臨時ノ事變ニ外ナラス故ニ其増費ニ係ル金  
四百八圓餘ハ全ク豫算外タルニ相違ナキモ其失錯ノ事實ヲ發見シタルハ工事竣功ノ後ニアリシヲ以テ當時追加豫算案ヲ發シ縣  
會ノ議定ヲ求メントスルモ已ニ其順序ニアラス止テ得ス之ヲ事業執行上ニ於ケル事變ノ一トシテ府縣會規則第三十七條及地方  
稅規則第三條ニ依リ豫備費ニ諮問シ其執行ヲ了リタルハ固ヨリ適法ノ處分ナリ

然レトモ凡ソ縣會ハ費用ノ豫算ヲ議定セサル以前ニアリテハ法律上事業ノ存在ヲ認ムヘキニアラス從テ本件ノ如キ通常事業ニ對  
シ特ニ經費ノ支出ヲ求メントスルニハ必ス先ツ縣會ノ議定ヲ經ヘキハ相當順序ナルニ縣知事カ單ニ工事竣功後タルノ故ノミヲ以  
テ議定ヲ經サル經費即南都留郡役所建築増工事ニ對スル増費ヲ支出シタルハ適法ノ處分ニシテ正ニ府縣會規則第一條ノ議權ヲ侵  
害シタルモノナリ

又地方稅規則第三條ニ規定セル豫備費ナルモノハ豫算外ニ生シタル事件ノ費途及豫算ノ臨時不足ニ充ツルカ爲メノ費額ニ外ナラ  
ズ而シテ其所謂豫算外ニ生シタル事件トハ天災時變若クハ制度ノ改革等總テ事業執行者ノ豫知シ得ヘカサル事項ヲ指定シタル  
ニ止リ本件ノ如ク執行者自身ノ任意ヲ以テ既定ノ設計ヲ變更シタルニ由リ生シタル事件等ヲ包含セサルハ理ノ最モ極端キ所ナリ  
若ク縣知事カ其執行權ニ依リ建築ノ設計ヲ變更シタルカ如キハ決シテ豫知シ得ヘカサルノ時變ナリト云フヲ得サルヤ明カナリ  
トス然ラハ則チ南都留郡役所ノ建築増工事ニ對スル増費ヲ要スルニ方リ追加豫算ヲ發シテ縣會ノ議定ヲ經ルノ手續ヲ爲サズ直ニ  
豫備費ヲ以テ支辨シタルハ正ニ豫備費ノ定義ヲ誤解シタルモノトス若シ夫レ否ラズシテ縣知事ノ此處分ヲ適法ノモノナリトセシ







辨事求ムルノ外復々之ニ處スルノ途ナキニ於テ即チ事實ヨリ本件ヲ認メテ以テ不慮ノ費途トナストキハ勿論令理事者ノ任  
 意ニ因ル事件トスルモ地方稅豫算確定ノ當時ニ於テ豫期スヘカラサル事件タルニ相違ナキヲ以テ其處置ノ途ヲ豫備費ニ求ムルコ  
 トモ妨ナシ然レニ縣會所見ノ如ク本件ハ豫算外ノ事業ニアラス事業完了ノ後ニ屬スルモ尙豫算追加ヲナスニアラザレハ豫算ノ  
 途ナシト云フニ至リテハ獨リ難キヲ理事者ニ求ムルノミナラス全ク豫備費ノ定額ヲ限リタルモノト謂ハサルヘカラス故ニ本官ハ  
 本件ノ處分ニ係ル豫備費ノ解釋ニ於テ亦豫求モ解釋ノ際アルヲ認メテ隨テ府縣會規則第三十七條ノ適用其當ヲ失シタルノ際ア  
 ルヲ認メサルナリ之ヲ要スルニ縣會カ本件ニ關スル本官ノ處理ヲ違法ナリトシテ論争スルハ畢竟地方稅經濟ノ範圍内ニ屬シ豫算  
 確定ノ當時豫メ認ムルコト能ハサル事業ノ經費ハ其理事者ニ於テ必要ト認メテ起シタルモノト天災地變ニ因リ起シタルモノトヲ  
 間ハス總テ其支辨ヲ豫備費ニ求ムルヲ得ルノ定額ヲ限リタルニ山ノミ  
 右ノ理由ニ依リ本官カ明治二十一年度地方稅支出豫算郡縣會修繕費中南都留郡縣會建築費ニ關シ豫算外ノ支出ヲ爲シ其支出  
 ハ之ヲ同年度地方稅ノ豫備費ニ求メ其處理ヲ了シタルハ尙モ法律ニ抵觸シタル所ナシト確信ス

審明

本件縣知事ト縣會ト法律ノ見解ヲ異ニシ權限ヲ争フノ要點ハ縣會ハ縣知事カ明治二十一年度ノ決算報告書中豫備費ヲ以テ南都留郡役  
 所建築増工事費ヲ支辨シタルハ違法ノ處分ナリト云ヒ縣知事ハ南都留郡役所ノ増工事ハ主任郡書記ノ專斷ニ出テ豫メ認知スルコト  
 能ハサル不慮ノ支出ニ係ルヲ以テ豫備費ヨリ之ヲ支辨シタルハ法律ニ抵觸シタル處分ニ非スト云フ之ヲ審案スルニ抑地方稅費目申  
 ノ豫備費ハ豫算確定ノ當時ニ於テ豫期セサル豫算外ノ支出及豫算ノ臨時不足ニ充ツヘキモノナレハ事若シ地方稅經費ノ範圍外ニ出  
 テスハ固ヨリ必要ノ費途ニ充ツルコトヲ得ヘシト雖理事者カ必要ト認ムルニハ必ス其正當ナル理由ナカルヘカラス而シテ理事者  
 ノ監督ノ下ニ在ル關係ノ專斷ハ豫備費支辨ノ理由ト爲スヲ得サルモノトス故ニ本件南都留郡役所ノ増工事ハ郡縣會ノ工事ニ外ナラ  
 サルヲ以テ其費途ハ到底地方稅ノ經費負擔ニ屬スヘシト雖之ヲ支出スルニハ縣會ノ承諾ヲ求メサルヘカラス而シテ豫算外ニ生シタ  
 ル費途ノ例ニ依リ豫備費ヨリ支辨スヘキモノニ非ス

判決

右ノ理由ニ依リ山梨縣知事カ明治二十一年度ニ於テ郡書記ノ專斷ニ依レル南都留郡役所ノ増工事費ヲ豫備費ヨリ支辨シタルハ違法  
 ノ處分ニ非ストス

明治二十三年六月十日

審理委員長 法制局長官 井上 毅

- 審理委員 法制局參事官 馬屋原 彰
- 審理委員 法制局參事官 山崎 玄
- 審理委員 法制局參事官 男谷 忠友
- 審理委員 法制局參事官 松浦 真春
- 審理委員 法制局參事官 新波原六郎
- 審理委員 法制局參事官 田島彦四郎



○煙草製造人證約狀ノ件(大蔵府) 明治二十三年六月二十四日

二十一年五月官房第一〇七號ヲ以テ煙草製造人證約狀ノ保證入ヲ得サル場合ハ公債證券國立銀行ノ預金券又ハ政府ニ於テ利益ヲ保證スル會社ノ株券ヲ抵當トシテ差出シ特ニ證約ヲナストキハ保證入ヲ得タルノ手續ヲ省カシムルコトヲ得ル旨御指示ノ次第有之候處當管下國立銀行ニ於テハ金高百圓未満ハ定期預金ヲサハル向テ有之營業者ノ不便不納銀ニ付三井銀行其他確實ト認ムル私立銀行ノ預金券ヲ以テ抵當トシ願出シルモノハ右御指示同條取扱ヒ候様致度

(大蔵府) 指令 明治二十三年六月二十八日

○非職傳通拂ノ件(奈良廳) 明治二十三年六月三十日

元本縣滙上外四郡長瀬縣通久保五月二日附和歌山縣伊都郡長瀬ニ在セラレ候處自四月至六月俸給渡済ノ後辭令書到迄ニ付日割金四拾三圓一錢一厘通拂ト相成依テ二十三年度滙入トシ客月九日奈良米倉庫へ納付爲致候條本月御書則令第百五號ニ基キ此段及御届候也

(大蔵省會計局) 通知 明治二十三年七月四日

非職傳通拂ノ儀御届相成候處高等官俸給ハ勅令ヲ以テ前金渡ト定メラレタルモノニシテ高等官ニ係ル通課拂ハ定額ニ戻入シ得ヘキモノニ付附後右等ノ場合ニハ定額戻入要求ノ手續御取計可有之此段申渡候也

○納稅義務ノ果サス失察セシ者ニ關スル取扱力ノ件(愛媛廳) 明治二十三年四月十六日

贈與稅及ヒ船車稅納人失察ニ係ル査察隊方ニ就キ客月十八日第三十七號御書則令ノ次第有之候處右除去ノ後本人歸籍又ハ物件所在判明シタル場合ニ於テ査察隊去ノ當時ヨリ依然其業ヲ營ミ又ハ物件ヲ所持シ居タル事實アルトキハ個令ヒ一旦廢業者クハ納夫ニ準シ取扱ヒタルモノト雖モ無差札又ハ無檢印ヲ以テ處分スヘカラサルハ勿論ニ付査察ニハ除去ノ日ニ溯リ復記シ撤收法第十七條ニ取據セザル限リハ其脫漏稅金一時ニ追徵スヘキヤ

前項ニ同シテ失察者ニシテ從來未納ノ徵收證キタル分令般納處分法ニ據リ悉皆了候處其以前失察後滿三箇年經過セシ者ハ一旦皆償トシ其後ノ賦課額ヲ扣除シ他日本人歸籍又ハ物件所在判明ノ上官損ヲ取消シ扣除セシ分ヲモ追徵スヘキ旨御指示相成タル分有之右歸籍等ノ場合ニ於テ數年間ノ未納稅金ヲ一時追徵スルモノトモハ前項處分了ノ者ニ對シ不備納ノ感有之候就テハ該御指令ハ納納處分法施行ノ日ヨリ自然消滅セシモノトシ前項ニ準シ査察面ヲ除去若クハ復記シ及ヒ其脫漏稅金ヲ追徵スト雖モ其官損トシテ取扱ヒタル未納稅金ハ追徵スルニ及ハサル儀ト相心得可然乎



(大藏省) 指令 明治二十三年四月二十六日

左ノ通心得ヘシ

- 第一項 賦課出納凡ノ例ニ依リ取扱リ要ス
- 第二項 一旦旨損トシ整理セシモノト雖モ本人所轄ノ上ハ之ヲ追徴ス

○登録取締規則改正ノ件(長野県) 市 明治二十三年五月

今他登録組合ニ關スル事見及内申置候御書準則即改正ハ急迫ノ事ニ不相運成ノ趣然ルニ準則範圍外ニ立ツ本縣下管業者ハ又々  
寄附山形縣下ニ於ケル如キ權ヲ附シ煩雜ヲ生シ可申儀ト深ク憂慮致候就テハ商機切迫ノ今日ニ在テハ一日ヨリ選定組合ニ付何  
分ノ御許相成候迄則紙現行取締規則ニ多少改正ヲ加ヘ自然組合ヲ組織爲度俟テ其組合ハ準則即改正後準則ノ下ニ立ツ組合ト同  
様ノ資格ニ準セリ候様至急御允申相成度

(農商務省) 指令 明治二十三年七月十八日

登録取締規則改正ノ件開届ク但規則第十七條末文ハ「其他ハ本人立合ノ上廢棄スヘシ」ト改ムヘシ

(別紙)

改正登録取締規則

- 第一條 登録組合ハ農工商製造業農工商衛生機關團體(獸外) 生皮等出納關係ノ類ノ各業ヲ總稱ス
- 第二條 登録業ニ從事スルモノ各業ヲ通シ又ハ各別ニ組合ヲ設ケルトキハ左ノ各項ニ總テ規定ヲ應知事ノ認可ヲ受ケヘシ  
但組合分合又ハ規約ヲ變更スルトキ亦本文ニ準テ認可ヲ受ケヘシ
- 第一項 組合ノ名稱及事務所ノ位置
- 第二項 物品検査規程
- 第三項 工男工女使傭規程
- 第四項 監視豫防方法
- 第五項 組合役員選舉及廢止規程
- 第六項 組合検査員任用規程
- 第七項 取締規則違犯物品處分規程

第三條 組合ハ事務所ヲ設ケ適宜役員ヲ置キ組合ヲ統轄スヘシ

第四條 組合事務所ニ於テハ第一號標形ニヨリ印章ヲ製シ檢印ヲ受ケ其組合員(手代)ハ附屬印章(ニ次付スヘシ)

第五條 組合員ハ水則第四條ノ附屬印章(手代)ハ附屬印章(ニ次付スヘシ)

第六條 登録業ニ從事スル者ハ其年ノ産額價額總額ハ用納其共(其組合事務所) (組合員ニアラル者) 應知事(又事務所ハ  
其費用決算表及組合員ノ産額價額總額計表ヲ翌年一月三十一日限リ應知事ヘ届出ヘシ

第七條 疾病及寄託ヲ發見シタルトキハ速ニ驅除法ヲ施シ其旨直ニ應知事ニ届出ヘシ

第八條 絲繭用ノ收購及玉繭ヲ以テ登録ヲ製造スヘカラス

第九條 登録ハ餘附物等ノ手入ヲナスヘカラス

第十條 實種製造人ハ種類(雜豆) 名稱(小石丸) 又昔ノ類ヲ云フテ附以前ニ原紙ノ表面ヘ又裏紙(種) 産附月日ヲ原紙ノ裏面  
ヘ明記スヘシ

但證明元種ニ限リ本文産附年月日ヲ記セズ若クハ種類名稱ヲ其裏面ニ明記スルモ妨ケナシ

第十一條 證明元種ノ種穀ハ春夏秋冬間ハス持立後一箇年間保存スヘシ

第十二條 登録ニハ製造人ノ住所氏名ヲ明記シタル印章ヲ押捺スヘシ

第十三條 生絲ハ二緒ヲ合セ扱返サラスヘカラス

第十四條 提遺生絲ヲ管外ヘ輸出スルトキハ必ス巻印紙ヲ用フヘシ

第十五條 商標(農商務省登録) ノモノ(ヲ附セサル生絲) 提遺ハ一東提絲ハ一捲長手道ハ一東(ニハ住所氏名ヲ明記シタル印章ヲ  
押捺スヘシ)

但數卷未滿ノモノヲ實算シ販賣スルモノハ其販賣人ニ於テ印章ヲ押捺スヘシ

第十六條 登録業ニ關シ縣知事ヘ願何届符ハ所轄郡役所ヲ經由スヘシ

第十七條 水則第八條第九條第十三條ニ遵守シタル登録及生絲ハ處分後直ニ廢棄シ組合員ニ係ルモノハ其組合ヘ下附シ組合員ニ  
アツサルモノハ沒收スヘシ

第十八條 水則第五條第八條第九條第十條第十一條第十二條第十三條第十四條第十五條ニ遵守シタルモノハ應知事ヲ以テ罰セラ  
ルベシ

(施行規程)



○退官賜金支出方ノ件(大藏省照會) 明治二十三年七月十五日  
本年勸令第九十八號ヲ以テ文官利任以上ノ者退官賜金ノ制被定候ニ付テハ右退官賜金ハ當省所管經費取立時點支官恩給一時賜金ヨリ夫々移算可相成メント被存候得共該賜金ハ彼此自ラ性質ノ異シル所ヨリ移算不相成候ニ付候ハ、各廳經費中ヨリ支拂メ、キ  
備ニ可有之哉

(大藏省)回答 明治二十三年七月二十三日  
後段御見解ノ通

○官定遺族扶助法國庫納金額ノ件(大藏省會計局)照會 明治二十三年七月十八日  
本律第四十四號官定遺族扶助法第二條國庫納金額ニ付疑義左ニ

一 非遺族ノ其非遺族俸給額ノ百分一ナルヲ將其官等相當ノ俸給額ニ據ル乎

二 遺族官等俸給額附則第二十六條第二十七條等ニ依リ減俸シタルモノハ其減俸額ノ百分一ナルヲ

(大藏省會計局)回答 明治二十三年七月二十三日

第一項 前段御見解ノ通

第二項 御見解ノ通

○酒造稅則申改正ノ件(廣島縣稅務長)照會 明治二十三年七月二十五日

明治二十三年七月八日法律第四十九號ヲ以テ酒造稅則申改正相成候ニ付取裁心得書御訓令相成候儀トハ存候得共先以テ左ノ各項及  
御問合候也

一 稅則第九條ノ納期ハ二十三年度即二十三年十月一日以後釀造ニ係ル酒類ノ納期ニシテ二十二年度ノ遺石稅ニハ適用セザル儀ト  
心得可然哉

二 同條第十六條ニ檢算酒類納稅以前ニ於テ釀造者ヲハニヤトアリ右納稅以前トハ一期中製遺石數ノ稅金完納期即一月十五日以  
前ヨリ指シタルモノト心得可然哉

(大藏省主稅局)回答 明治二十三年八月一日  
兩條トモ御見込ノ通ニテ可然被存候

○區長演習召集ノ件(大藏省)訓 明治二十三年七月二十八日

陸軍省備後備將校服條例第四條申付ニ市町村長助役收入役ト爲ル者ハ勸務演習ノ爲メ召集スルコトナリト有之ニ付區長ハ無論  
召集可相成候ニ候得共東京市京都市大阪市ノ區長ニ在テハ其職務權限共ニ一般ノ區長トハ異リ候ニ付右服條例中市町村長同様召集  
集セラザル儀ニ候得共シテ然ラハ該區長トナリタルトキハ同條例第十三條ニ準シ可屆出儀ト相心得可然哉

(陸軍省)訓令 明治二十三年八月二十二日  
御見込ノ通ニテ可然被存候

○官定受取給者ノ件(神奈川縣照會) 明治二十三年八月十六日

官定受取給者規則第九條第二項ニ地方廳ニ於テ前項ノ届出ヲ受ケタルトキハ大藏省ニ通知シ各廳間互ニ其者ニ係ル恩給支給方ノ  
受領ヲ爲スメント有之ニ付二項ハ恩給ヲ受ケル者轉若クハ寄附スルトキハ受取給者從來居住ノ地方廳及轉若クハ寄附地ノ地  
方廳ヨリ共ニ御寄ノ通牒可致メ、如クニ候得共右ノ甲乙兩廳間ニ於テ恩給支給方ノ受領ヲ爲シタル以上ハ其居住地即チ引繼ヲ爲  
シタル地方廳ヨリ御寄ノ通知ヲ引繼リ受ケタル官廳ニ於テハ通牒不致候ヲ可然候儀ニ候哉

(大藏省國債局)回答 明治二十三年八月二十五日  
御見込ノ通ニテ可然被存候

○備後備將校服條例ノ件(會津縣)訓 明治二十三年八月六日

明治二十三年度以降公諸金ヲ追納スル者アルトキハ二十三年度會訓令第三十四號備後備將校服條例金取渡順序收入科目中央補助金ノ次ヘ公  
明治二十三年八月 訓令 大藏省 陸軍省



儲金通則ノ項ヲ股々及備置儲蓄經濟ニ關スル倉庫及敷地等ヲ賣却スルトキ收入スヘキ該當ノ科目無之ニ付同科目表雖收ノ項中賸價金ノ次位ニ土地建物賣却代ノ目ヲ股々整理致可然哉

(大藏省)指令 明治二十三年八月二十三日(内務省通達)

公儲金收入科目ノ債ハ雜收申請價金ノ上ニ公儲金ノ目ヲ股置スヘキ末項倉庫及敷地等賣却代收入科目ノ何ノ通

○職員俸給定額戻入方ノ件(鐵道事務官)照會 明治二十三年九月二日

判任官俸給ハ毎月下旬支給俸額相成候ニ付テハ支給後轉免等ニテ過渡トナリタル金額ハ高等官俸給ノ過渡トナリタル返納金同様定額戻入トシテ返納セシムルヲ得ル候ニ可有之候處職員俸給ハ毎月下旬渡ノ規定ニ據リ支給シタルモノニシテ右同様ノ場合ニ於テハ定額戻入ニ取扱可然候ト存候間否致可度

(大藏省主計局)回答 明治二十三年九月八日

支給期ハ勅令ヲ以テ規定無之ニヨリ過渡ヲ生スル場合ハ繰入ニ組入ルヘキ候ニシテ定額戻入ハ雜相成候ト御承知可有之

○收入簿ノ件(千葉縣)照會 明治二十三年六月十日

納入告知書ニ依リ金庫へ現金納入ノ上納入ニ於テ收入官吏へ領收證ノ檢印ヲ請ハサルモノ有之候爲メ收入官吏ノ收入簿收入済金額ト金庫月計對照表ト不適合ヲ生シタル場合ニハ本年御省訓令第九十八號ニ依リ其不適合ノ事由詳細記入スヘキ處多數ノ納入告知書中現金納付ノ領收證へ檢印ヲ請ハサルモノ有之右ハ何レニ該當スルヤ區別ニ由テ事由詳細力差支候間月計對照表差出ノ都度納入告知書添付方金庫へ請求スルモノ之ニ應セサルヲ以テ詳細ノ差支無之趣收入官吏ヨリ申出候條取ニ不適合ノ金額ノミヲ掲ケサセ差支無之候哉

(大藏省主計局)回答 明治二十三年九月八日

收入官吏ヨリ收入簿ノ結果ト月計對照表ト符合セサル旨ヲ以テ金庫ニ納入告知書ヲ持参ヲ請求スルハ金庫ハ之レニ應スヘキニ付但ニ對照調査シ不適合ノ理由ヲ取調詳記セシメラレ度

但シ時宜ニヨリ金庫へ派出照會候モ差支無之候爲念申添候也

○電信掛敷地手當金支出報告書通過期限ノ件(廣島縣會計主務官)照會 明治二十三年九月八日

電信掛敷地手當金ノ仕拂取扱順序本年訓令第二號ヲ以テ御制定相成候處同令第四條ニ依リ費省大臣へ毎月可差出支山報告書通過期限ハ如何相心得可然哉

(電信省會計局)回答 明治二十三年九月十五日

翌月七月迄ニ御發送相成可然ト存候

○農墾土地訂正方ノ件(石川縣)何 明治二十三年九月四日

土地ノ誤謬ヲ發見シ其訂正手續ハ去ル明治十一年六月御内達ノ旨趣ニ依リ取扱來候處殆般會計法實施相成候得共農墾土地ニ係ル除

明治二十三年九月 指令 大藏省 逓信省



租下展金ノ如キハ該法第十八條ノ範圍外ト認認メ從來ノ通弊認認凡ノ當年ヨリ賦除租取扱可然哉  
(大藏省)指令 明治二十三年九月二十五日

誤認土地訂正方ノ件ハ誤認ノ當年ニ溯リ訂正スヘク其地租下展方ハ會計法第十八條ニ賦租追徴方ハ國稅徵收法第十七條ニ據リ取扱  
ヘシ但明治十一年六月地租改正事務局長大藏卿連署内達ハ消滅ト心得ヘシ

○歌留ノ前踏ニ關スル件(長崎縣)何 明治二十三年九月十九日

牛馬ノ蹄剪刺緒等ハ從來歌留ノ業ニ之レアリ候處本年四月法律第三十一號蹄鐵工免許規則實施後ハ正格ノ開業歌留アリトモ蹄鐵工  
免狀ヲ有セサル者ハ人民ノ依頼ニ應ジ前踏ノ儀相成ラサル哉

(農商務省)指令 明治二十三年九月二十四日

何ノ通

法制局裁定

裁定書

新潟縣知事 千田 貞晴  
新潟縣會議長 萩野 左門

右縣知事ト縣會トノ間ニ於テ府縣會議規則第三十五條ノ見解ヲ異ニシ府縣會議規則第九條ニ依リ裁定ヲ仰クノ要領左ノ如シ

縣會ノ具狀

新潟縣會議員ハ明治二十三年四月二十六日ヲ以テ内務大臣ヨリ解散ヲ命セラレ新潟縣知事ハ同年六月六日告示第八十三號ヲ以テ  
七月七日新月八日ノ兩日ニ縣會議員改選ノ選舉會ヲ開キ越ニテ八月一日ニ及ヒ即チ解散後九十七日ヲ經テ始メテ臨時縣會ヲ開カ  
レタルハ府縣會議規則第三十五條内務卿ヨリ解散ヲ命シタルトキハ其解散ヲ命シタル日ヨリ九十日以内ニ更ニ議員ヲ改選スヘシト  
アルニ背反シタルヲ以テ本會ハ當臨時縣會開會ノ始メニ於テ其理由ノ說明ヲ求メタルニ縣知事代理ハ故ラニ議員ノ召集ヲ遲延シ  
タルニアラス行政上已ムヲ得サル都合アリテ此ニ至レリ然レトモ府縣會議規則第三十五條九十日以内ニ改選スヘシトノ明文ハ單ニ  
議員ヲ改選スレハ足レルコトニシテ該條ニ背反シタルノ所爲ニアラスト聲明セリ

府縣會議規則ヲ案アルニ改選ノ後議長以下役員選舉會ノ手續ヲ規程セラレハ該條ノ精神ハ九十日以内ニ於テ單ニ議員ニ改選ス  
ルノミニ止マリ議長以下役員ノ選舉ヲ行ヒ縣會ノ機關ヲ整備シ縣會ノ權利ヲ使用セシムヘキモノナルヲ明ケシ

之ヲ同第三十四條ニ照スニ益々其意義ヲシテ明白ナラシムルヲ見ル即チ同條ニ於テハ會議中國ノ安寧ヲ害シ或ハ法律又ハ規則  
ヲ犯スコトアリト認ムルトキハ内務卿ハ何レノ時ヲ問ハス議員ノ解散ヲ命スルコトヲ得トアリテ議員ノ解散ハ府縣會議員ノ  
團體ヲ解散スルノ謂ヒニシテ之ヲ再言スレハ議員ノ行フヘキ職務ヲ剝奪スルノ謂ヒナリ然ラハ三十五條ノ議員ヲ改選スヘシトア  
ルハ改選セシ議員ヲシテ議長以下ノ役員ヲ選舉シ縣會ノ機關ヲ整備シ其權利ヲ使用セシムヘキ精神ナルコト明カナリトス  
又三十五條ニ議員ヲ改選スヘシトアル文字ニ拘泥シテ九十日以内ニ議員ノ改選セハ可ナリト云ハ抑法文ヲ解スルノ道ヲ知ラザ  
ルモノナリ如何トナレハ九十日以内ニ單ニ議員選舉ニ止マルモノナレハ三十五條ハ府縣會議規則第二章議員選舉ノ部ニ掲ケヘキモノ  
ニシテ特ニ第四章議會開會ノ部ニ掲ケヘキモノニアラス然レニ之ヲ第四章ニ掲ケタルハ九十日以内ニ開會スヘキコトヲ示シタル  
ヤ明カナリ

更ニ之ヲ事實ノ上ヨリ考察スルニ益々前議ヲ確カムルニ足レモノアリ本會ハ縣知事代理ニ向ツテ九十日ノ制限ヲ經過シタル七日  
間ニ於テ常置委員ニ當選スヘキ事件生シタルヤ否ヲ質シタルニ縣知事代理ハ二件アリテ之ヲ擅行シタリト答ヘタリ見ルヘシ議員  
ノ改選ヲ行フモ議長以下ノ役員ヲ選舉シ縣會ノ機關ヲ整備セザレハ縣會ハ空モリノ權利ヲ使用スルノ途ナク空シキ理事者ノ擅行  
ニ一任スルノ外ナク更ラニ縣會ノ効用ヲ顯ササルコトヲ由此觀之議員ノ改選ヲ爲スヘシトノ中ニハ其權利ヲ使用セシムヘキ機關  
ヲ整備スヘシトノ意義ヲ含蓄セルコト略々トシテ明カナリ

右ノ理由ナルヲ以テ本會ハ縣知事方新潟縣會解散後九十七日ヲ經テ臨時縣會即チ議長以下ノ役員選舉會ヲ開キタルハ府縣會議規則  
第三十五條ニ背反セル處置ヲ爲シテ縣會ノ權利ヲ剝奪シタルモノト認ム

縣知事ノ答辭

新潟縣會議員ハ明治二十三年四月二十六日内務大臣ヨリ解散ヲ命セラレタルヲ以テ縣知事ハ府縣會議規則第三十五條ニ基キ同年七  
月七日八日ノ兩日(羽後郡本會ハ九日加茂郡本會ハ十日)ニ於テ縣會議員改選ノ選舉會ヲ開キ之レカ選舉ヲ爲サシメタリ而シテ議  
長以下役員選舉ノ手續ハ府縣會議規則ニ規定ナシト雖議員ノ改選ニ從ヒ相當ノ手續ヲ履テ議長以下役員選舉ヲ爲スヘキハ當然ノコ  
トナルヲ以テ議員召集ニ支障ナキ限リハ猶豫シ置クヘキモノニ在ラサルハ論ヲ俟タサルナリ然レトモ議長以下役員選舉ハ議員改  
選ト齊シク第三十五條ノ期限内ニ爲スヘシトノ明文ナキヲ以テ其期限内ニ爲スト爲ササルトハ固ヨリ理事者其者ニ一任シタルコ  
ト明カナリ依テ同年八月一日臨時縣會ヲ開キ議長以下ノ役員ヲ選舉セシメタリ然レニ縣會ハ議員解散後九十七日ヲ經テ開會シタ  
ルハ府縣會議規則第三十五條ノ法文ニ背反シタル所爲ナリトシ他ノ條章ヲ援テ數項ニ分テテ之ヲ論難セリ要スルニ其  
論點ハ第三十五條ニ九十日以内ニ更ニ議員ヲ改選スヘシトアルハ單ニ議員ノ召集ヲ遲延スルニアラス併セテ九十日以内ニ議長以



下役員ヲモ共ニ選挙スヘキモノナリト云フニ過キス凡ソ法律規則ハ明カニ事ノ施行期限ヲ定メラレタルモノハ其期限内ニ事ノ實行ヲ要スヘキモノナリト雖期限ヲ明定セラレサルモノハ其期限ヲ理事者ニ任從シタルモノナリトハ解釋上普通ノ格旨ナリ抑モ府縣會議規則第三十五條ニ内務卿ヨリ解散ヲ命シタルトキハ其解散ノ日ヨリ九十日以内ニ更ニ議員ヲ改選スヘシトアルハ即チ議員改選ノ施行期限ヲ明定シタルモノニシテ正副議長及ヒ常置委員ヲ其期限内ニ選挙スヘキコトヲ命シタルニアラザルヤ明カナリ之ヲ他ノ條文ニ對照シテ愈其見解ノ確固ナルヲ信ス同則第二十二條ニ議長副議長云々議員ノ改選毎ニ之ヲ公選スヘシトアリ若シ夫此場合ニ於テ正副議長トモ退任者アルトキハ如何次會開會迄議員ト爲スモ別紙參考書類ニ徴シテモ妨クナキヲ知ル況ンヤ第三十五條ニ於テハ單ニ議員ヲ改選スヘシトノミアリテ議員改選ト共ニ正副議長ヲ公選スヘキノ明文ナキヲ又縣會ノ機關整備セザレハ權利ヲ使用スルコト能ハス乃チ第三十五條ハ常置委員ヲ九十日以内ニ選挙セシムルノ精神ナリト議論スト雖常置委員ハ等ク是レ縣會議員ナルモ議員ハ悉ク常置委員ト云フヘカラス議員中特ニ常置委員タル一種ノ名稱アルニモ拘ハラズ第三十五條ニ所謂議員ノ文字ニ含蓄セルトノ見解ハ總論ヲ以テ法文ヲ解釋スルモノト謂ハサルヲ得ス若シ假リニ縣會ヲ解釋セル如キノ精神ナリトセハ第五常置委員ノ項ハ府縣會議規則布告ノ後更ニ追加セラレタルモノニ付其明文ヲ追加セラレサルヘカラス然ルニ依然其法文ヲ改メラレサルヲ見レハ單ニ議員ノミヲ改選スルノ意ナルヤ明カナリ

以上陳述スル理由ナルニ依リ縣會議員解散ノ日ヨリ九十日以内ニ於テ更ニ議員ヲ改選シタリ假令九十日ヲ經過シタル後ニ於テ議長以下役員選舉ノ臨時縣會ヲ開會シタルハ並府縣會議規則第三十五條ノ法文ニ背反スルモノニアラスト確認ス

附明

本件縣知事ト縣會ト法律ノ見解ヲ異ニスルノ要點ハ明治二十三年四月二十六日ヲ以テ縣會ハ内務大臣ヨリ解散ヲ命セラレ縣知事ハ同年七月七日及八日ニ於テ縣會議員ヲ改選シ同年八月一日ニ至リ議長以下役員選舉ノ爲臨時縣會ヲ開キタルハ府縣會議規則第三十五條ニ背反スルヤ否ニ在リ之ヲ審察スルニ府縣會議規則第三十五條ハ解散ヲ命シタルノ後ニ於テ議員ヲ改選スルノ期限ヲ定メ而シテ之ヲ召集スルノ期限ヲ定メザレハ理事者ハ法律上議員ノ改選ト同時ニ之ヲ召集シテ其組織ヲ成サ、ルヘカラサルノ義務アルモノニ非ス故ニ縣知事方明治二十三年七月七日及八日ニ於テ議員ヲ改選シ同年八月一日ニ至リ臨時縣會ヲ開キ議長以下役員ヲ選舉セシメタルハ法律ノ見解ヲ誤リタルモノニ非ス

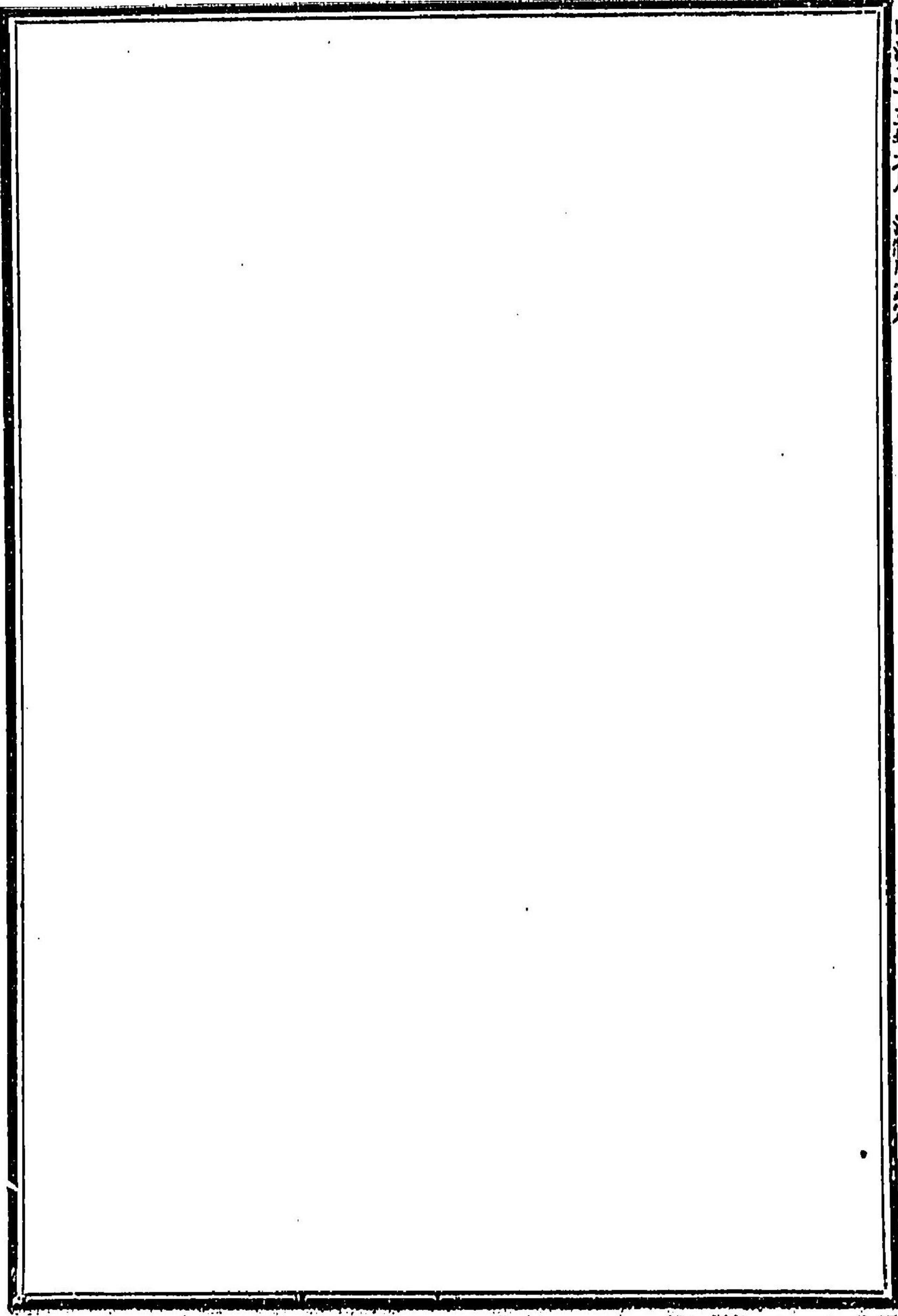
判決

右ノ理由ニ依リ新潟縣知事方府縣會議規則第三十五條ノ期限ノ外ニ於テ議長以下選舉ノ爲臨時縣會ヲ開キタルハ法律ノ見解ヲ誤リタル處ニ非ラスト

明治二十三年八月三十日

- 審理委員長 法制局長官 井上 毅
- 審理委員 法制局部長 尾崎 三良
- 審理委員 法制局參事官 山脇 玄
- 審理委員 法制局參事官 男谷 忠友
- 審理委員 法制局參事官 木場 貞長
- 審理委員 法制局參事官 水野 道
- 審理委員 法制局參事官 小野 徳太郎





○保管金期限及期滿失効ノ期日ニ關スル件(大藏省預金局長ヨリ金庫出納役へ通知) 明治二十三年九月三日  
 各官廳ヨリ保管金管托通知書ヲ以テ拂込ムモノ、期限及送付書ヲ以テ拂込モノ、期滿失効ノ年月日記入方紙々ナルニ依リ整理上不  
 都合ニ付左ニ其概要ヲ掲記シ之ニ照準取扱フヘシ

一 保管金期限

- 裁判所債納金
- 裁判所保證金
- 保證金
- 財産公賣代金
- 裁判所又ハ行政官廳ノ送押金
- 送押物件賣却代
- 送押ヘタル土地家屋ノ借料
- 送押中ニ收入シタル利子元金ノ類
- 所有權ノ争訟ニ係ル財産ヨリ生スル收入金
- 是等ノ類ハ裁判ノ終了ヲ以テ保管ノ義務解除ノ期トナスモノニシテ預初期限未定道ヲ確定シ更ニ各官廳ヨリ通知スヘキモノナ  
 レハ預初ハ期限未定ト記入シ置キ確定ノトキ訂正スヘキモノトス
- 出納官更身元保證金
- 是ハ轉免死亡等ノ随責任解除ノ期ヲ以テ保管義務解除ノ期トナスモノニシテ豫メ期限ヲ定メ難キモノナレハ期限未定ト記スル  
 モントス
- 工事更身元保證金
- 會計規則第六十九條第七十條第七十一條ニ據ルヘキモノ
- 物品納買契約保證金
- 右等ノ類ハ締約者雙方間ニ成立セシ期限ヲ以テス
- 一 保管金期滿失効
- 郵便爲替金ノ請求ナキモノ

五箇年







○電信株式會社手當金支給方針ノ件(愛媛縣)照會 明治二十三年十一月十日  
 客月三十日第三乙號第三一九六號ヲ以テ電信株式會社手當金新設若クハ廢止シタル分ハ本年度内總テ月割計算スヘキ旨御回答ノ趣  
 承然ル處右御回答面ニ據レハ本年八月法律第五十八號發布ノ前後ニ拘ハラズ總テ月割計算ヲ爲スモノ、如ク倍々疑問ヲ生シ候ニ付  
 再陳左ニ及御問合候

- 一 法律第五十八號第六條中一水毎ニ一箇年四錢ノ手當金ヲ給與ストアリテ新設廢止ニ係ルモノ、明文無之右ハ從前ノ通六箇月以上五箇月以下ノ區別ヲ以テ半年分若クハ全年分給與可相成哉將又總テ月割給與ノ儀ニ候哉
- 二 前項未段ノ通總テ月割給與ナリトスルモ個ハ法律第五十八號ノ發布ニ依リ改正セラレタルモノナレハ此月ヲ以テ分界セサルヘカフス然ルニ今般御回答ノ如ク本年八月以前ニ屬スル新設廢止ノモノヲ月割ト爲ストキハ該法律ノ既往ニ遡ル儀ヒ有之候間本年八月以前新設ノモノハ一箇年分(舊例ノ額五箇月分)八月以前廢止ノモノハ半年分(舊例ノ額三箇月分)給與シ九月以降新設ノモノハ總テ新法ニ據リ月割給與可然哉
- 三 法律第五十八號第六條中一水毎ニ一箇年四錢ノ手當金ヲ給與ストアルハ從前ノ通支柱總共各四錢給與セラレヘキ精神ナル歟若シ然ラサルトキハ本柱官有地ニアリテ支柱總而巳良有地ニ建設アル場合ハ此支柱總ニ對シ一箇年四錢給與可然哉  
 (逓信省郵務局長)回答 明治二十三年十一月二十八日
- 一 法律第五十八號第六條中一水毎ニ一箇年四錢給與スル手當金ハ新設廢止等ノ場合ハ其月數ニ不拘總テ一箇年分金四錢ヲ給與ノ儀ト御承知有之度候
- 二 本年度内新舊法月割計算方ノ儀ハ左ノ通御承知有之度候
- 一 二十三年四月ヨリ二十四年三月迄總額異動ナキモノ本年八月迄ハ舊法ニ依リ五箇月又九月以降ハ新法ニ依リ七箇月ノ月割計セテ十二箇月分給與
- 一 二十三年四月ヨリ繼續シテ新法發布後廢止シタルモノ前同斷
- 一 新法發布以前(即チ四月以前)ニ新設シタルモノ前同斷
- 一 二十三年四月ヨリ繼續シテ新法發布以前ニ廢止シタルモノ舊法ニ依リ六箇月分給與
- 一 新法發布以後新設シタルモノ新法ニ依リ一箇年分即チ金四錢給與
- 三 法律第五十八號第六條ノ手當金ハ支柱總トモ本柱同額給與ノ儀ト御承知有之度候



○概算渡経費定額戻入方ノ件(陸軍省會計局)照會 明治二十三年十一月二十六日  
仕拂命令ニ對スル受取入受領スヘキ事故止ミタル節取扱方過ル十八日會一發一〇三九號照會ニ對シ坤第一〇三八二號御回答ノ趣了  
承給ルニ旅費ノ如キ概算渡ニシテ道ヲ定額ニ戻入ヲ要スヘキモノモ御省令第二十七號ニ準シ雜部ニ編入ノ儀仕拂命令官ヨリ御省  
大臣ニ請求シ可然哉

(大藏省會計局)回答 明治二十三年十二月十二日

右ハ差支無之候ニ付左ノ手續ニ依リ御整理可有之

- 一 仕拂命令官ハ二十三年大藏省令第二十七號第一條ニ準シ雜部ニ編入ノ儀金庫ヘ令達方大藏大臣ヘ請求ス
- 一 仕拂命令官ノ請求ニ依リ大藏大臣ヨリ金庫ニ令達シタルトキハ金庫ハ同省令第四條ニ準シ戻入ヲ要スル金額ヲ繰出ノ手續ヲ以テ  
拂出シ直チニ雜部ヘ受入レ同時ニ其趣ヲ仕拂命令官及會計主務官ニ通知ス
- 一 仕拂命令官ハ前條ノ通知ニ依リ二十二年大藏省令第十六號第三條ノ手續ヲナス

○徵集延期年額通算ノ件(徳島縣)照會 明治二十三年十一月二十二日

委ニ甲家ノ子弟乙家ノ養子トナリ乙家ニ於テ徵兵令第二十條ノ事故ニ因リ徵集延期既ニ二年ニ至リ其後乙家ヲ離縁甲家ヘ復籍シ猶  
又丙家ノ養子トナル丙家モ又該人ヲ要セサレハ自活シ能ハサルニ付延期願出許可ヲ與ヘ即チ乙丙兩家ニ於テ三箇年ヲ延期ス右徵集  
延期ハ其家族ノ生活ヲ得セシメンカ爲メニシテ通融者一身ノ爲メ許可ヲ與ヘタルモノニ無之即其家ニ依テ事故ヲ生シタル儀ニ付一  
且其家ヲ去リ轉シテ他家ニ至リ候節ハ前後延期ノ通算ヲ爲スノ限リ三箇年ニ於テ初メテ延期許可ヲ得タル後三箇年ヲ過キ  
サレハ國民兵ヘ編入不相成精神ニ候哉

(陸軍省軍務局第二軍事課)回答 明治二十三年十二月十九日

右ハ前後ノ延期年額ヲ通算スル儀ト御承知相成可然候

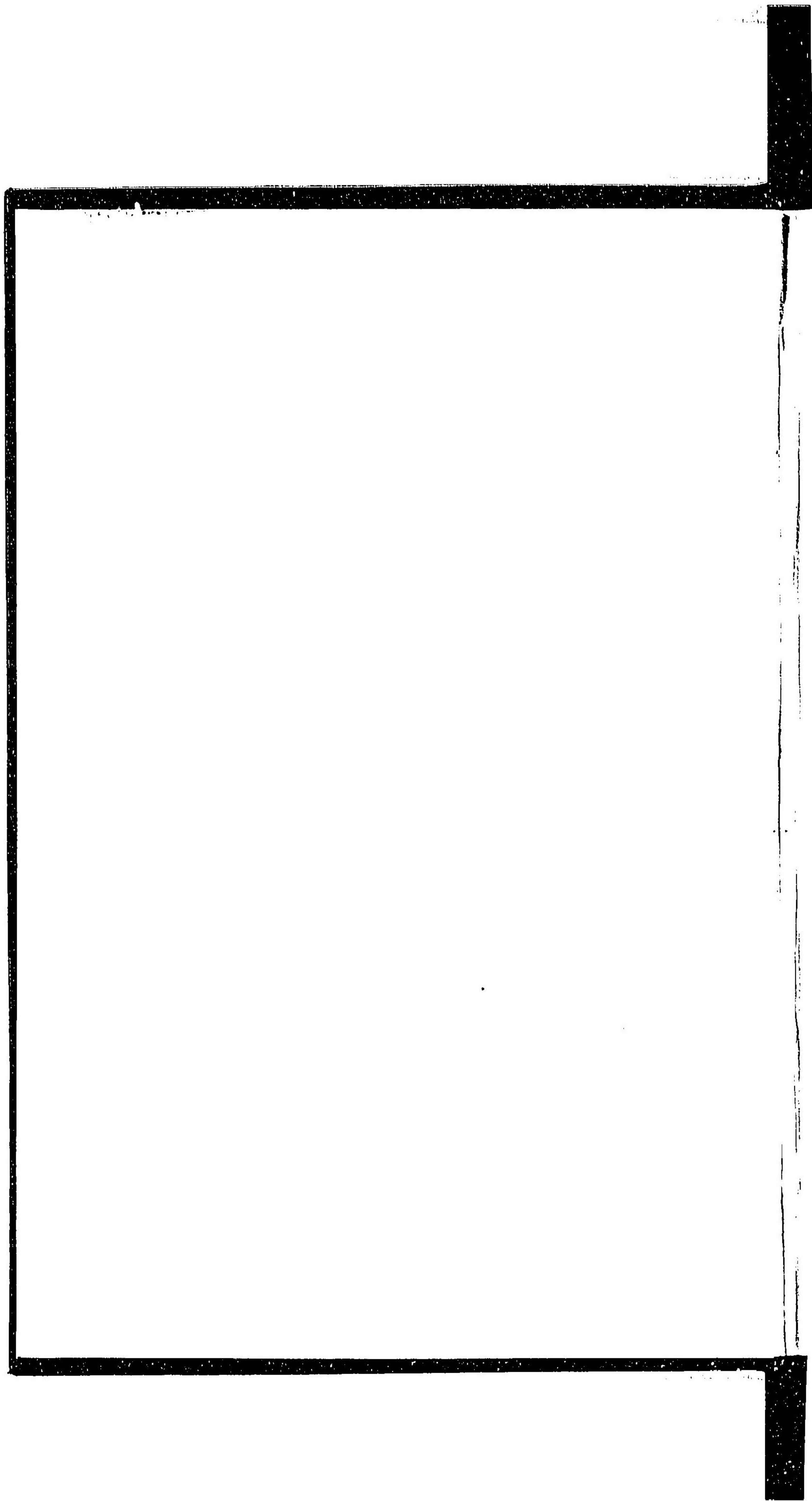
○給助金支給ノ件(大分縣)照會 明治二十三年十二月十一日

本年十月以降給助金發令書交付方陸軍省ヨリ御達ノ趣ニ依リ交付取計來リ候處右ニ對スル金額ハ御省ヨリ直ニ御送金可相成モノト  
相見込候條至急御同金相成度

(大藏省國債局)回答 明治二十三年十二月二十二日

右發令書交付相成候節ハ本年當省訓令第十二號第一條ニ準シ支給金額明細書ヲ製シ御縣ヨリ御請求可有之

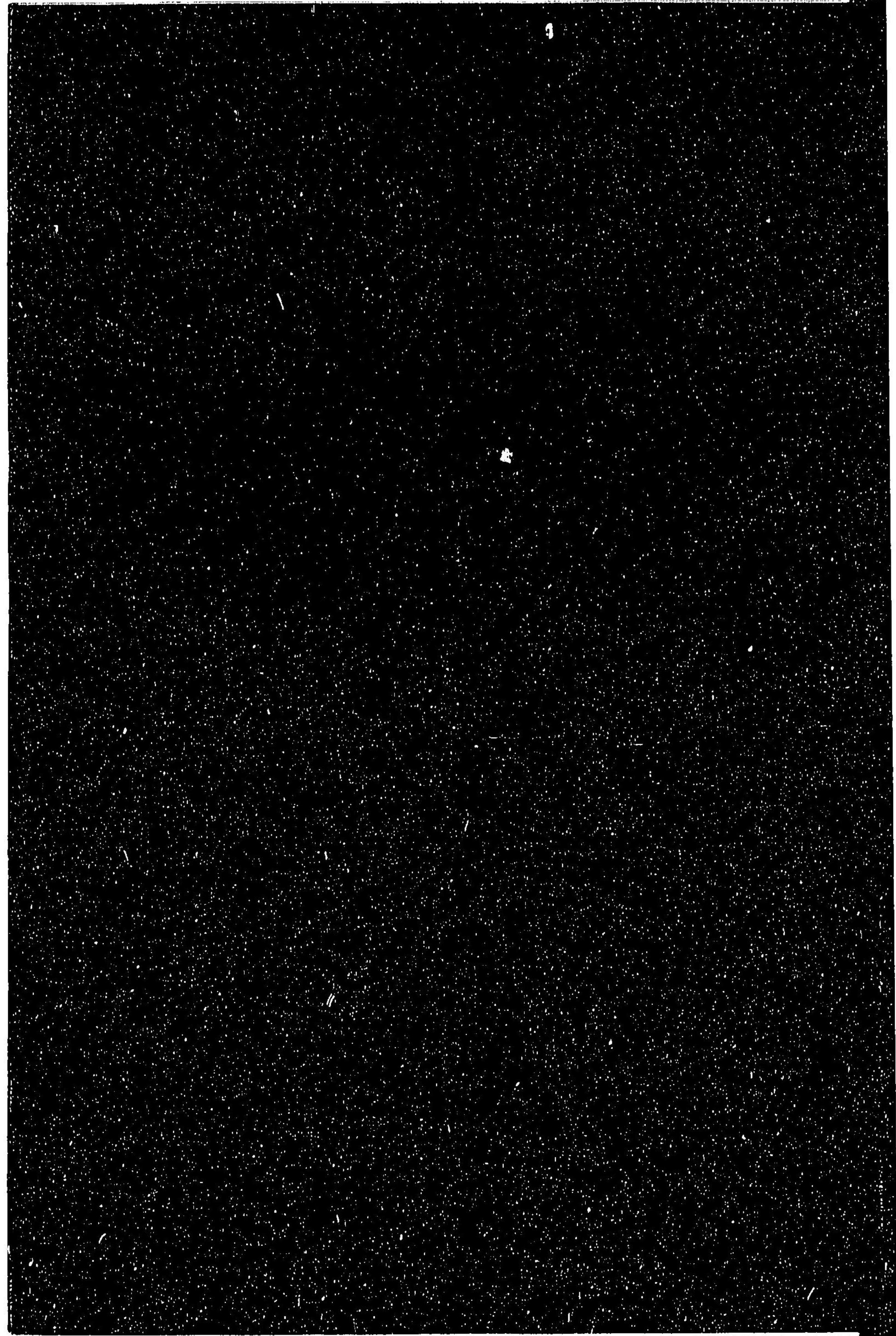












031130-037-0

CZ-4-1

法令全書 慶應3年10月-明治45年7月

内閣官報局

M20-45

BBC-0996





